

都筑区  
「地域活動と人とのつながりづくり」  
に関するアンケート調査  
報告書

令和5年2月  
合同会社 フォーティR&C



## 目次

本アンケート調査の分析、並びに提言について	1
第 1 章 都筑区の現状と課題	4
1. 都筑区の特徴	4
2. 都筑区の自治会・町内会の現状と課題	5
第 2 章 アンケート結果の分析	10
第 3 章 取組み案の提案	52
資料編	
➤ アンケート調査票	61
➤ アンケート調査結果	66
全体集計	66
年代別	86
同居人別	106
居住形態別	124

## 本アンケート調査の分析、並びに提言について



### 実施者

合同会社フォーティR&C 地域活性化・まちづくりコンサルタント 水津陽子

### プロフィール

地域資源を活かした地域ブランドづくり、観光振興、協働推進や自治会・町内会活性化など、地域活性化・まちづくりに重点を置いた企画コンサルティング、講演、調査研究、執筆活動を行っている。

これまでの講演回数は 1000 回を超え、メディアでの連載、取材協力、記事監修等も多数務める。

自治会活性化の講演セミナーやコンサルティング、自治体においては職員研修、自治会改革委員会のアドバイザー、各種調査、提言等も多数実施している。

### 委員等

2014 年 地方創生法に関連し、衆議院経済産業委員会に参考人出席

2021 年度 総務省「地域コミュニティに関する研究会」構成員を務める

### 自治会関連の著書

めざせ、担い手不足解消！負担軽減&IT活用事例ブック

こうして地域のリスクに備える！令和・アフターコロナの自治会・町内会運営ガイドブック

トラブル解消、上手に運営！自治会・町内会お悩み解決実践ブック



# 第1章

## 都筑区の現状と課題

## 1. 都筑区の特徴

都筑区は人口約21万人。横浜市に18ある区の中で年少人口比率と平均年齢で1位という、若い世代が多く暮らす地域です。

令和2年の転出入者数はともに年間約1万1千人。転入者数を年代別に見ると、最多は20代で3割近くを占め、次いで30代の25%、40代の13%、10代以下の比率も18%と高く、50～64歳は9%、65歳以上は7%となっています。

令和元年度「都筑区区民意識調査」によると、定住意向で「ずっと住み続けたい」は49.9%、「当分は住み続けたい」の33.7%を合わせて83.6%という高い数値を示しています。

ただ、生活環境のニーズと満足度を比較すると、「防犯への意識や取組み」90.2%、「災害への意識や取組み」87.0%、「高齢者の暮らしやすさ」78.7%というニーズの高さに反し、満足度はいずれも3割を切る低いものとなっています。

### 都筑区基礎データ

人口 214,891人 (令和4年1月1日現在)

世帯数 86,320世帯

1世帯当たりの人員 2.49人(18区中1位)

転入者数 11,356人(市外からの転入者 8,012人) (令和2年中)

転出者数 10,950人(市外への転出者 7,413人)

年少人口比率 14.9%(18区中1位)

生産年齢人口比率 67.2%(18区中3位)

老年人口比率 17.9%(18区中18位)

平均年齢 42.9歳(18区中1位)

(令和3年9月30日)

人口に占める  
15歳未満の子の比率  
14.9%(18区中1位)

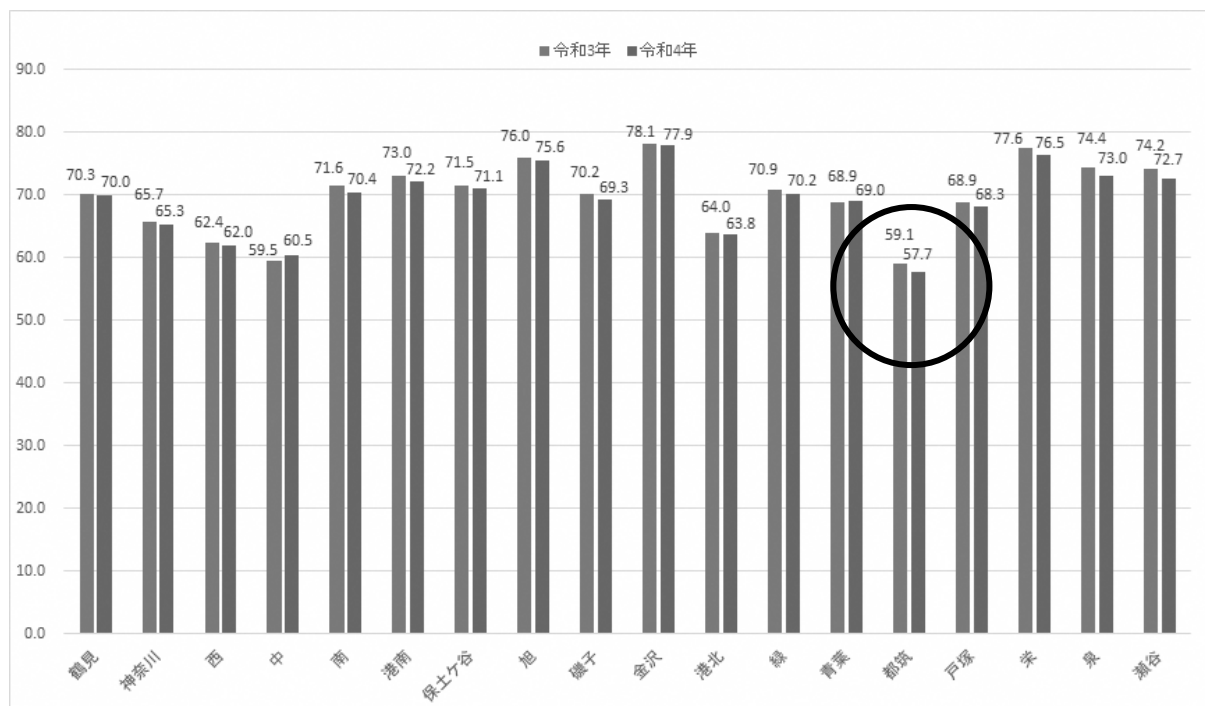
未婚率 男性 30.9% (令和2年10月1日現在)

女性 24.4%

出典:2021年度都筑区統計要覧「統計で見るつづき」

## 2. 都筑区の自治会・町内会の現状と課題

## (1) 自治会・町内会の加入率



出典：横浜市「令和4年4月1日現在の加入状況」

都筑区の自治会・町内会の加入率は令和4年4月1日現在、57.7%で市平均の68.8%を大きく下回り、18区中最下位に位置しています。

令和元年度「都筑区区民意識調査」では、居住開始時期による加入率の違いが示されており、昭和30年代(1955～1964年)では94.7%が加入しているのに対し、平成27(2015)年以降では36.1%となっています。

年代で見ると若い世代ほど加入率が低く、家族形態別では単身者は低く、多世代などでは高い傾向にありますが、3世代と2世代や夫婦だけでは20ポイント前後の開きがあり、単身世帯では5割を切ります。

住まいの形態別では「持ち家(一戸建て)」の加入率は9割近いものの、「借家(集合住宅)」では3割を切っています。



## 都筑区の自治会・町内会加入状況

加入している	64.1%
加入していない	26.2%
分からない	8.5%
無回答	1.2%

年代別	
10～20代	31.9%
30代	47.0%
40代	59.4%
50代	72.2%
60代	75.3%
70代以上	78.6%

地区別	
西部地区	72.6%
南部地区	65.7%
北部地区	63.6%
東部地区	61.3%
中部地区	56.0%

## 家族形態別

家族形態	構成比	自治会・町内会加入率
ひとり暮らし(単身世帯)	6.6%	46.9%
夫婦だけ	25.3%	67.5%
親と子(2世代)	59.8%	63.7%
親と子と孫(3世代)	5.1%	84.2%
その他	1.5%	45.5%
無回答	1.7%	

## 住まいの形態別

居住形態	構成比	自治会・町内会加入率
持ち家(一戸建て住宅)	35.2%	86.5%
//(分譲マンション、共同住宅)	35.0%	66.2%
借家(賃貸マンション・アパート、共同住宅)	23.3%	28.2%
//(一戸建て住宅)	2.5%	70.3%
社宅・寮・公務員住宅	1.3%	30.0%

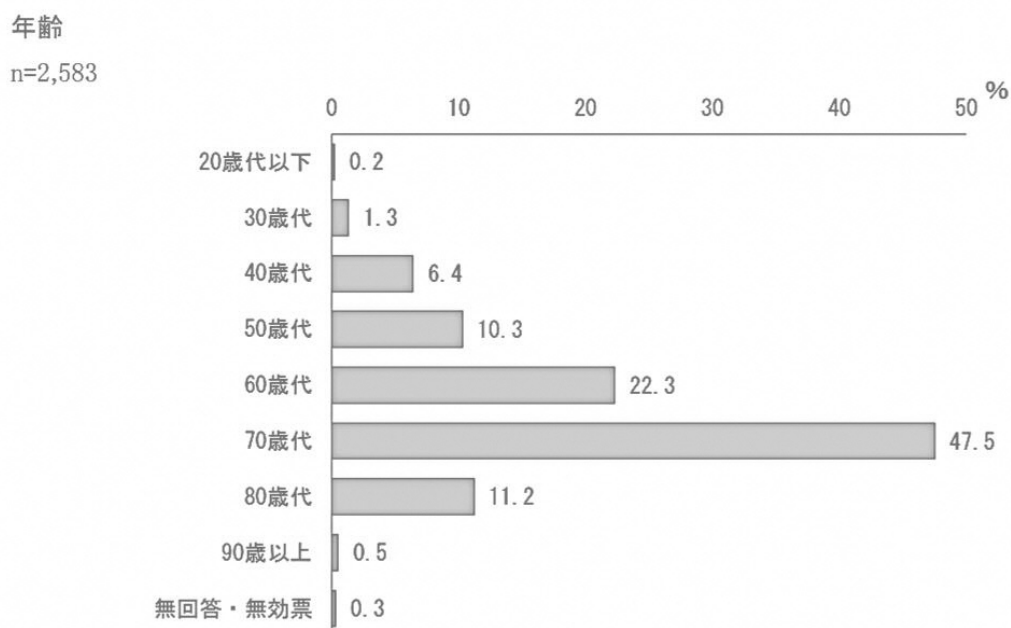
出典：令和元年度「都筑区区民意識調査」

## (2)自治会・町内会の役員

令和2年度「横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書」によると、横浜市の自治会・町内会会長の年齢は最多が70代の47.5%で全体の半数近く、次いで60代の22.3%、80代の11.2%で、60代以上の会長が81.5%を占めています。

しかも前回調査の平成28年度と比べ、60代の割合は減少、70代の割合が増加しており、会長の高齢化は年々進展しています。

### 〔横浜市の自治会・町内会会長の年齢分布〕



出典：令和2年度「横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書」

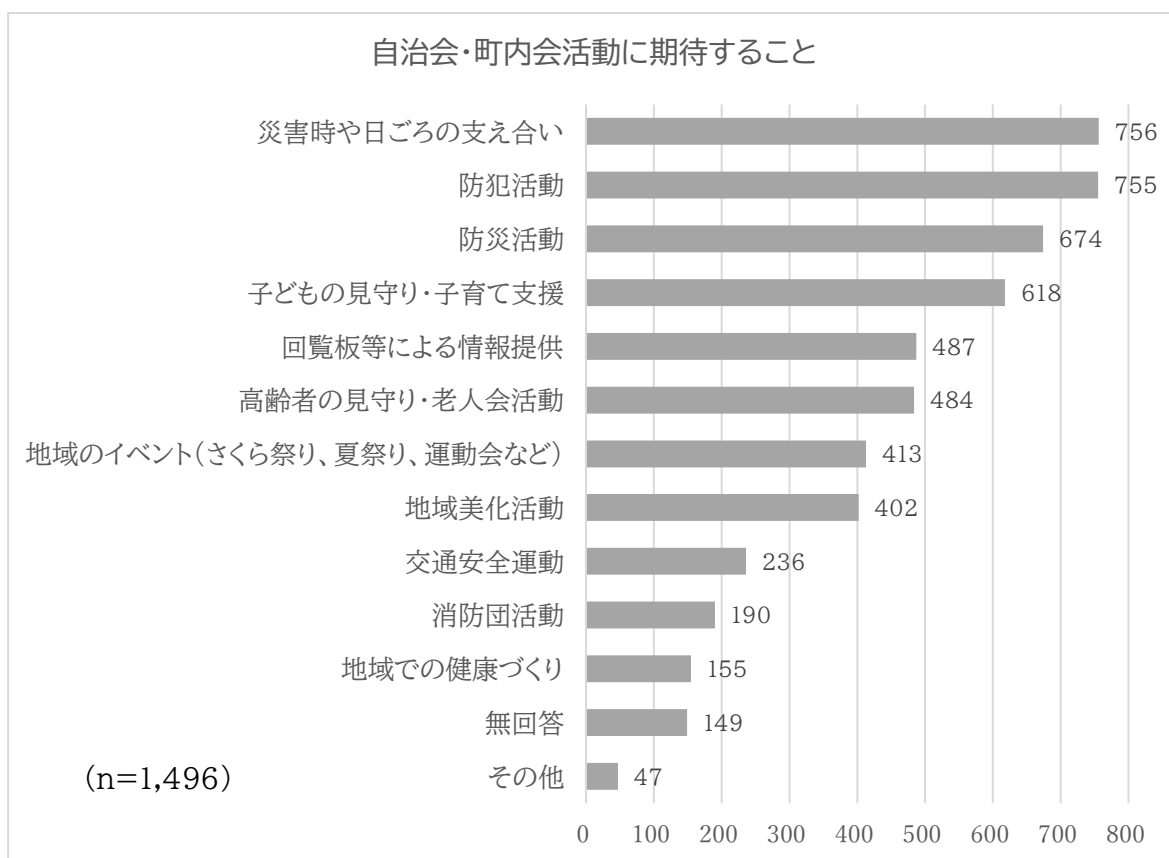
会長の職業を見ると、最多は「無職」の49.9%で、次いで「会社員」の19.8%、「自営」14.1%となっていますが、1か月の自治会町内会活動の従事日数は「4日～7日」が35.7%、「8日以上」が38.5%を占め、フルタイムで働いている人には担うことが難しい現状が見えてきます。

すでに60代の就業率が7割を超え、後半でも5割超となる中、自治会・町内会の運営や活動が今後もこうした過重な負担を強いていくものであれば、遠くない未来、多くの自治会・町内会は立ち行かなくなるでしょう。

また、会長の性別は男性85.8%に対し、女性は13.8%と大きな偏りが見られます。在職年数では33.3%が6年以上で、その中には11～20年が12.5%、21年以上、31年以上という人もいますが、持続可能な自治会・町内会を目指すのであれば、多様な人材の登用や時代に即した運営方法により、組織の新陳代謝を図っていく必要があります。

### (3)自治会・町内会の活動

令和元年度「都筑区区民意識調査」で、自治会・町内会活動に期待する取組みを聞いたところ、「災害時や日ごろの支え合い」と「防犯活動」は約5割、次いで「防災活動」約45%、「子供の見守り・子育て支援」約4割となっています。



出典：令和元年度「都筑区区民意識調査」

しかし、この調査からはどんな自治会・町内会の運営や活動であれば、自らが加入や参加するのは読み取ることはできません。

今回の「地域活動や人とのつながりづくり」に関するアンケート調査では、こうした区民の意識やニーズを把握し、どうすれば自治会・町内会の運営や活動に能動的な参加や新たな担い手の獲得ができるかを探りました。

## 第2章

### アンケート結果の分析

## 「地域活動や人とのつながりづくり」に関するアンケート調査(概要)

### 1 調査目的

都筑区に転入された方の「地域活動や人とのつながりづくり」に関する意識を調査することで、自治会町内会活動をはじめとする地域の活性化やより良い区政運営に生かすことを目的に実施。3つのターゲット「若い世代」、「単身者」、「集合住宅(賃貸)」の意識やニーズを探るため、「年代」、「同居人の有無」、「居住形態」別の集計を行いました。

### 2 実施概要

実施期間 令和4年6月6日(月)～10月31日(月)

調査対象 都筑区内への転入の手続きに来た人

調査方法 都筑区役所戸籍課窓口でのアンケート配布  
ボックス及び地域振興課窓口での回収

調査内容 調査票別添(61頁～64頁)

### 3 回収結果

配布数:699票

総回収数:464票

有効回収数:464票

有効回収率:66.4%

### 4 報告書の見方

- ① グラフに表記される「n=\*」(\*は数字)は、対象の母数を表す。
- ② グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

## 属性別の回答数

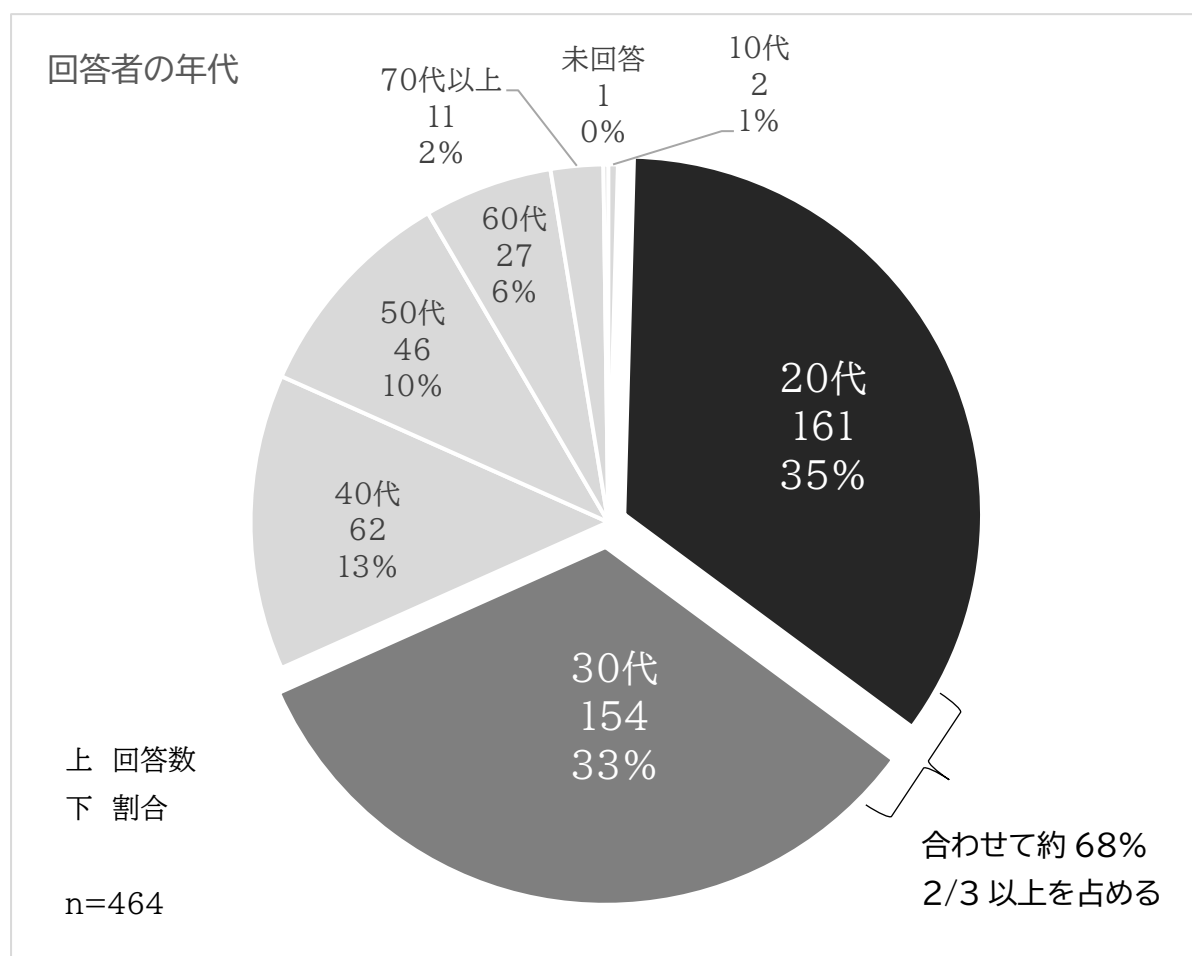
年代	回答数
10代	2
20代	161
30代	154
40代	62
50代	46
60代	27
70代以上	11
未回答	1

同居人の有無	回答数
なし	132
あり	329
未回答	3

居住形態	回答数
一戸建て住宅	29
集合住宅(持ち家)	56
集合住宅(賃貸)	378
未回答	1

## 1. 回答者について

## (1)回答者の年代について

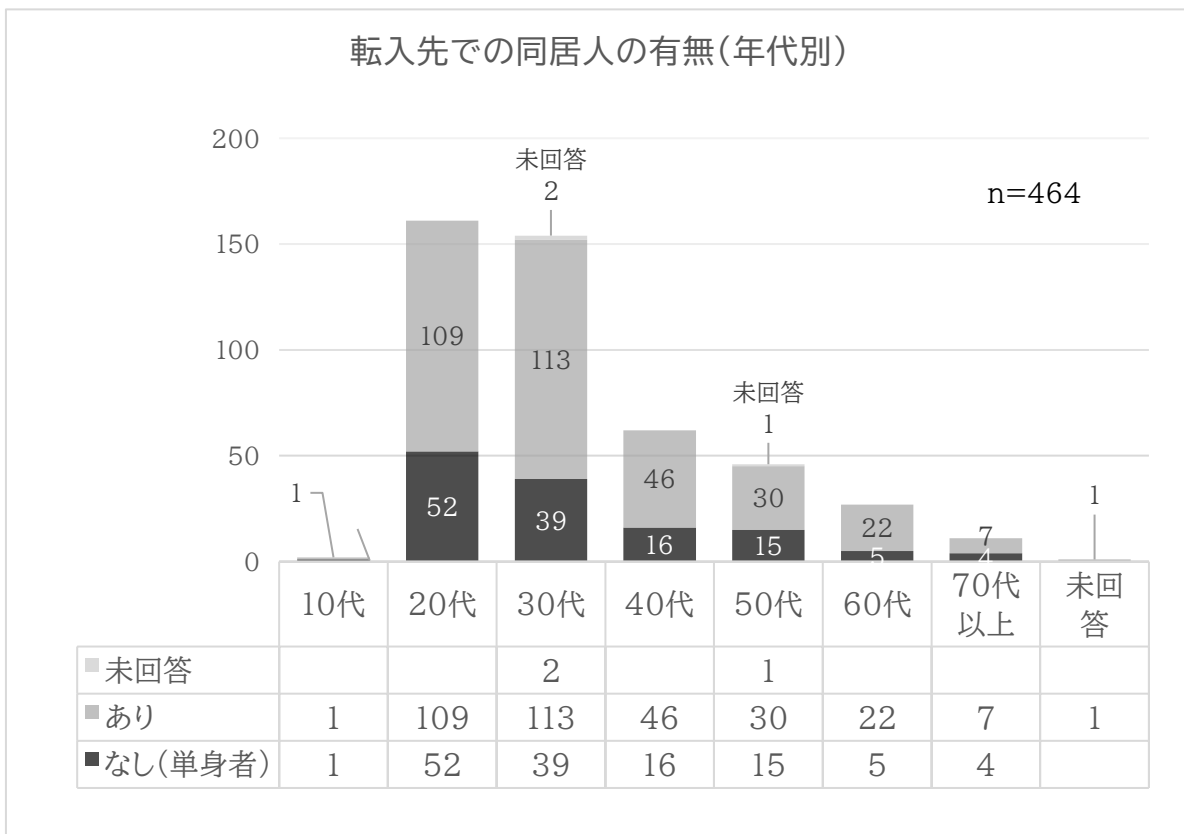
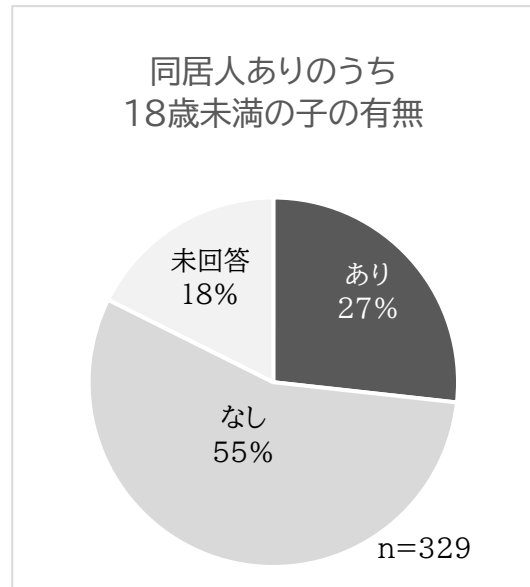
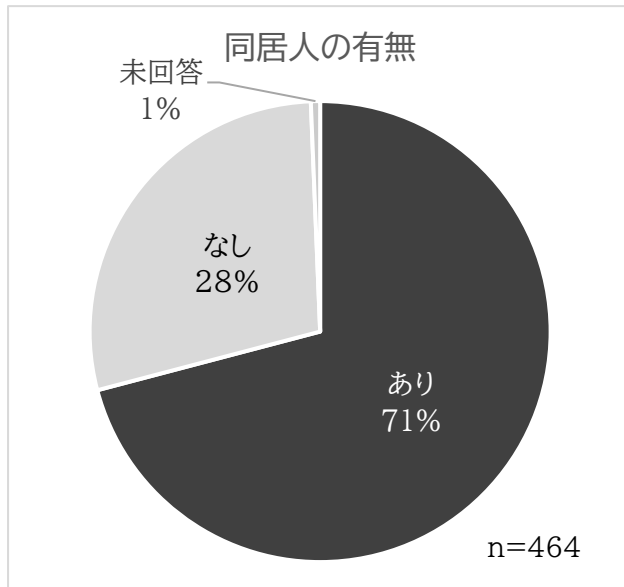


今回の調査では回答者の約 68%、全体の3分の 2 以上を20代、30代が占めました。

この年代は都筑区の転入者の比率でもボリュームゾーンであると同時に自治会・町内会の加入率が低い年代でもあります。

尚、今回、40代以上についてはサンプル数が少ないため、あくまで参考データの範囲に留まります。

(2)各年代における同居人の有無について



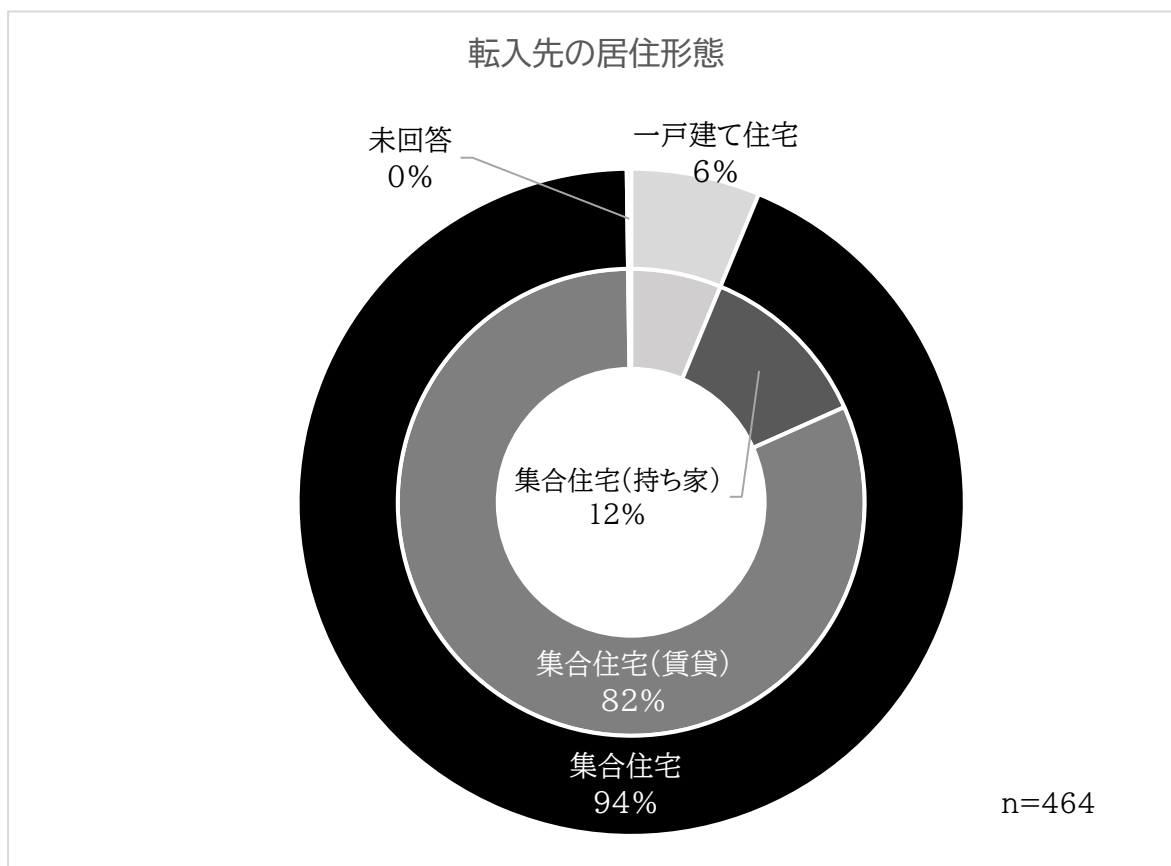
回答者における同居人の有無は、「あり」約7割、「なし」約3割で、年代別では「なし」の比率が20代と50代で32%前後とやや高くなっていますが、年代でそれほど大きな比率の差は見られません。



但し、晩婚化が進む中、まだ若い20代の未婚率が他の世代に比べて高くなることは自然としても、50代の比率が20代同様に他の世代より高いことについては、サンプル数が少ないとはいえ、留意すべき点かもしれません。

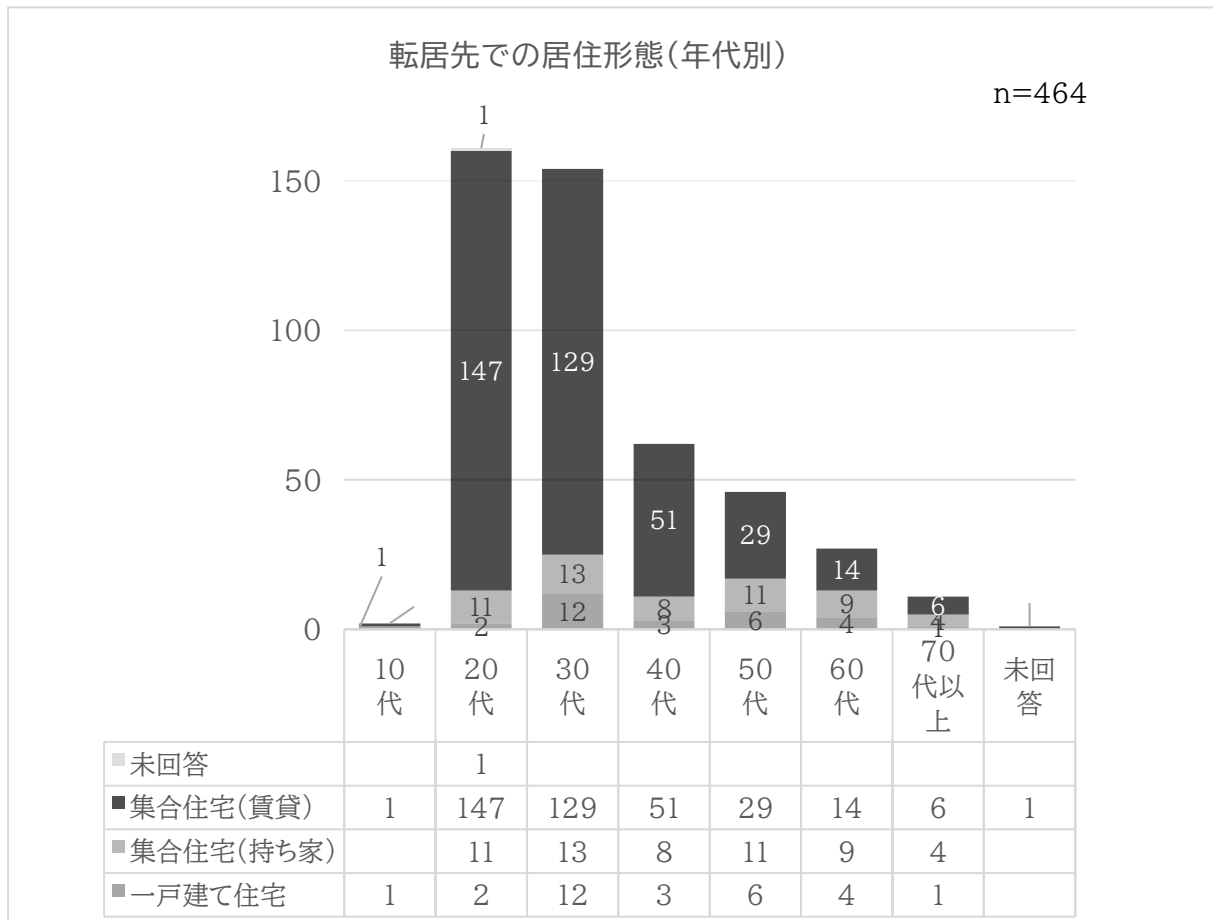
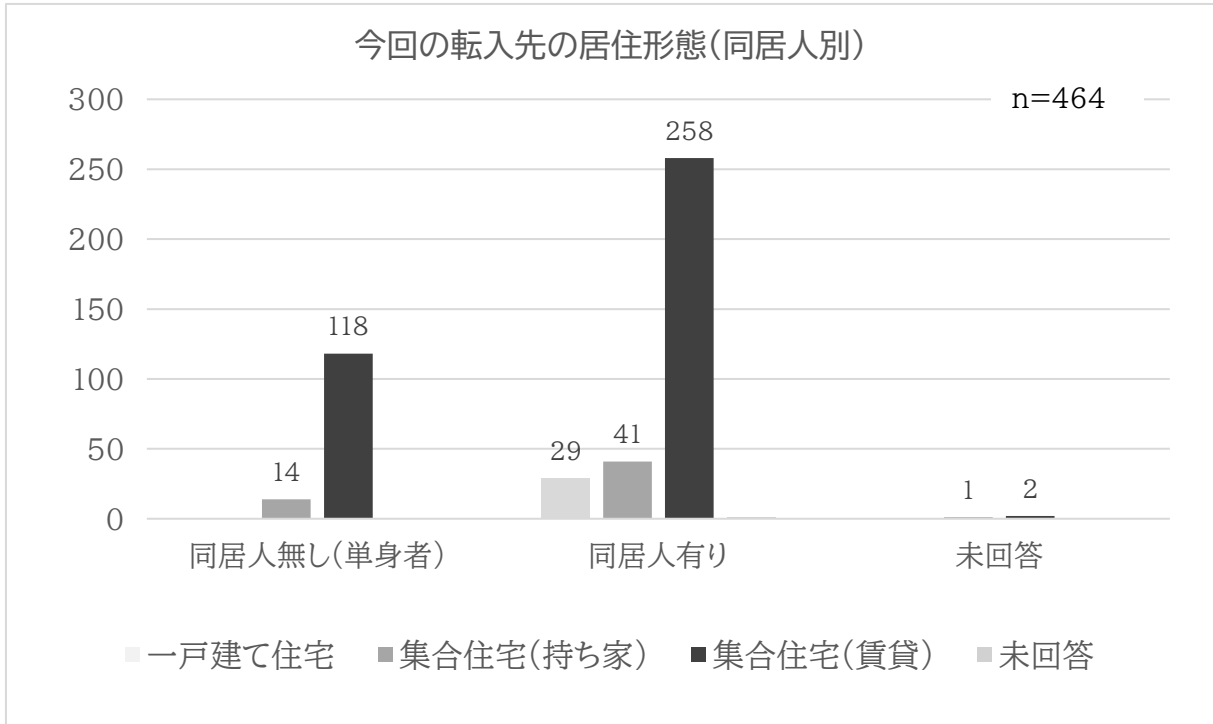
また、「同居人あり」の内訳で「18歳未満の子の有無」を見ると、「あり」は約27%で、回答者全体では約19%を占めます。ただ今回は未回答の比率が約2割と高く、これも参考データの範囲を出ません。

### (3) 居住形態について

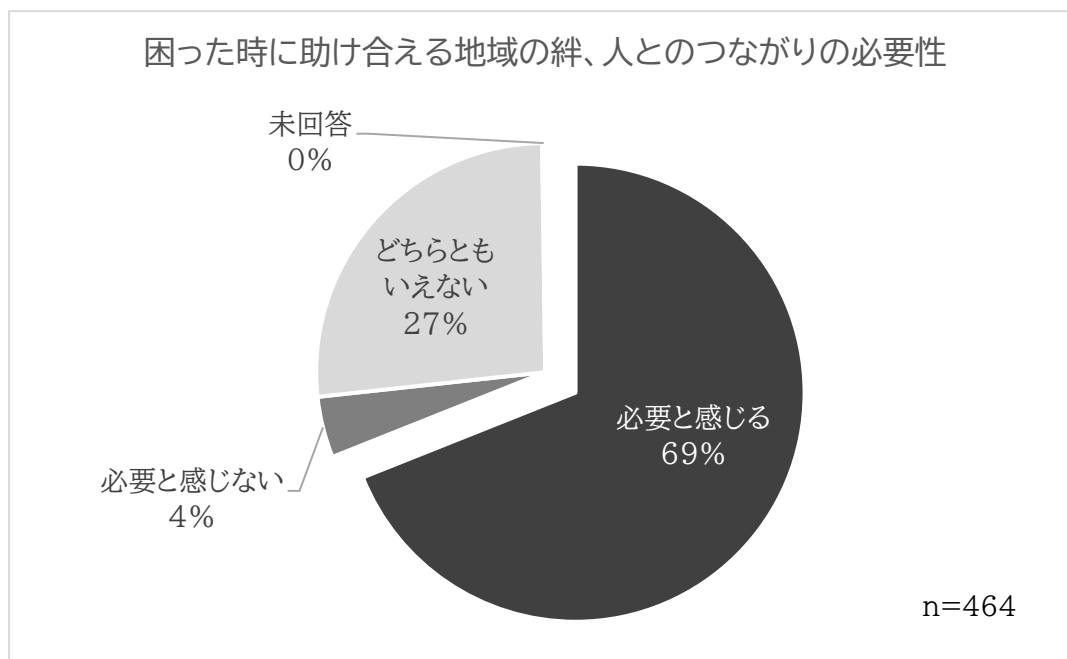


回答者の転居先の居住形態を見ると、「集合住宅」が9割以上となりました。中でも「集合住宅(賃貸)」の比率は8割超という高い比率を示しています。

居住形態に関しては世代を問わず、「集合住宅(賃貸)」の比率が高く、20代では9割を超えています。同居人の有無による差はほとんど見られません。



## 2. 困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性について

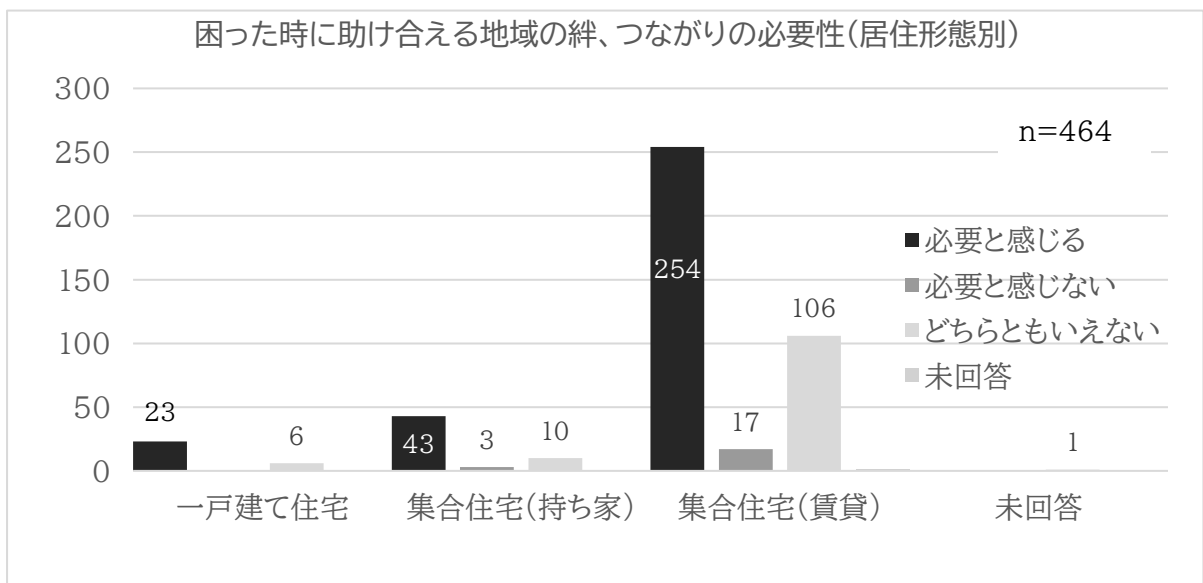
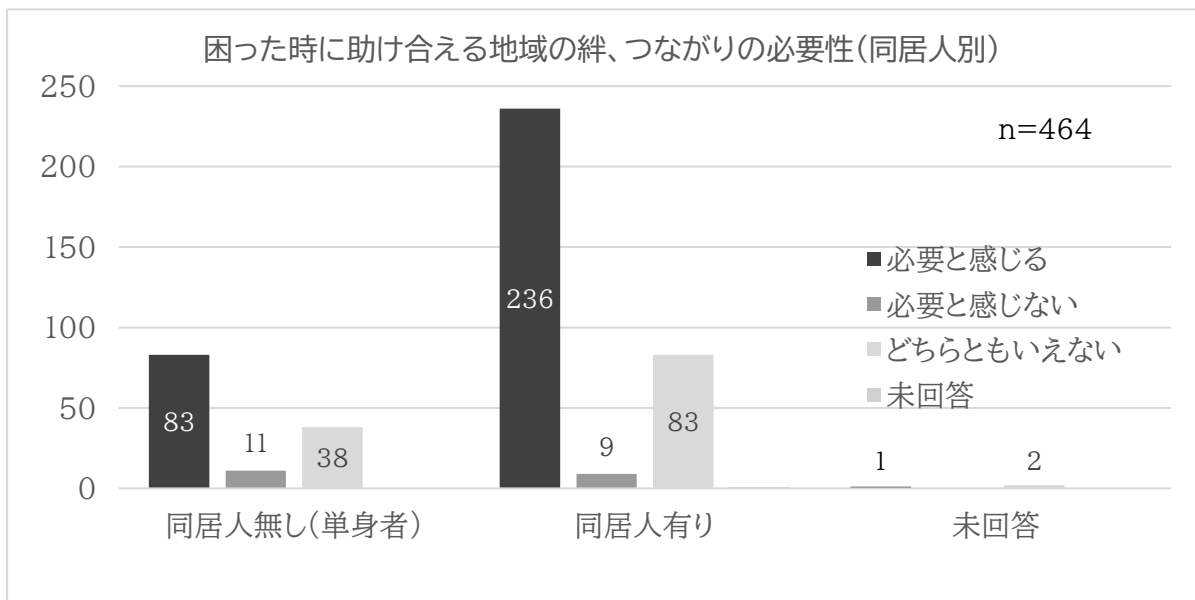
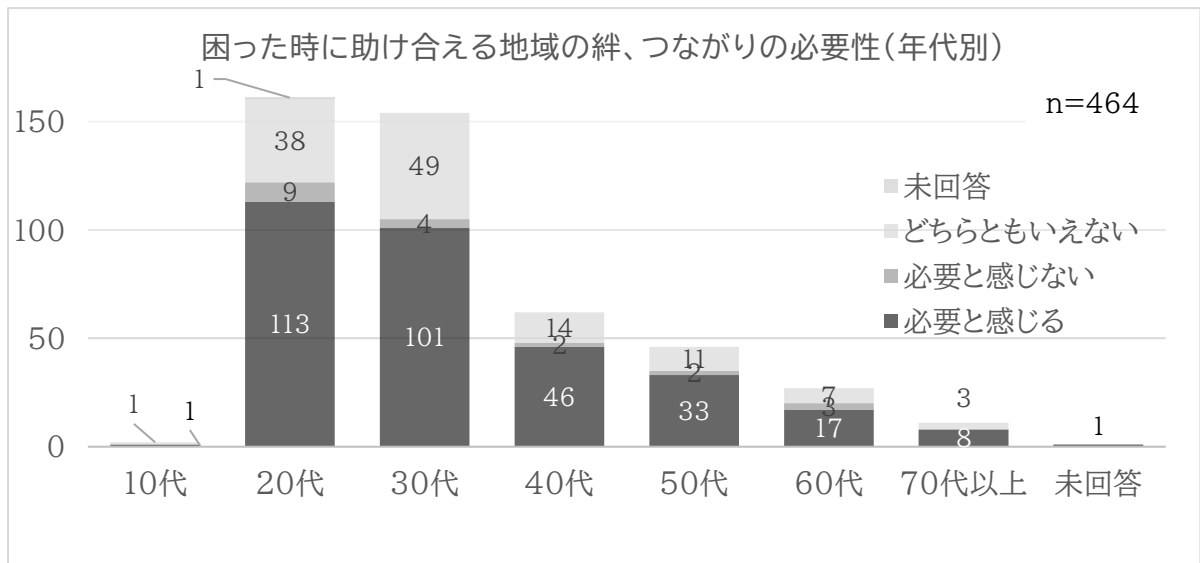


「困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じるか」との設問には、約7割が「必要と感じる」と回答。

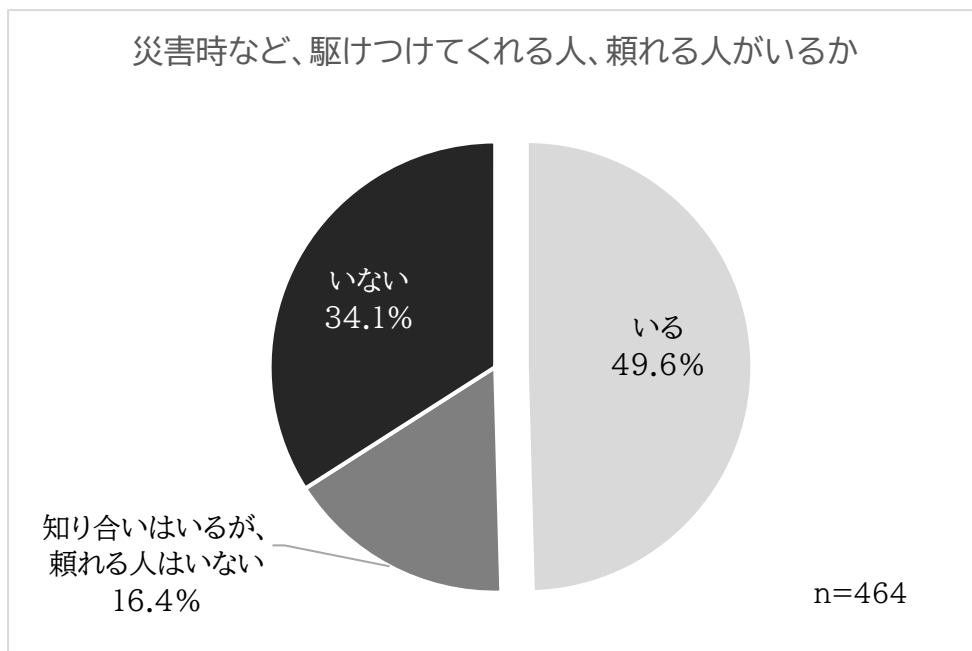
年代別では、「20代」は回答者161人中、113人(約70%)、「30代」は154人中101人(約66%)で、年代による差は大きくありません。

同居人の有無では、「あり」は329人中236人(約72%)対し、「なし」は132人中83人(約63%)とやや開きがあります。

居住形態では、「一戸建て住宅」は29人中23人(約79%)、「集合住宅(持ち家)」は56人中43人(約77%)に対し、「集合住宅(賃貸)」は378人中254人(約67%)とやや低くなっていますが、いずれにおいても6割超の人が「困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性」を感じており、年代、同居人の有無、居住形態を問わず、高い関心を寄せており、潜在ニーズを示す結果となっています。



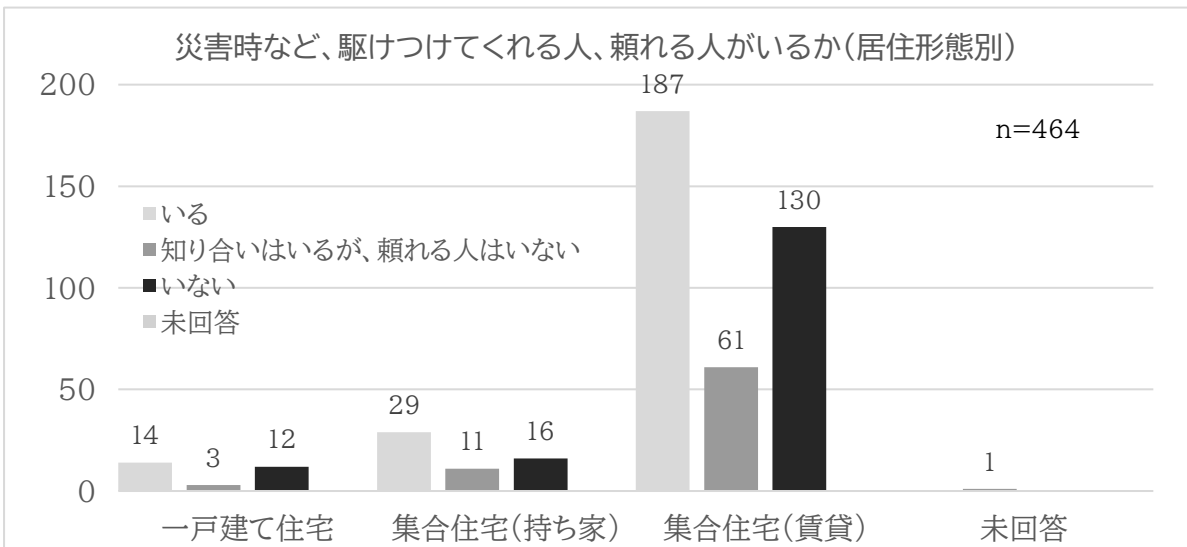
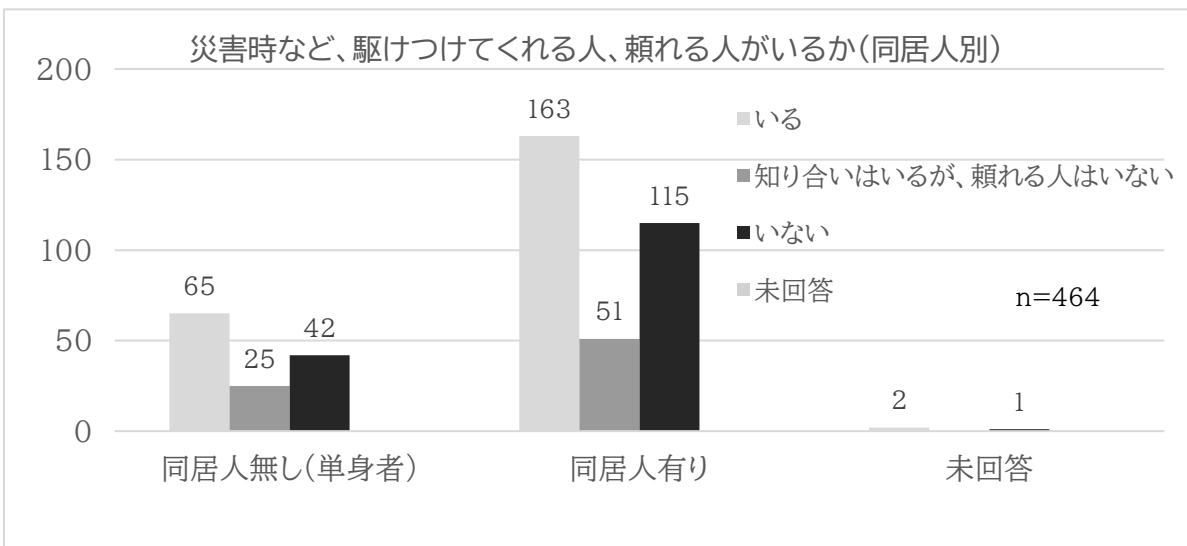
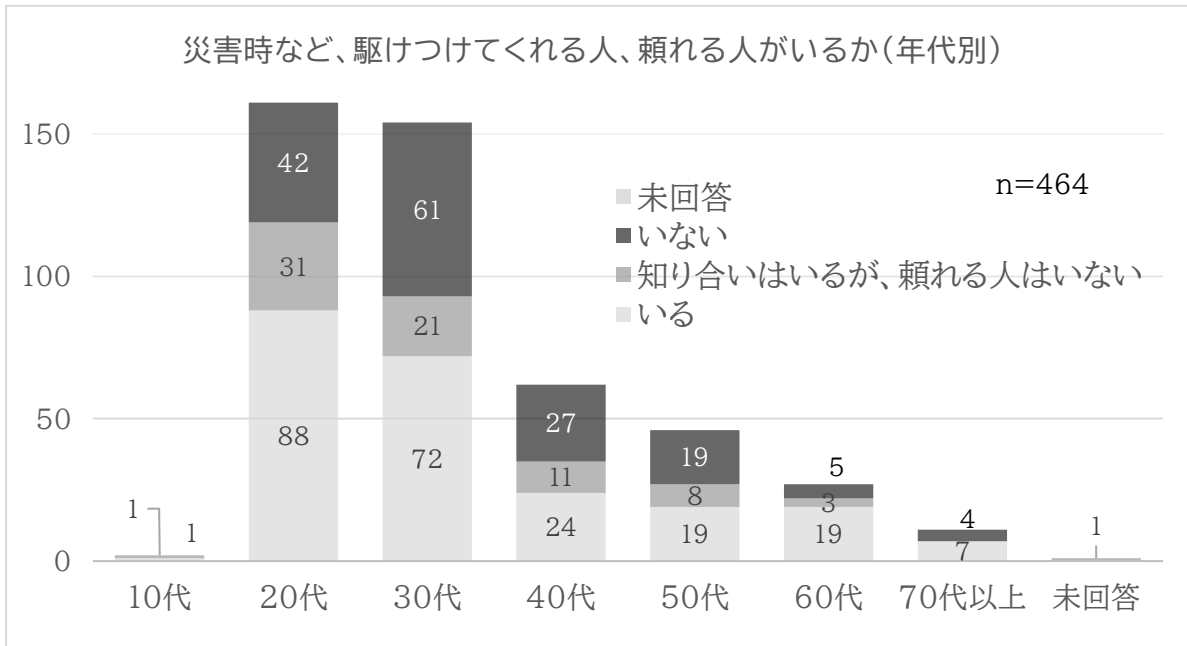
## 3.災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいるかについて



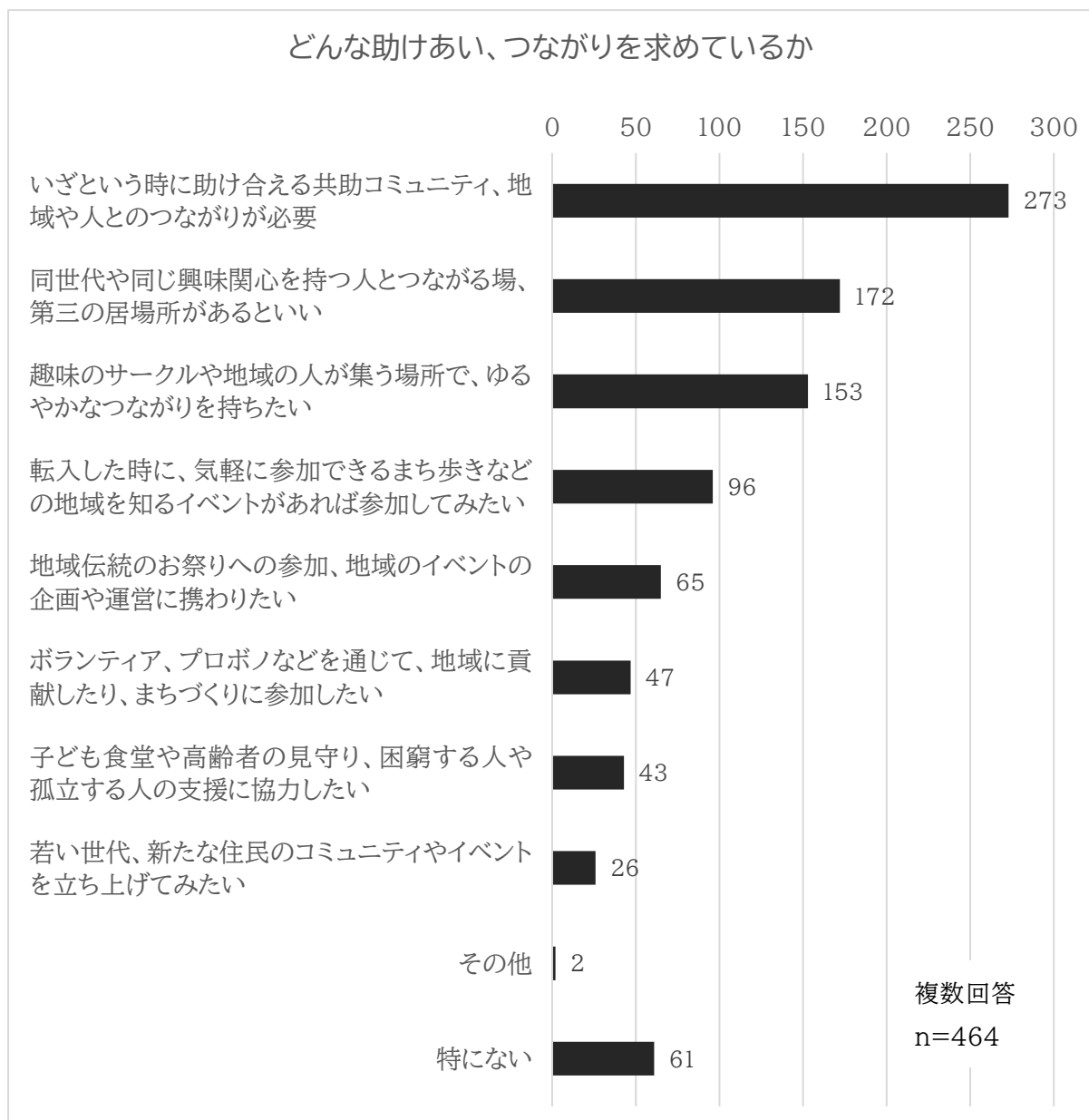
「災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいるか」との設問に、「いる」は半数に満たず、「知り合いはいるが、頼れる人はいない」と「いない」を合わせると僅かながら「いる」を上回る結果となりました。

年代では、20代で「いる」は161人中88人(約55%)で意外にも他の世代に比べてやや高く、30%台の40代、40%台の30代・50代が全体の数字を押し下げているかたちとなりました。

同居人の有無や居住形態で大きな差は見られません。



## 4.どんな助け合い、つながりを求めているかについて



「あなたはどんな助けあい、つながりを求めているか」との設問には、「いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要」が最多で約6割に上りました。

次いで「同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい」が4割近く、「趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい」が3割超、「転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい」が2割を超えました。

また、より積極的に地域と関わる「地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい」は約14%、「ボランティア、プロボノなどを通じて、地域に貢献したり、ま

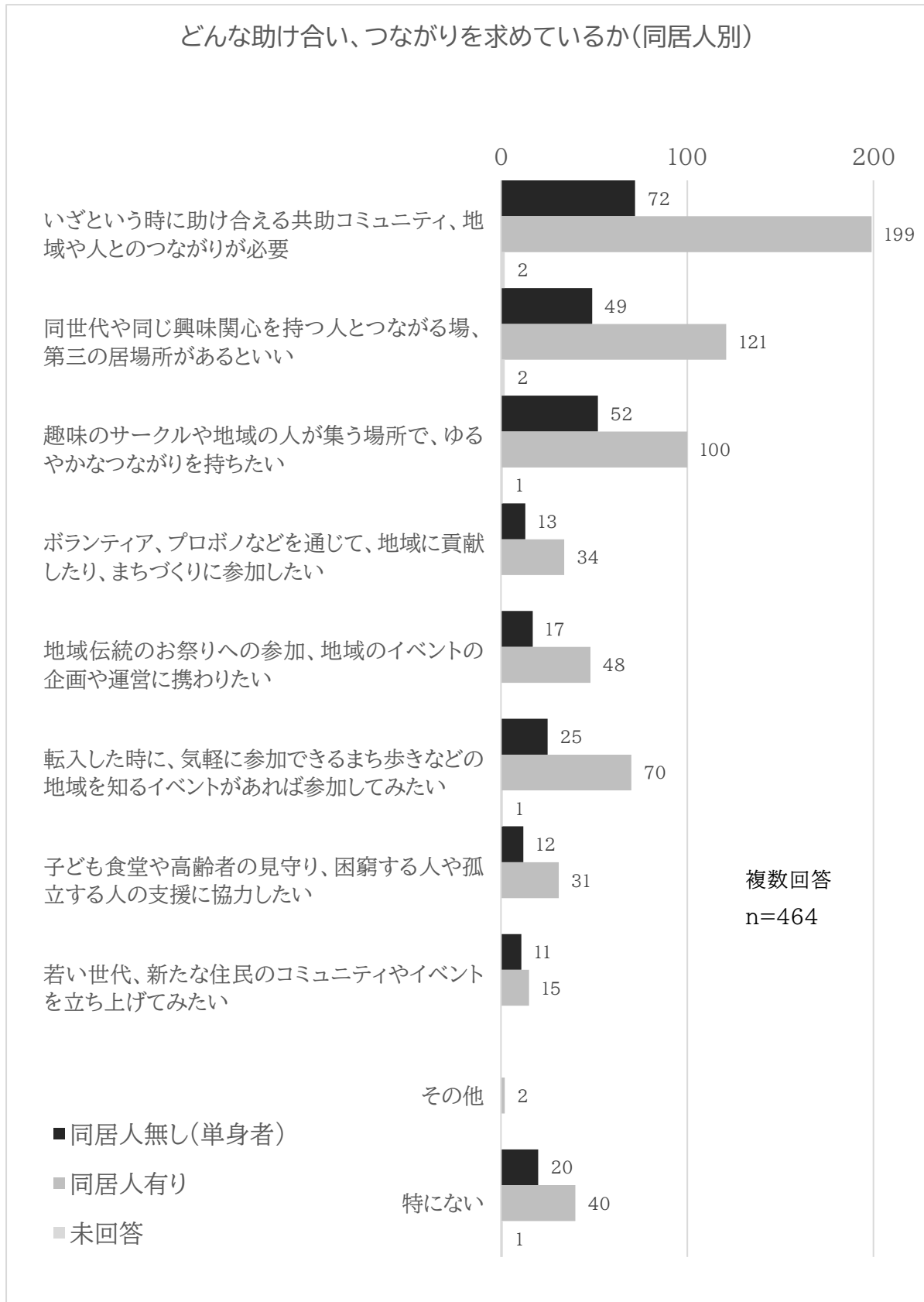
ちづくりに参加したい」も1割を超え、「子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい」も1割近くありました。

年代別の分布（複数回答）

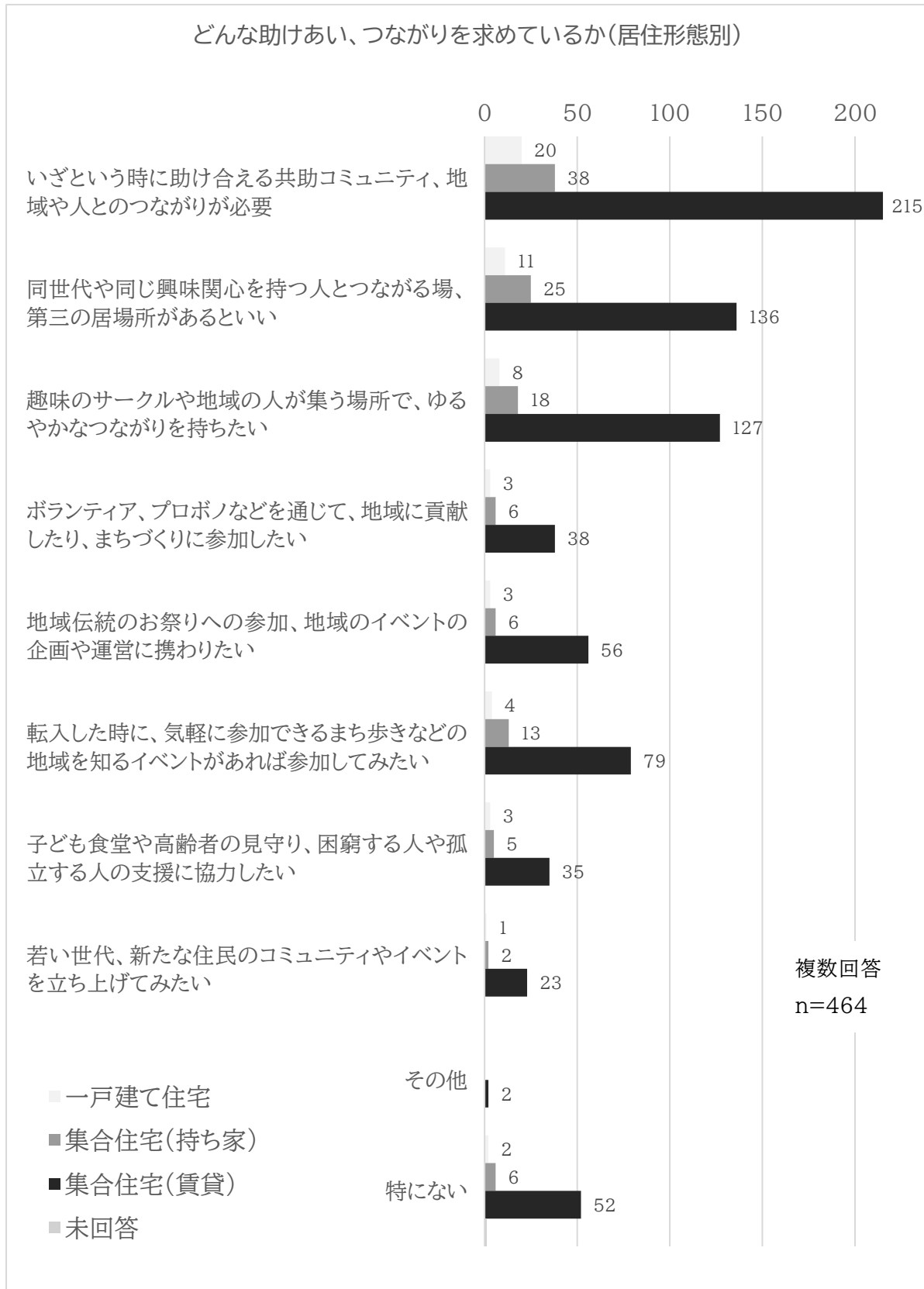
項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要	1	92	84	39	33	16	8	
同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい	1	51	61	25	18	9	6	1
趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい	1	36	53	31	18	9	5	
転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい	1	28	30	12	10	9	6	
地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい		27	23	7	6	1		1
ボランティア、プロボノなどを通じて、地域に貢献したり、まちづくりに参加したい		13	14	10	7	2		1
子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい		17	11	7	5	2	1	
若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい		16	8	2				
その他			2					
特にない		29	17	5	4	6		
総計	4	309	303	138	101	54	26	3

自治会・町内会の加入率が低い若い世代においても地域の助け合いやつながりに関する潜在的なニーズは高いものが見られます。こうしたニーズに対応した団体や活動、参加の仕方があれば、若い世代と新たなつながりを作り、地域活動への参加や担い手を呼びこむきっかけとなる可能性は十分にあると考えられます。



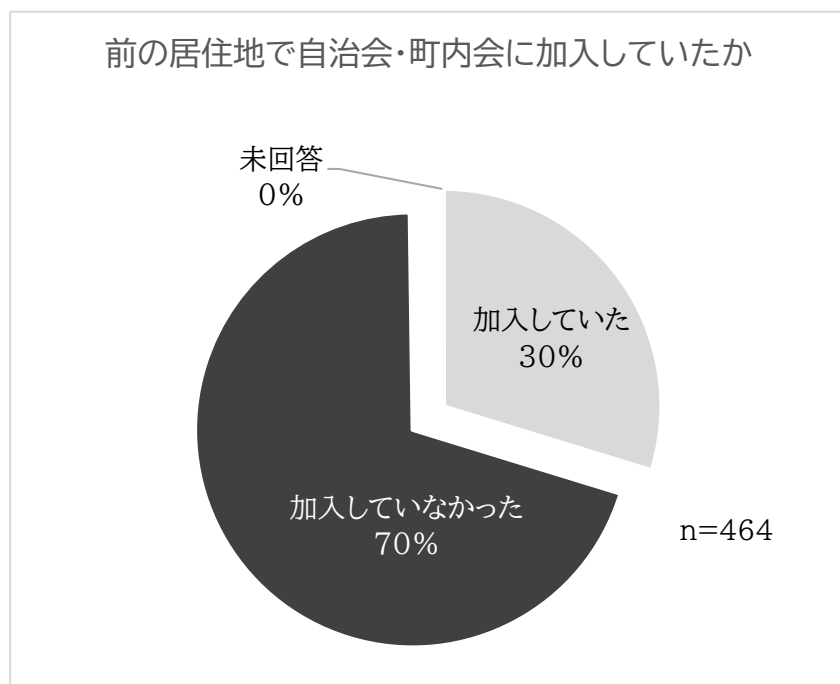


同居人の有無では、特に大きな違いは見られません。



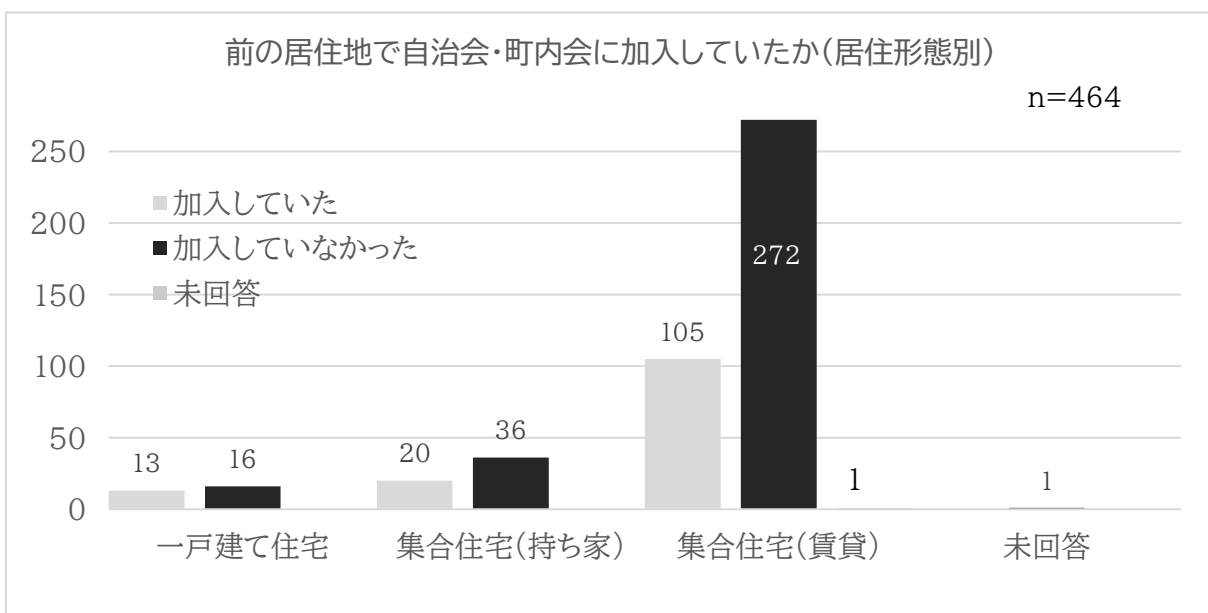
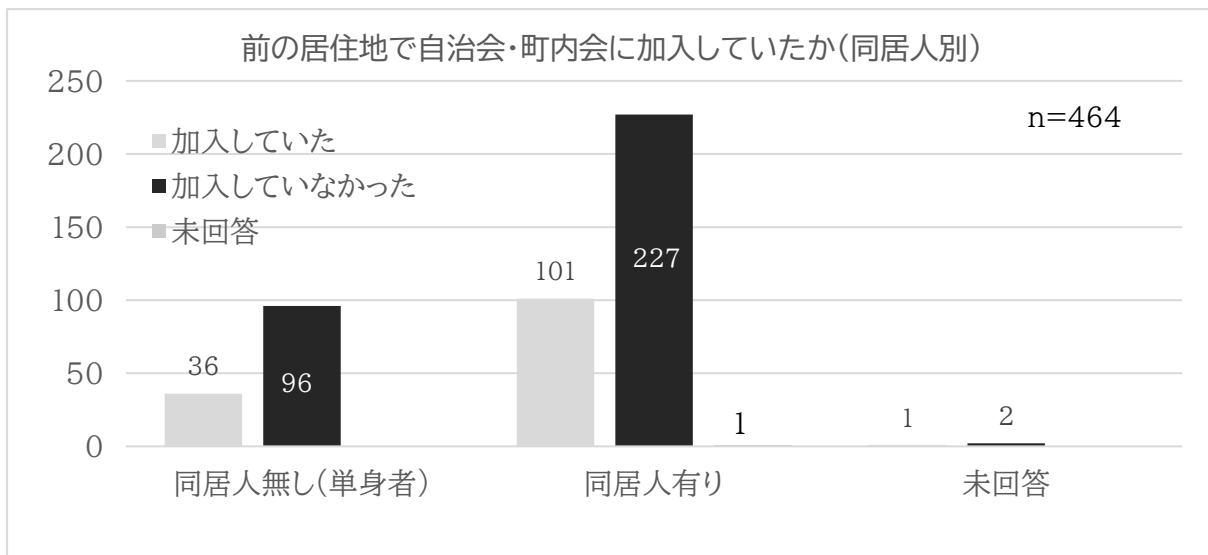
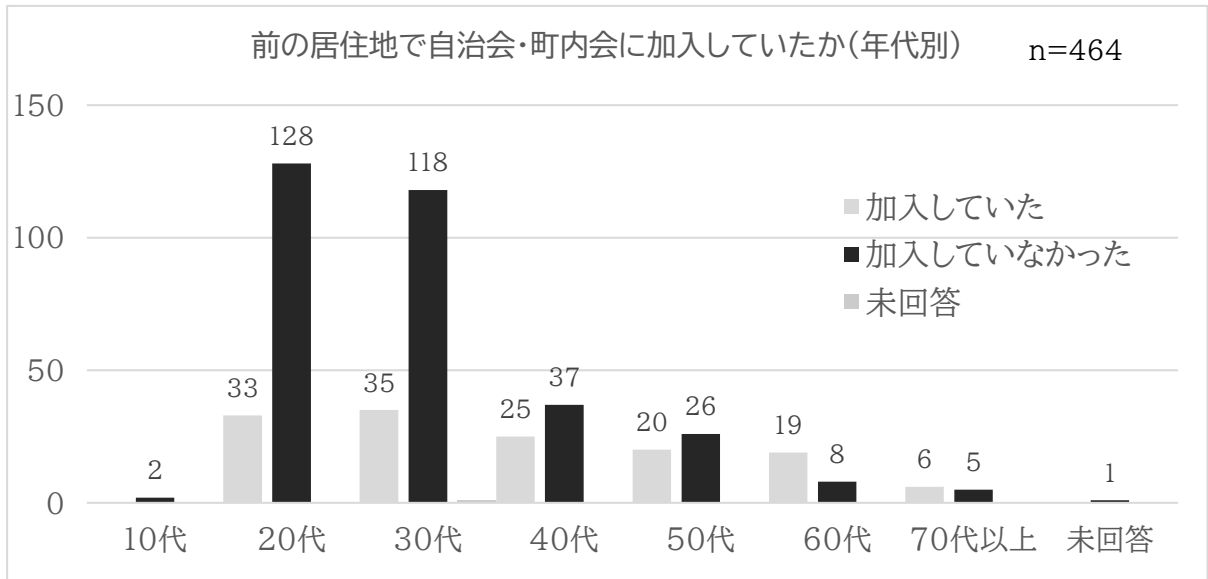
居住形態別では、多少比率に差はあるものの、自治会・町内会の加入率が低い「集合住宅(賃貸)」においても他と同様高い関心を示しています。

## 5. 前の居住地で自治会・町内会に加入していたかについて

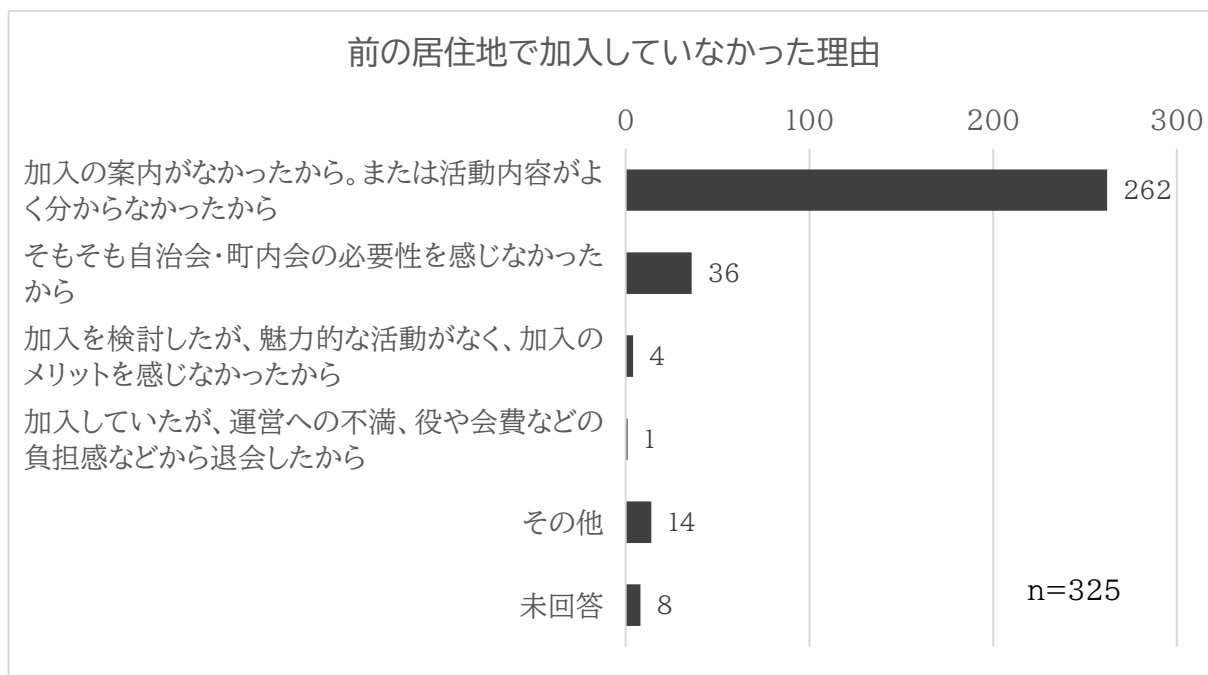


「前の居住地で自治会・町内会に加入していたか」との設問で、「加入していた」は約3割、「加入していなかった」は約7割でした。

年代では20代、30代で「加入していない」は約8割と他の年代より高くなっており、居住形態では「集合住宅(賃貸)」では7割超と他より高くなっています。同居人の有無による違いは大きくありません。



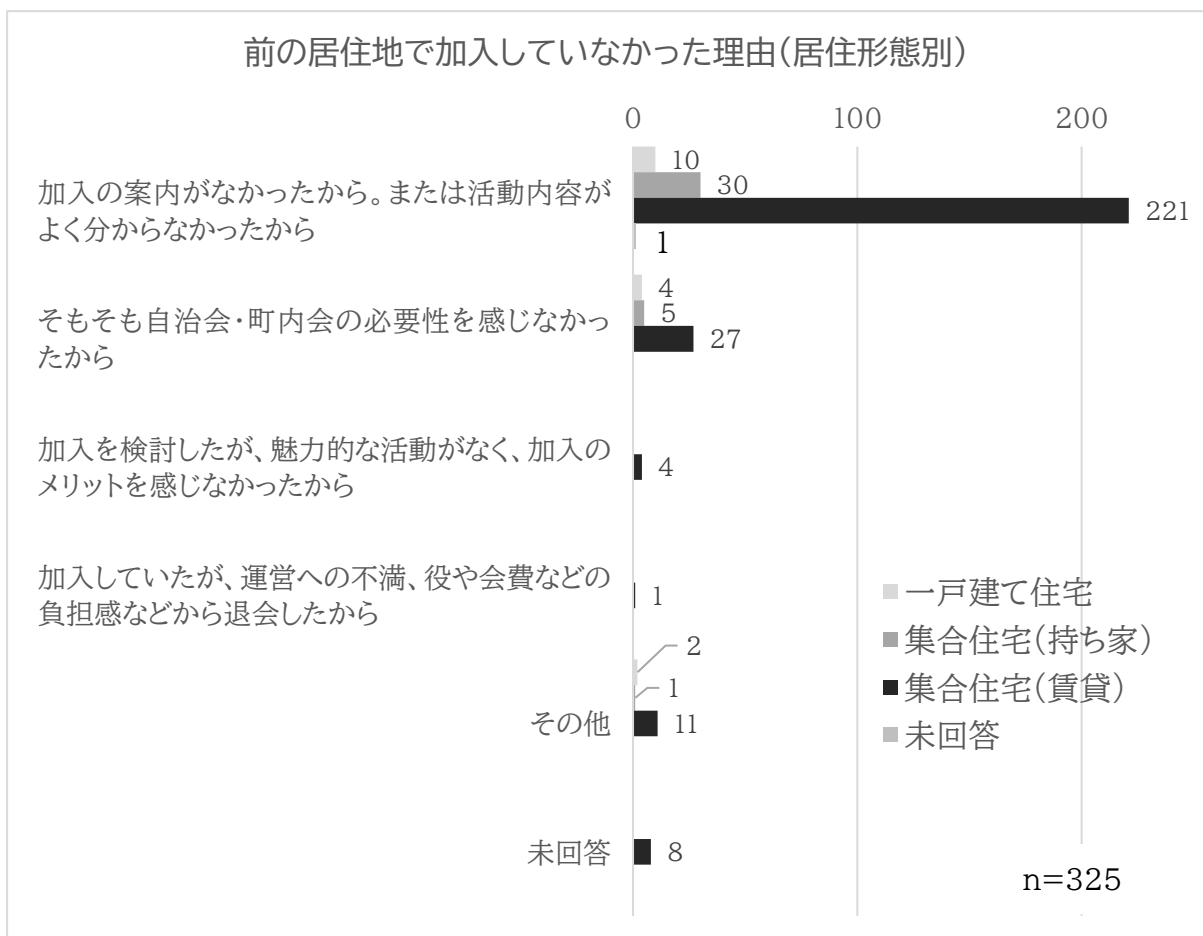
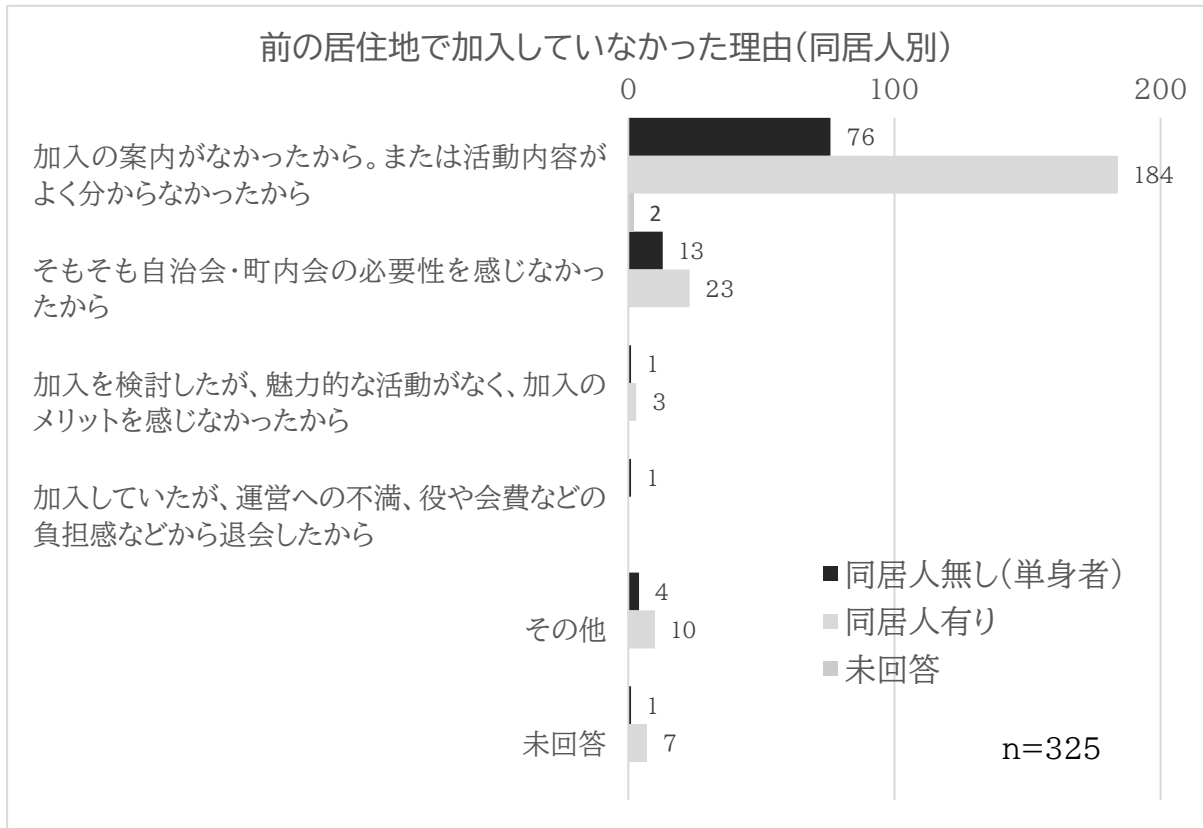
## 6.前の居住地で加入していなかった理由について



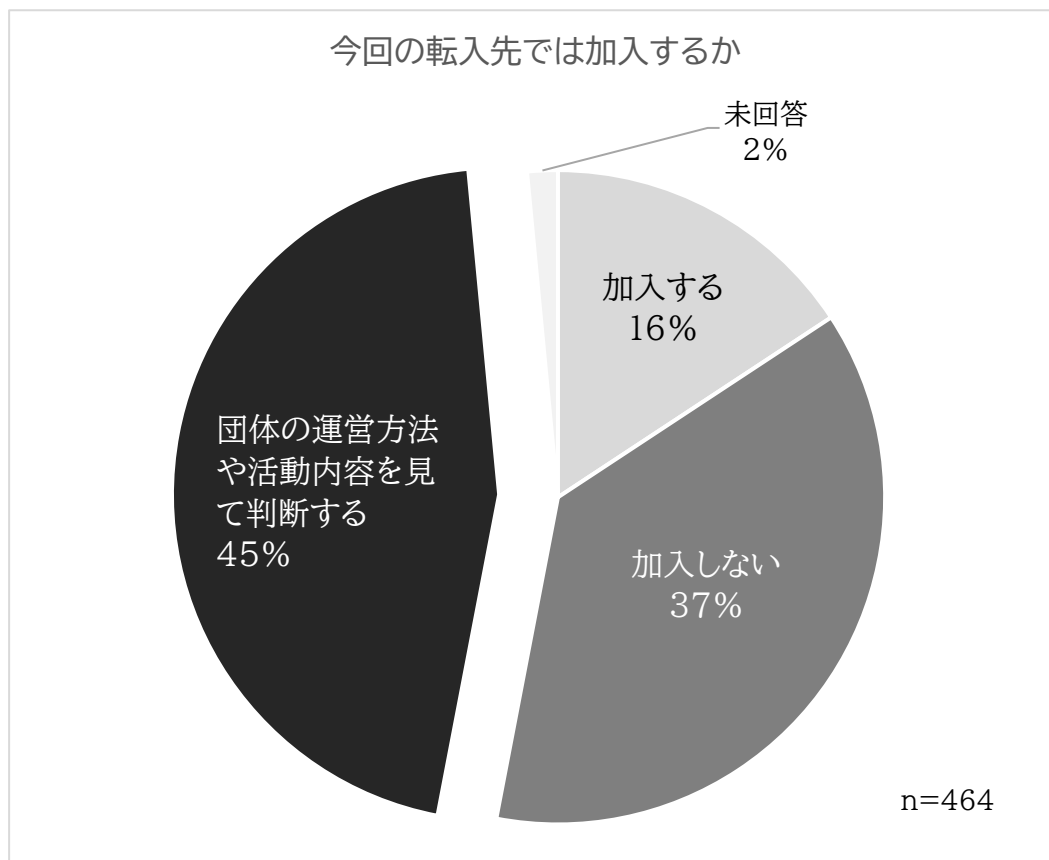
## 年代別の分布

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから	2	106	95	28	22	5	3	1
そもそも自治会・町内会の必要性を感じなかったから		16	11	3	1	3	2	
加入を検討したが、魅力的な活動がなく、加入のメリットを感じなかったから			1	1	2			
加入していたが、運営への不満、役や会費などの負担感などから退会したから		1						
その他		5	6	2	1			
未回答			5	3				
総計	2	128	118	37	26	8	5	1

前の居住地で自治会・町内会に加入していなかった理由は「加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから」で8割超という圧倒的な結果となりました。年代や同居人の有無、居住形態でも同様の結果です。

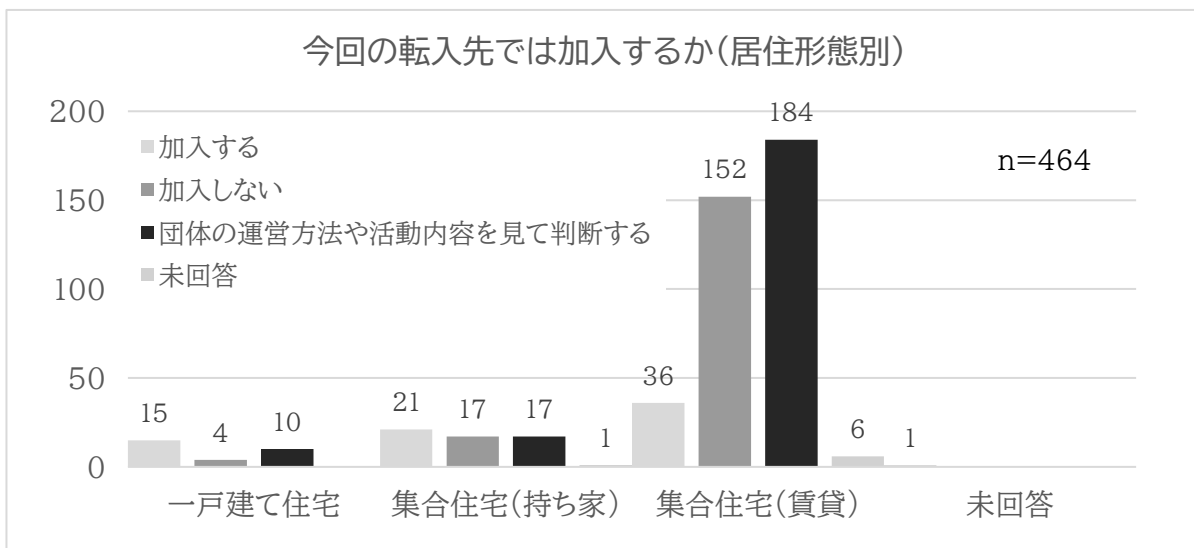
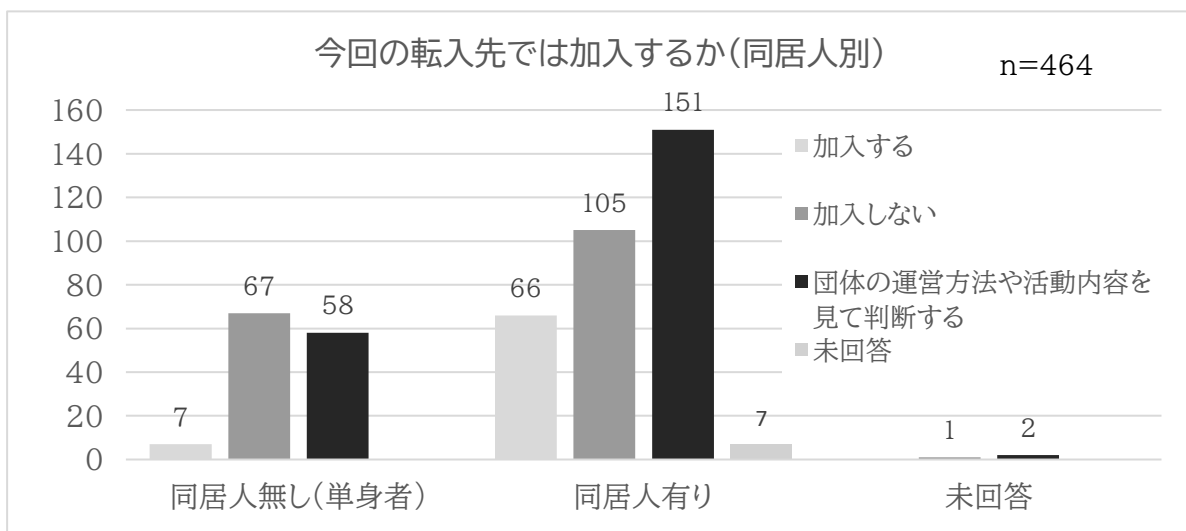
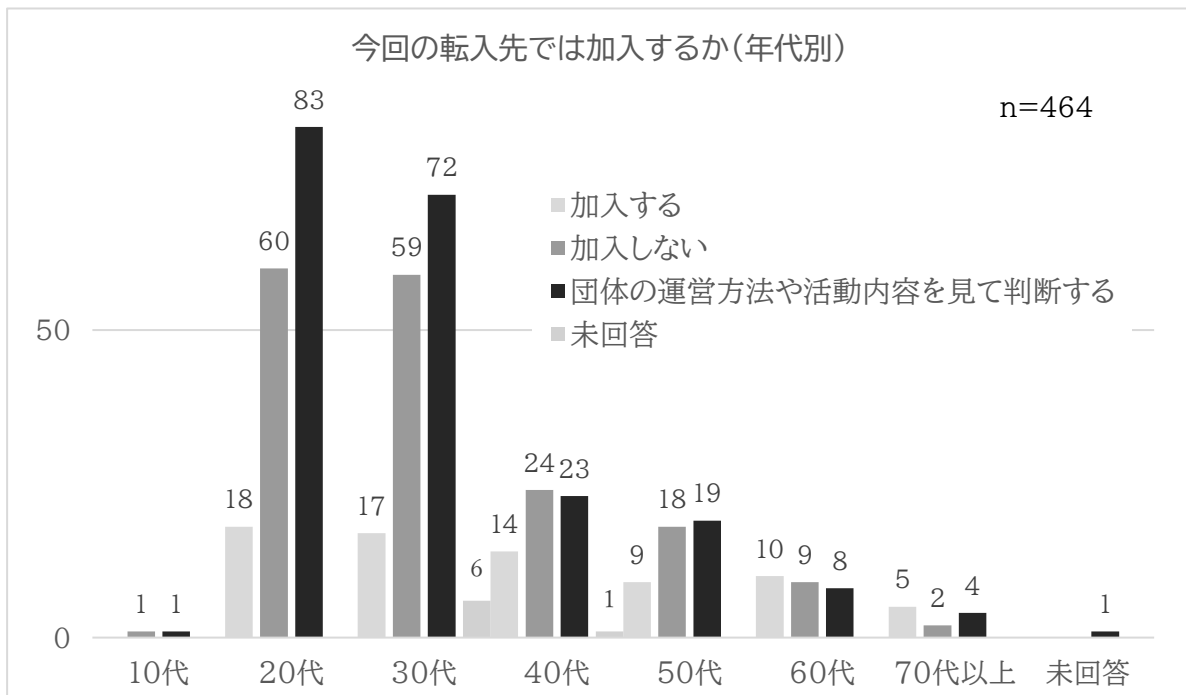


## 7. 今回の転入先で自治会・町内会に加入するかについて



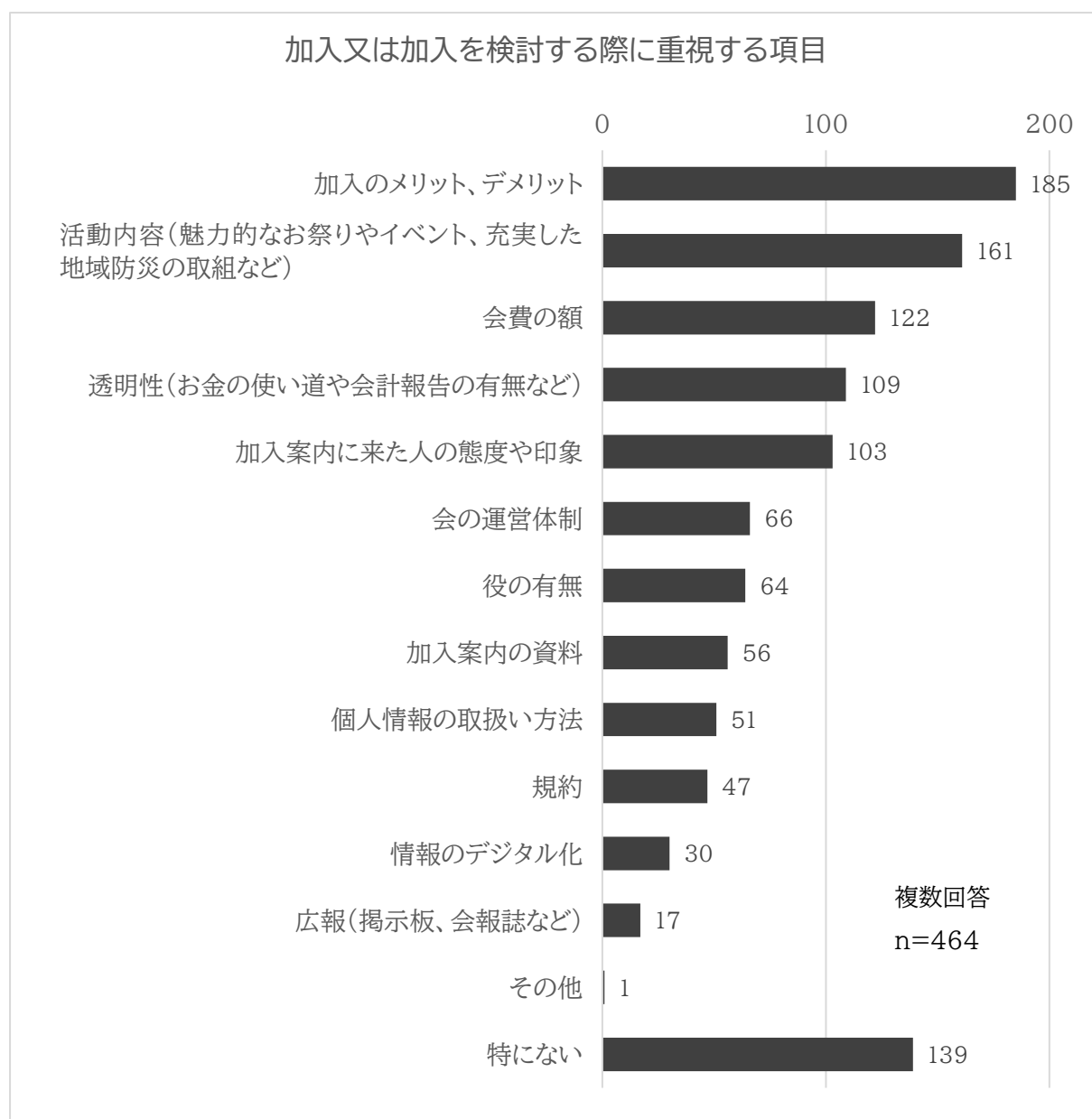
「今回の転入先で自治会・町内会に加入するか」との設問で、「加入する」は約 16%、「加入しない」は約 37%となり、加入しないが20ポイント高くなりました。一方、最多は「団体の運営方法や活動内容を見て判断する」は約 45%でした。

「団体の運営方法や活動内容を見て判断する」に関しては 20 代、30代、集合住宅(賃貸)においても最多となっています。





## 8. 自治会・町内会に加入、または加入を検討する際、重視する項目について



「自治会・町内会への加入、または加入を検討する際に重視する項目」についての設問で、最多は「加入のメリット、デメリット」で約4割、次いで「活動内容」の約35%となっています。

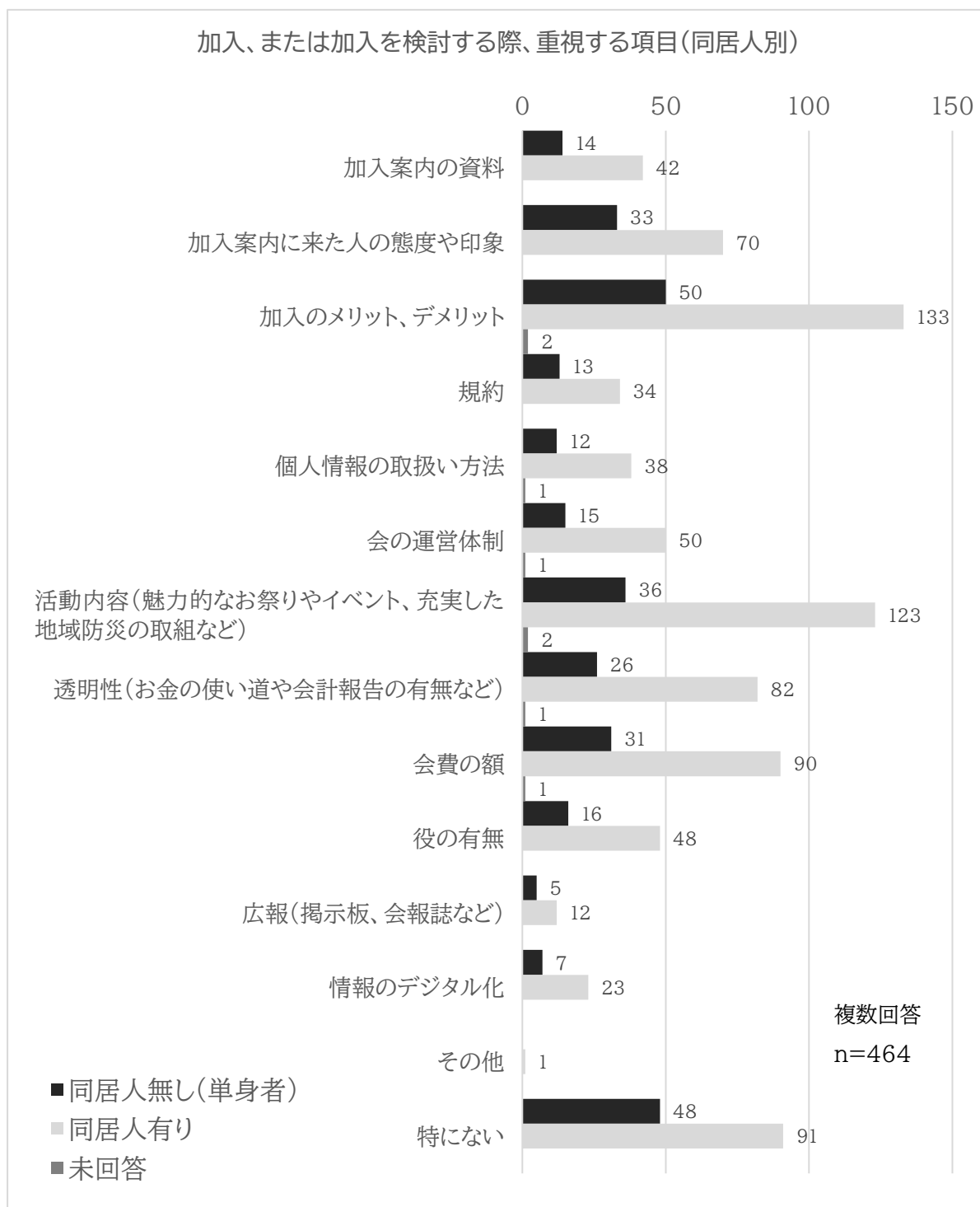
具体項目としては「会費の額」や「透明性」、「会の運営体制」、「役の有無」、「個人情報の取り扱い方法」、「規約」、「加入案内の資料」など、運営のあり方に関心が集まっています。

興味深いのは、「加入に来た人の態度や印象」を2割超の人が上げており、こうした部分で加入が左右されることも大いにあり得ることを自治会・町内会でも認識し、ニーズに沿った提案やアプローチをする必要があるといえます。

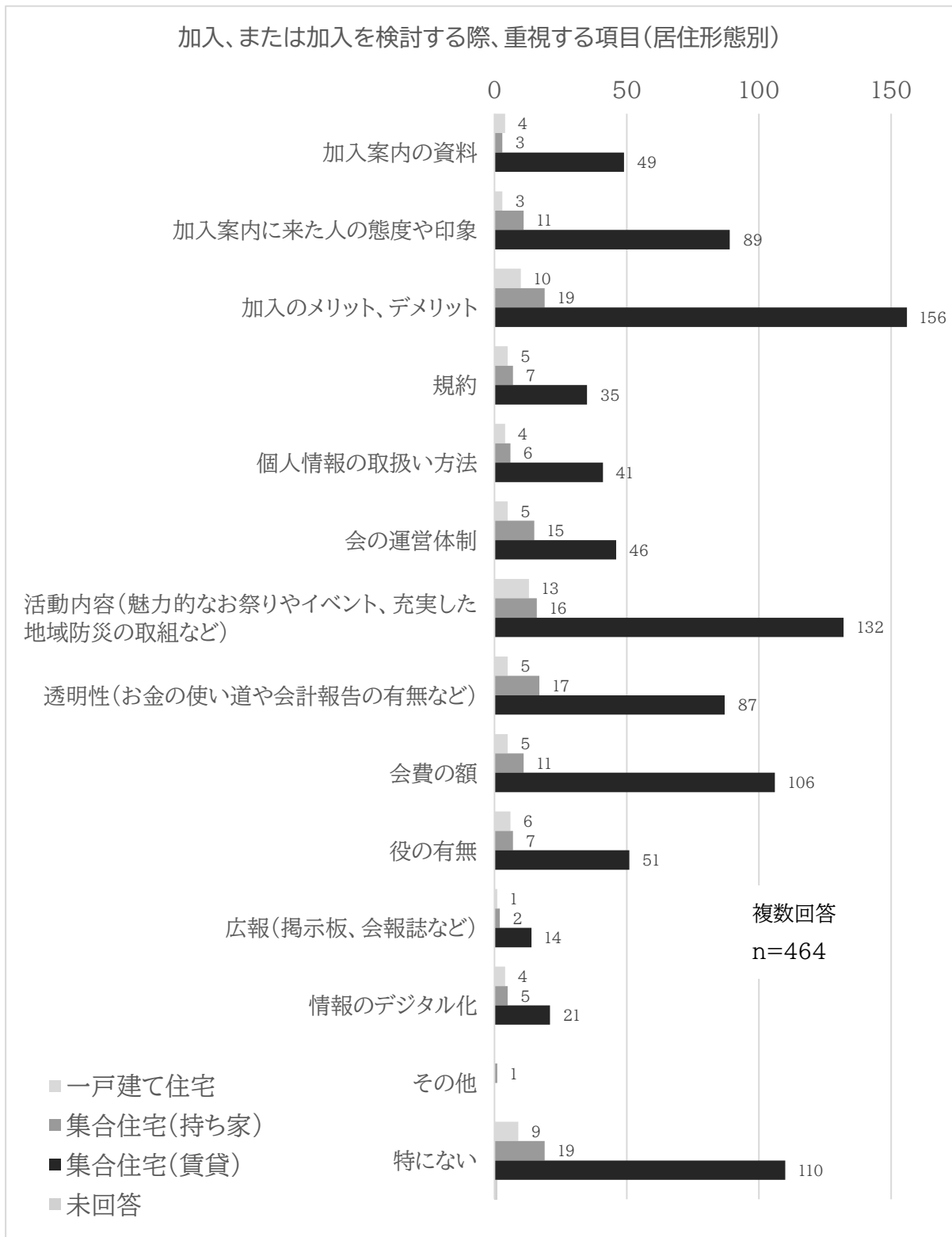
## 年代別の分布（複数回答）

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
加入のメリット、デメリット		66	61	27	21	7	3	
活動内容(魅力的なお祭りやイベント、充実した地域防災の取組など)	1	49	61	23	17	6	4	
会費の額		47	41	21	7	3	2	1
透明性(お金の使い道や会計報告の有無など)		34	33	27	11	3	1	
加入案内に来た人の態度や印象		30	37	22	10	4		
会の運営体制	1	14	21	13	12	4	1	
役の有無		16	21	11	9	5	1	1
加入案内の資料		24	16	4	7	3	1	1
個人情報の取扱い方法		10	15	11	7	6	1	1
規約	1	13	14	6	9	4		
情報のデジタル化		11	8	5	4	2		
広報(掲示板、会報誌など)		5		7	3	2		
その他						1		
特になし	1	61	42	12	14	5	4	
総計	4	380	370	189	131	55	18	4

年代別では、多くの世代で「加入のメリット、デメリット」や「活動内容」が上位に上がってきていますが、その他で高い項目としては20代と30代では「会費の額」、40代では「透明性」、50代では「会の運営体制」、60代では「個人情報の取扱い方法」となっています。

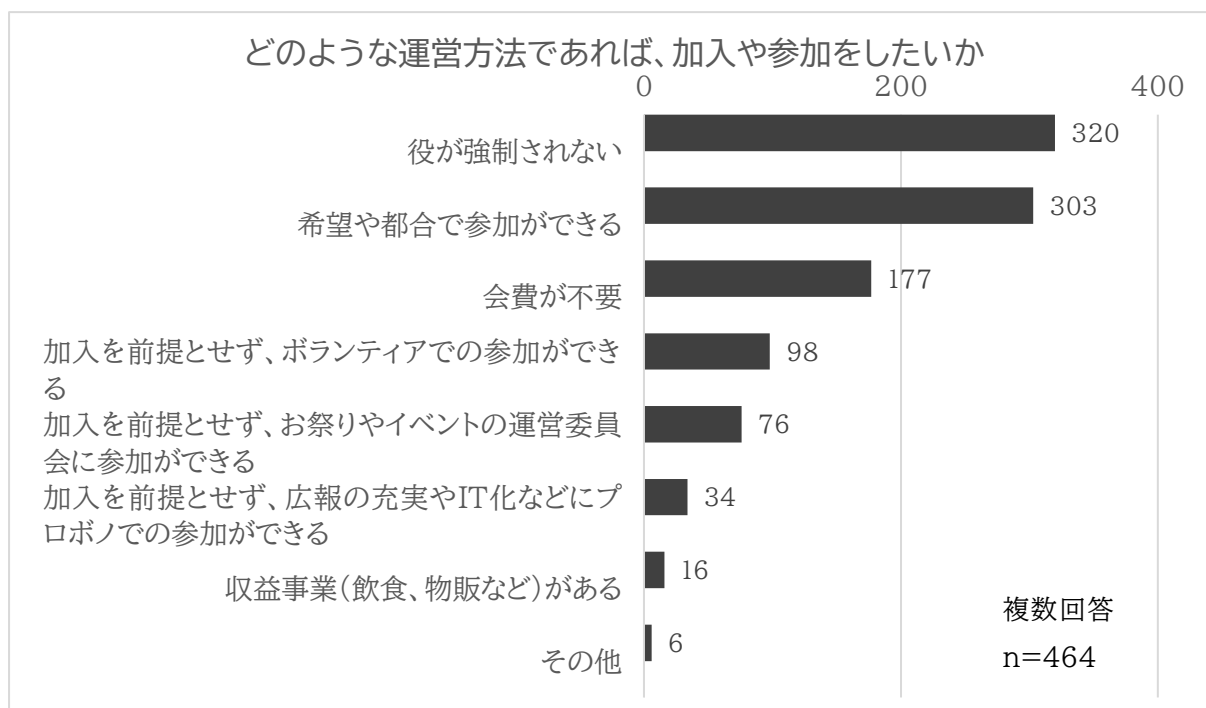


同居人の有無では、「あり」も「なし」も1位は「加入のメリット、デメリット」、次いで「活動内容」となっていますが、3番目に高い項目では、「あり」は「会費の額」に対し、「なし」は「加入案内に来た人の態度や印象」となっています。



居住形態では、自治会・町内会の加入率が低い「集合住宅(賃貸)」でも最多は「加入のメリット、デメリット」で、次いで「活動内容」、「会費の額」、「加入案内に来た人の態度や印象」となりました。

## 9.どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいかについて



## 年代別の分布（複数回答）

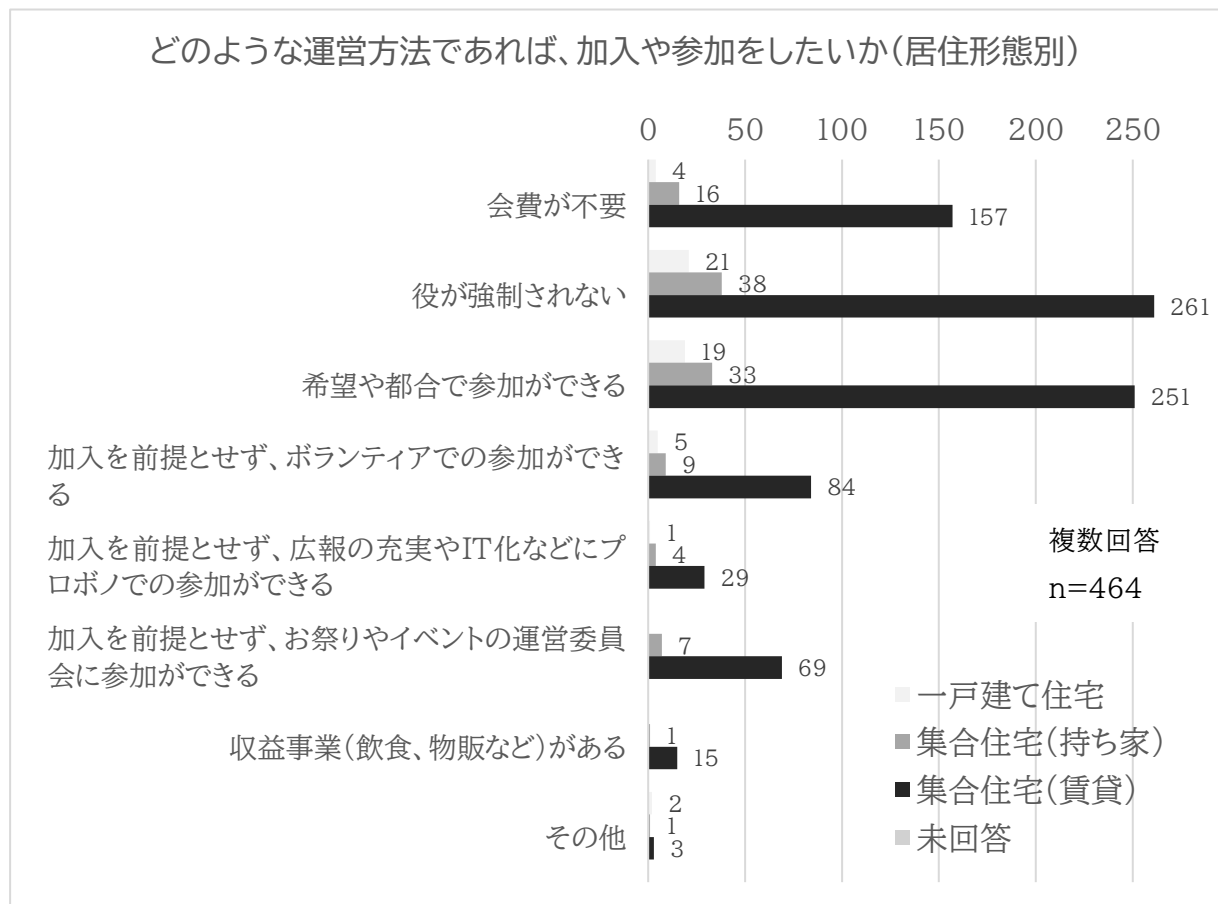
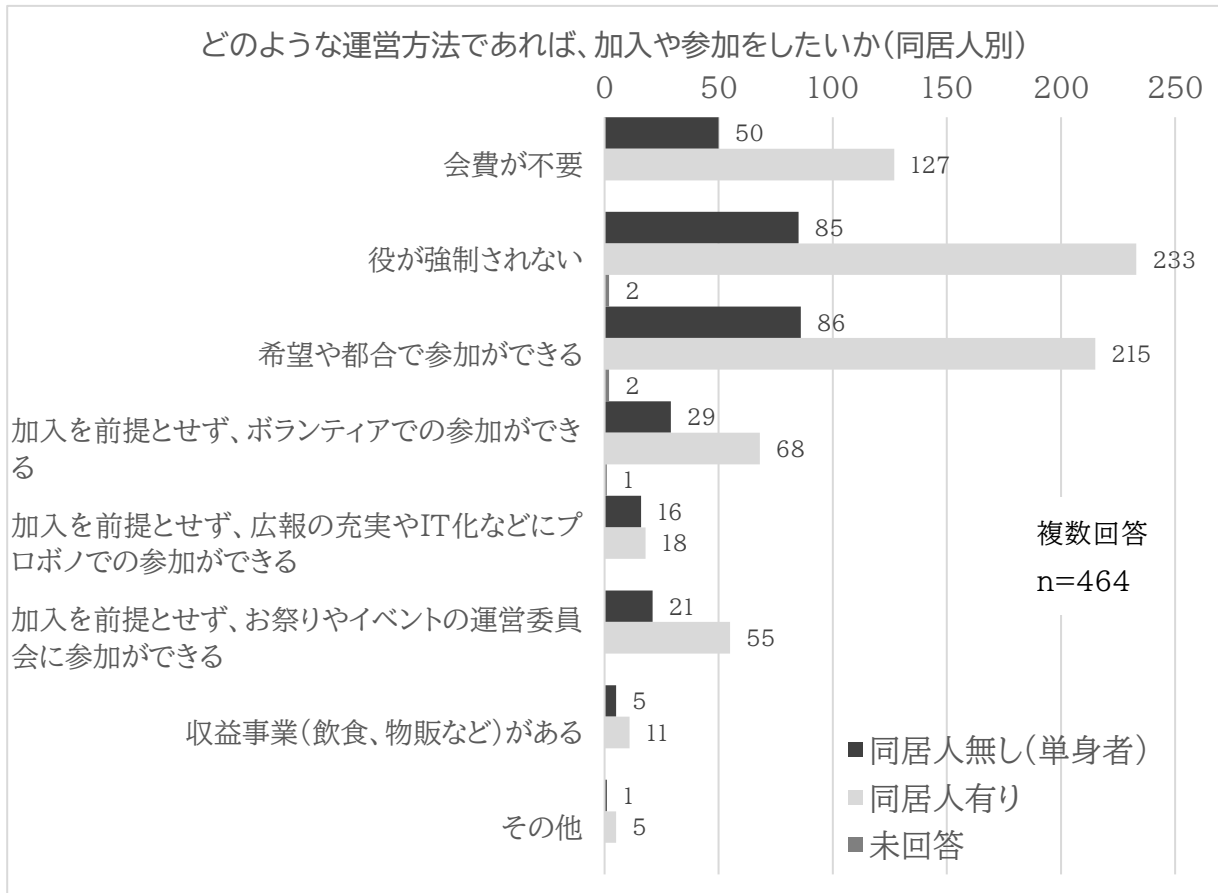
項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
役が強制されない	2	107	111	39	36	17	7	1
希望や都合で参加ができる	2	106	100	44	29	14	7	1
会費が不要	1	80	59	19	11	5	2	
加入を前提とせず、ボランティアでの参加ができる	1	31	34	11	13	5	2	1
加入を前提とせず、お祭りやイベントの運営委員会に参加ができる		30	25	9	6	5		1
加入を前提とせず、広報の充実やIT化などにプロボノでの参加ができる		12	12	3	3	3		1
収益事業(飲食、物販など)がある		9	5	2				
その他			4	1		1		
総計	6	375	350	128	98	50	18	5

「どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいか」との設問で、最多は「役が強制されない」で約69%、次いで「希望や都合で参加できる」の約65%、「会費が不要」の約4割となりました。

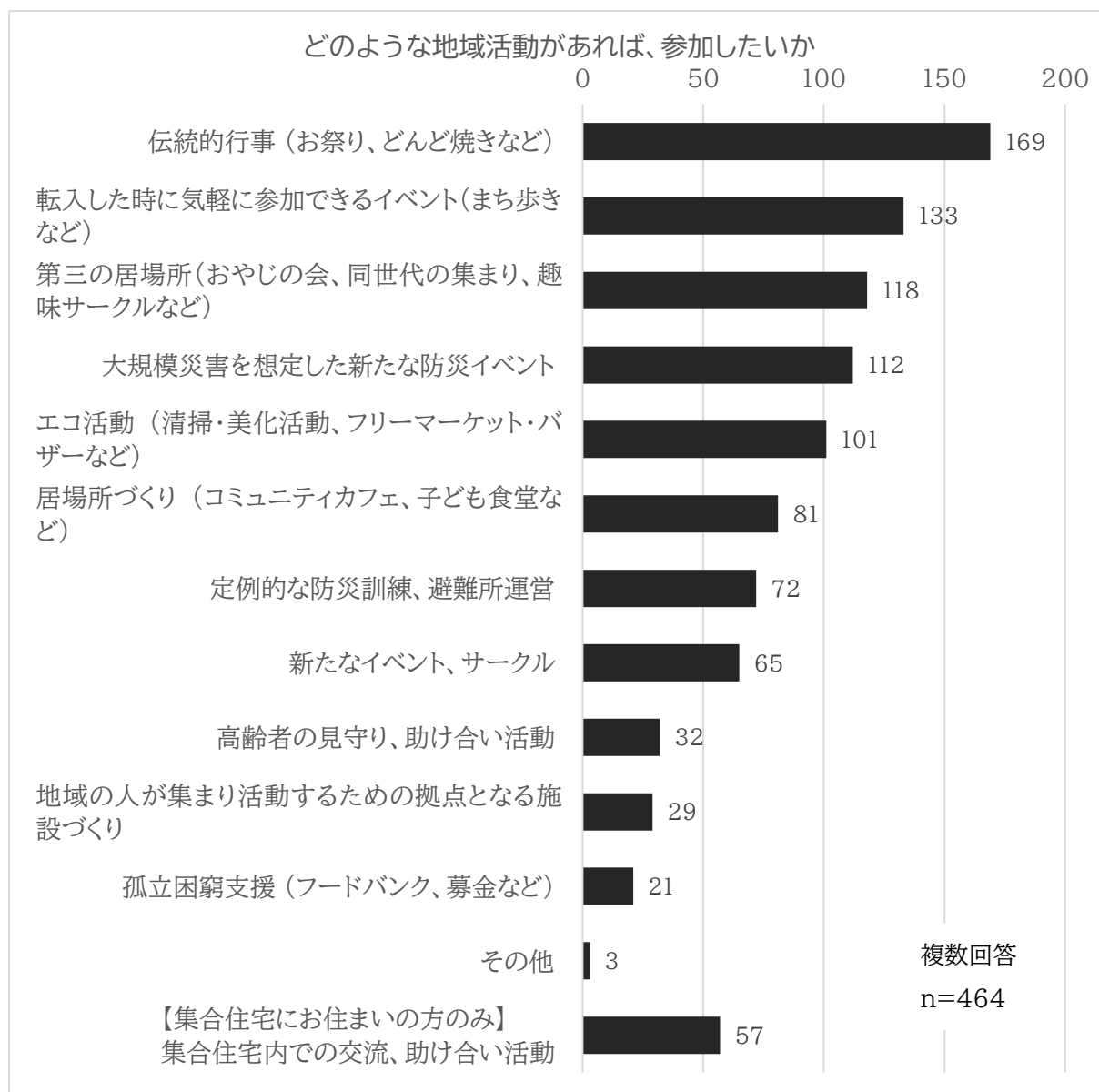
役を強制されるのではなく、希望や都合で参加できるに関連した項目としては、加入を前提としない参加方法として「ボランティア」が2割超、「運営委員会」が約16%、「プロボノ」が約7%となり、加入にこだわることでむしろ担い手を遠ざけてしまう可能性があることも自治会・町内会において認識する必要もあるといえます。

こうした傾向は年代、同居人の有無、居住形態別でも大きな差は見られません。集合住宅(賃貸)でも加入を前提としない「ボランティア」は約2割、「運営委員会」は約15%に上っています。

興味深いのは「収益事業」に関しては20代から40代で関心を示す人が一定数あり、特に20代では5%超が関心を示しています。



## 10.どのような地域活動があれば、参加してみたいかについて



「どのような地域活動であれば、参加してみたいか」との設問で、最多は「伝統的行事」で約36%、次いで「転入した時に気軽に参加できるイベント」が3割近く、「第三の居場所」と「大規模災害を想定した新たな防災イベント」に関しては概ね4人に1人が上げており、「エコ活動」も2割超となりました。

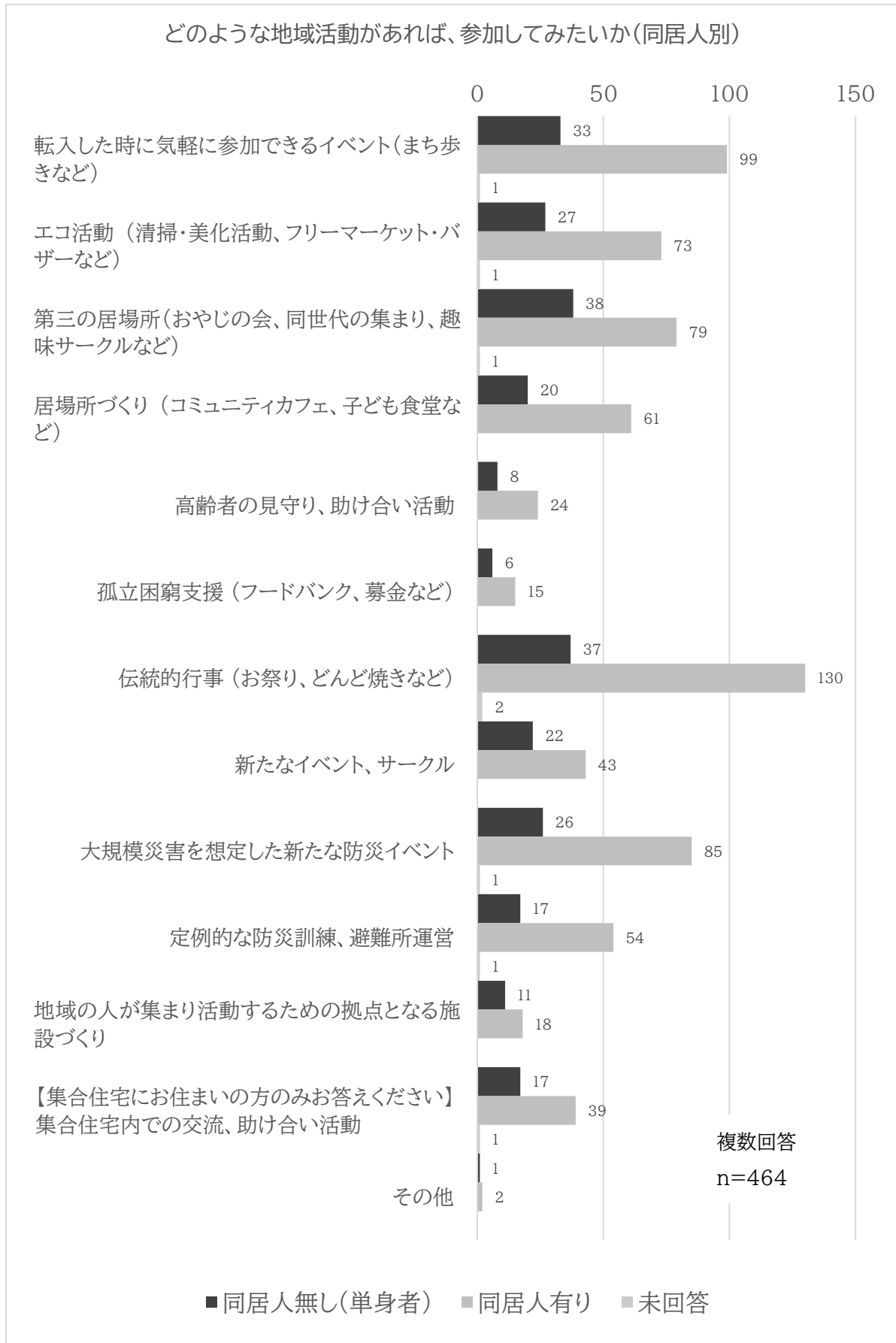
年代別では多少バラツキもありますが、同居人の有無や居住形態とも大きな違いは見られません。

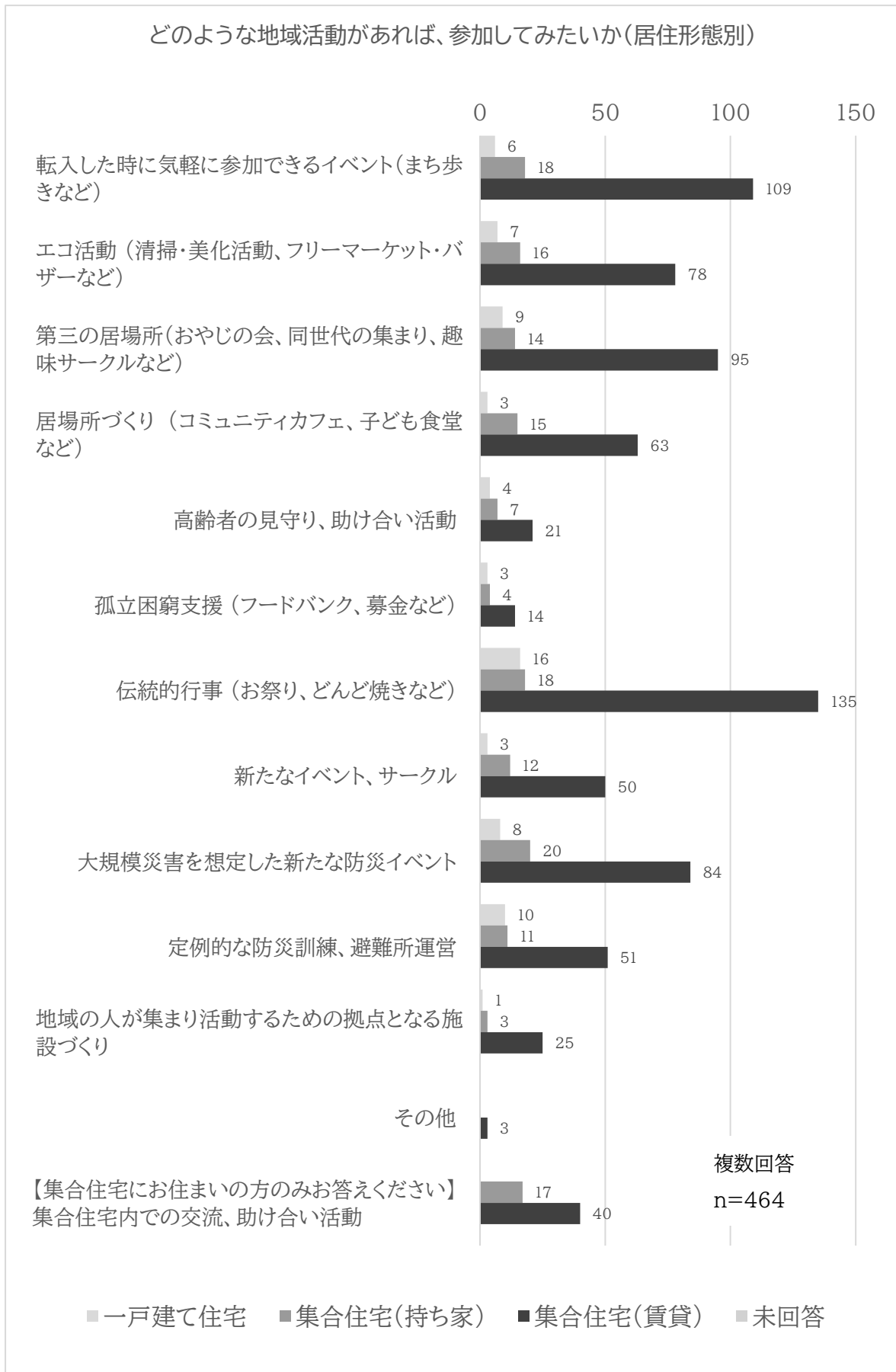
集合住宅内での交流、助け合い活動についても1割超が参加意向を示しています。



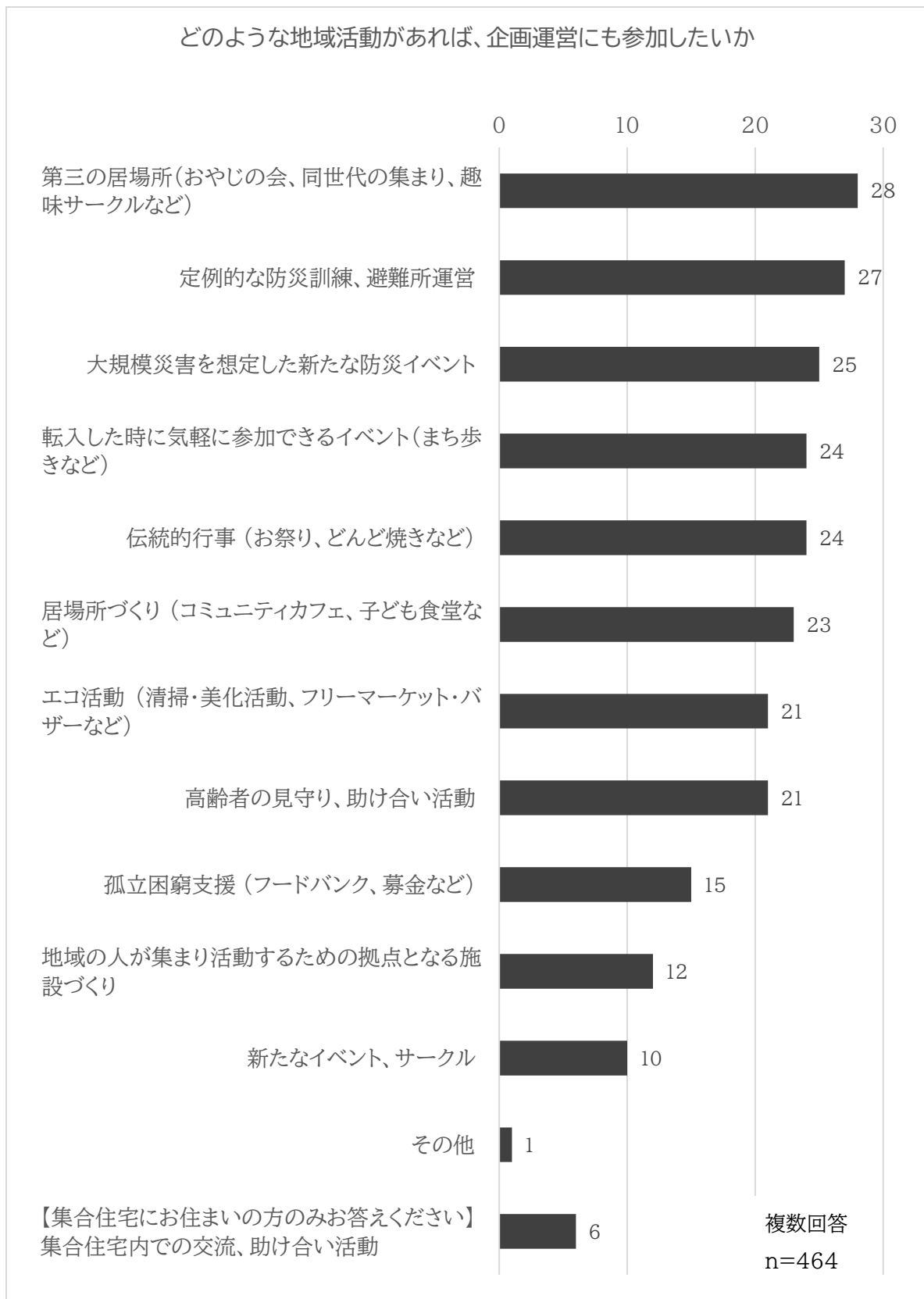
## 年代別の分布（複数回答）

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	1	57	61	23	16	9	2	
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）		43	40	22	14	10	4	
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）		27	46	15	17	9	3	1
大規模災害を想定した新たな防災イベント		28	44	15	14	7	3	1
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）		28	37	18	10	5	2	1
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	1	25	25	13	9	5	3	
高齢者の見守り、助け合い活動		7	6	6	8	4	1	
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）		6	6	2	4	1	2	
新たなイベント、サークル		28	16	8	7	5	1	
定例的な防災訓練、避難所運営		16	29	10	10	3	3	1
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり		8	9	7	2	2	1	
その他		3						
総計	2	295	331	148	118	66	29	4





## 11.どのような地域活動があれば、企画運営にも参加してみたいかについて



「どのような地域活動があれば、企画運営にも参加したいか」との設問では、多くの項目に回答者の5%前後の人が参加意向を示す結果となりました。

関心の高い項目に関しては大きく分けて3つのテーマに分類されます。

一つは「第三の居場所」や「居場所づくり」、「高齢者の見守り、助け合い活動」など、つながりや助けあいの場作りに関するもの。

もう一つは「大規模災害を想定した新たな防災イベント」や「定期的な防災訓練や避難所運営」など、防災に関すること。

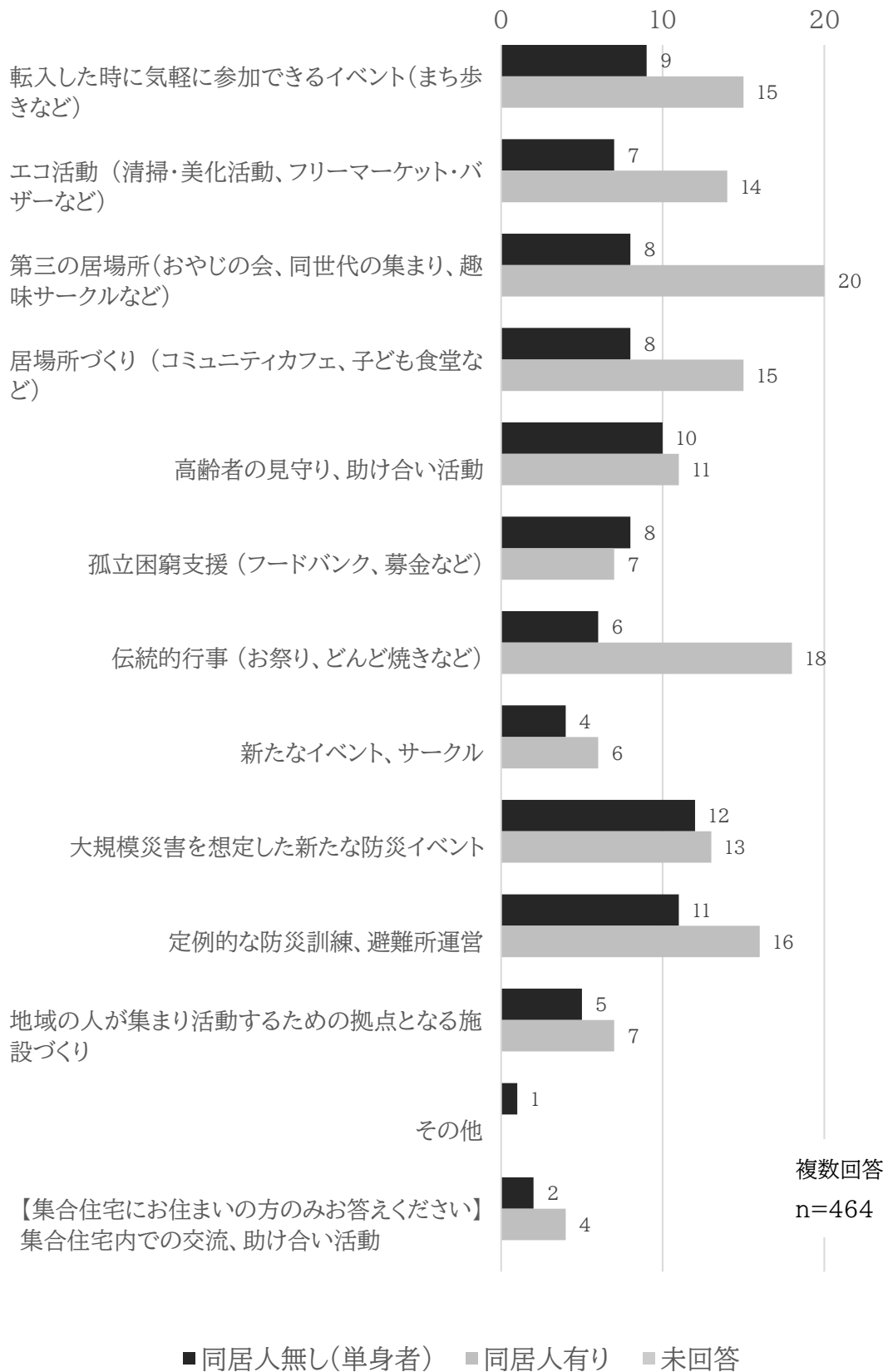
あと一つは、「転入時に気軽に参加できるイベント」や「エコ活動」、「伝統的行事」、「新たなイベント、サークル」など、新たな人とのつながりを作るイベントです。

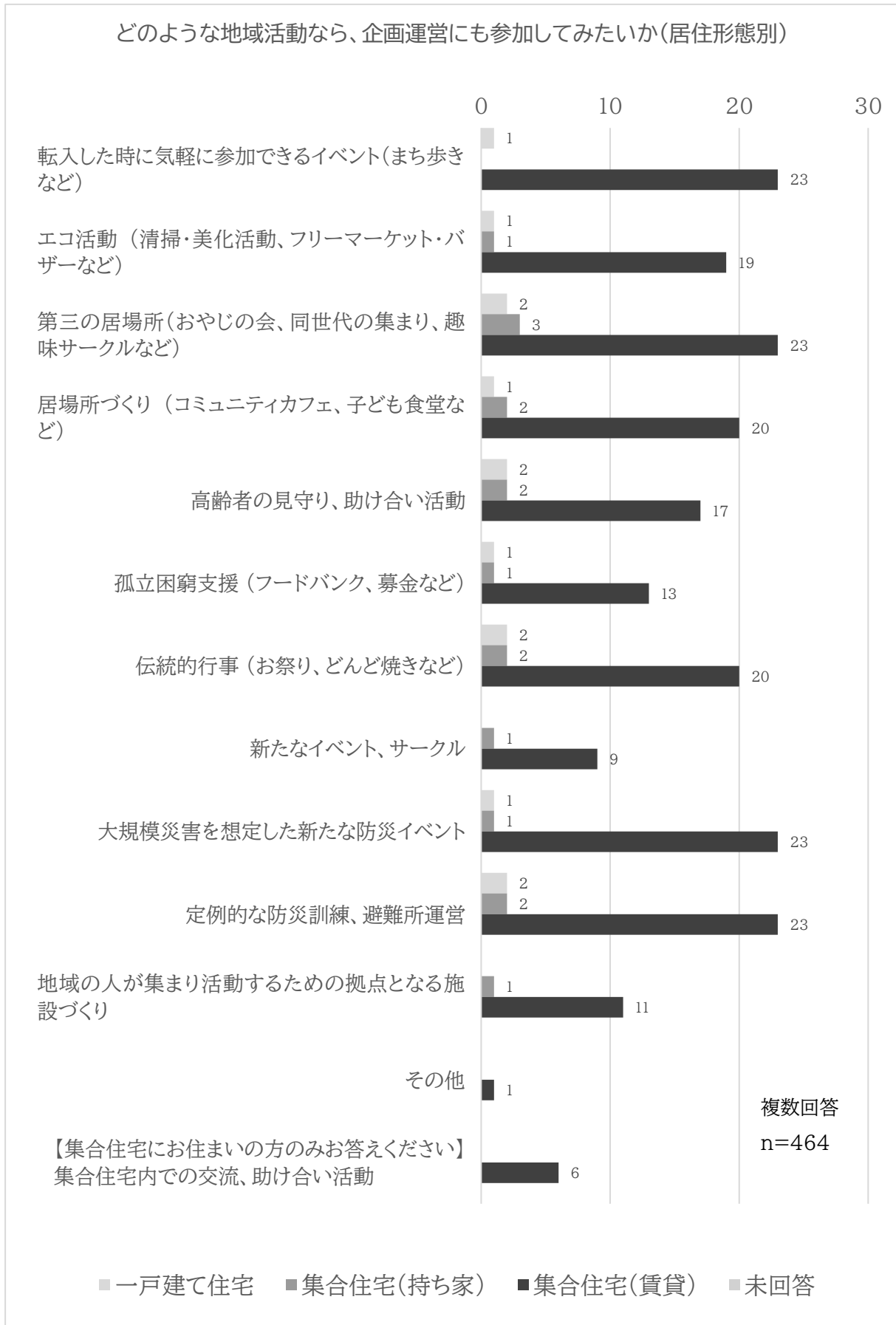
こうした項目において年代、同居人の有無、居住形態による意欲の差も見られません。

## 年代別の分布（複数回答）

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
転入した時に気軽に参加できるイベント(まち歩きなど)		8	5	6	2	2	1	
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）		10	4	5	2			
第三の居場所(おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど)		9	10	6	2	1		
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）		11	8	3				1
高齢者の見守り、助け合い活動		5	5	5	3	2	1	
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）		6	4	3		1	1	
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）		7	8	8				1
新たなイベント、サークル		8	2					
大規模災害を想定した新たな防災イベント	1	8	7	6	2		1	
定例的な防災訓練、避難所運営	1	11	9	4		2		
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり		7	2	2		1		
その他		1						
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動		3	1	2				
総計	2	94	65	50	11	9	4	2

どのような地域活動なら、企画運営にも参加してみたいか(同居人別)

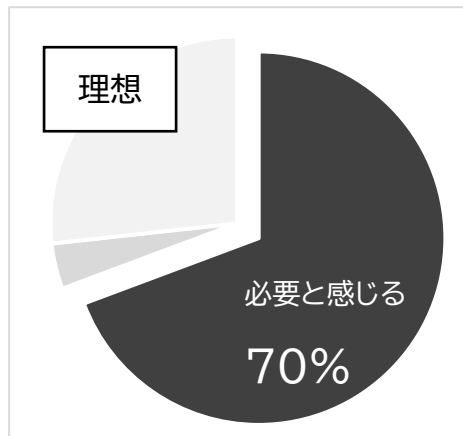




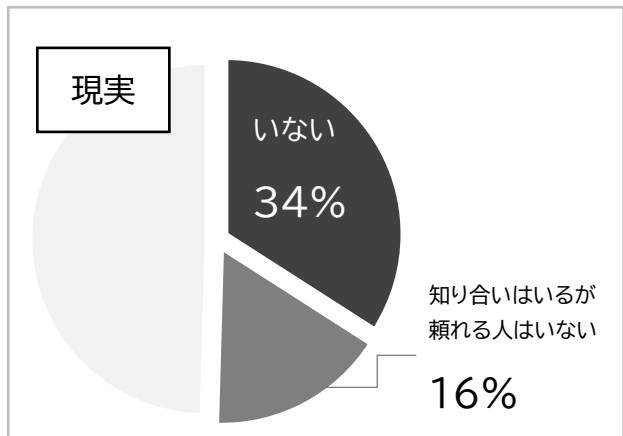


アンケート分析(まとめ)

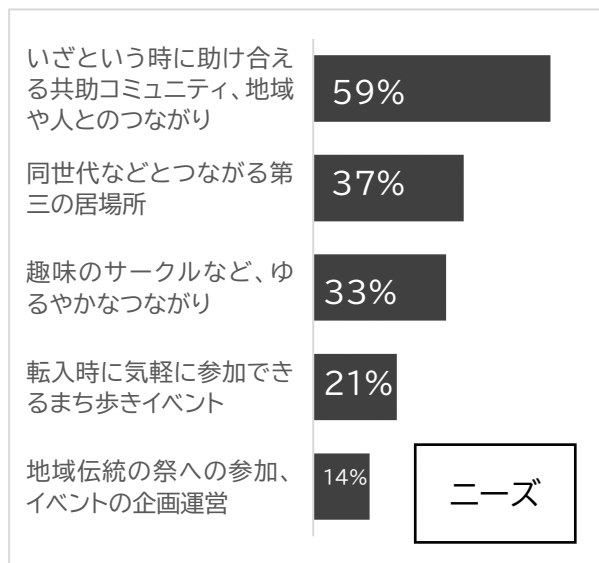
困った時に助け合える地域の絆  
人とのつながりの必要性



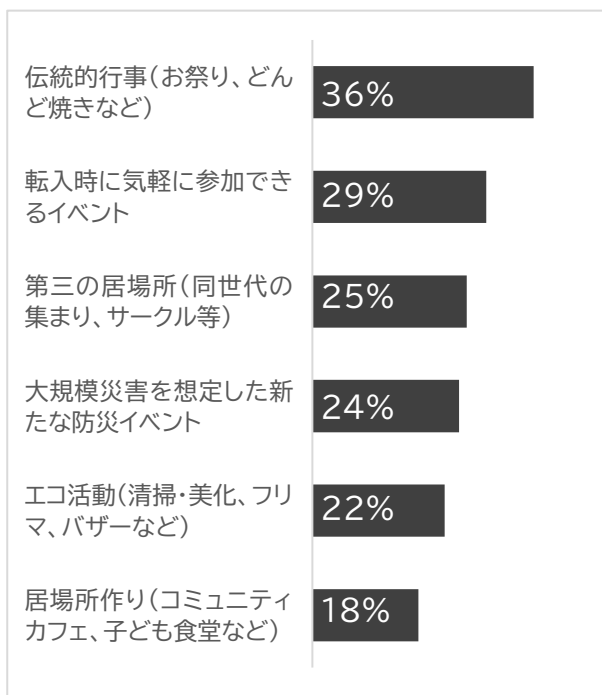
災害時など、いざという時にすぐに  
駆けつけてくれる人、頼れる人が近くいるか



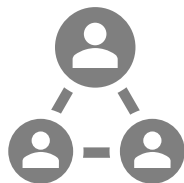
どんな助けあい、つながりを求めているか



どんな地域活動があれば参加したいか

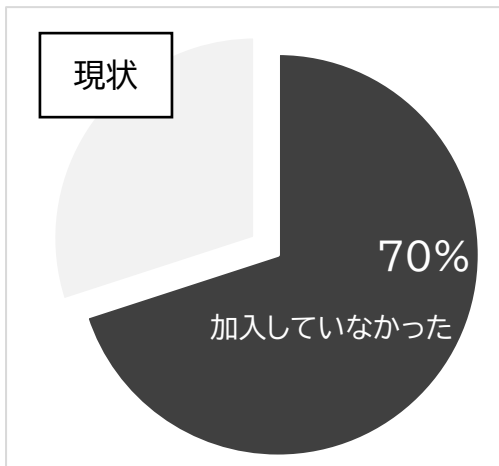


企画運営にも参加してみたいか

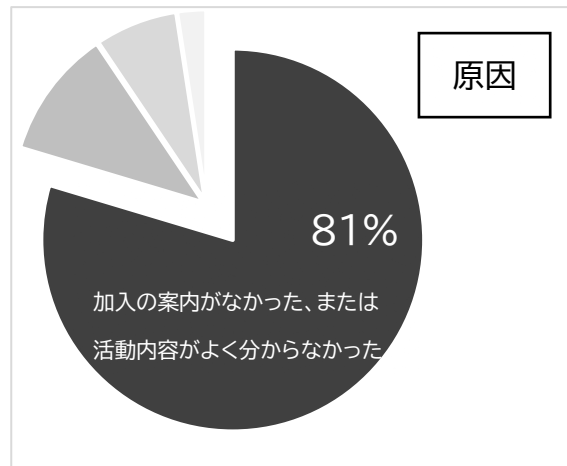


同世代の集まりや趣味サークルなど「第三の居場所」づくりや大規模災害を想定した避難所運営や新たな防災イベントなどの企画運営へもそれぞれ5%前後の人が参加意向を示しました

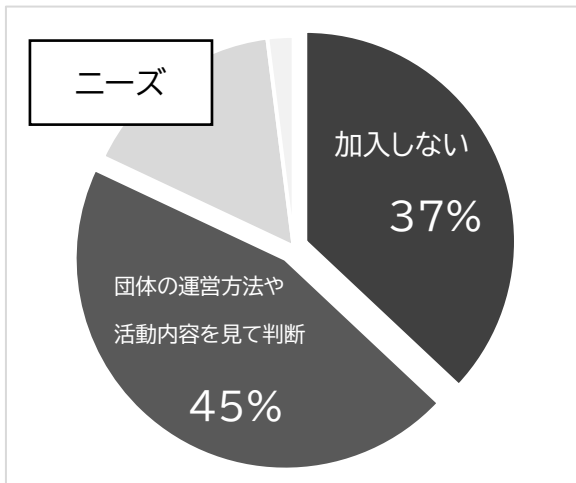
自治会・町内会へ加入していたか



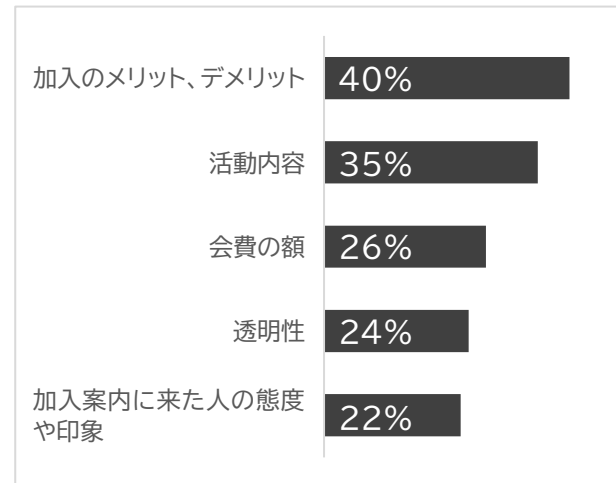
加入していなかった理由



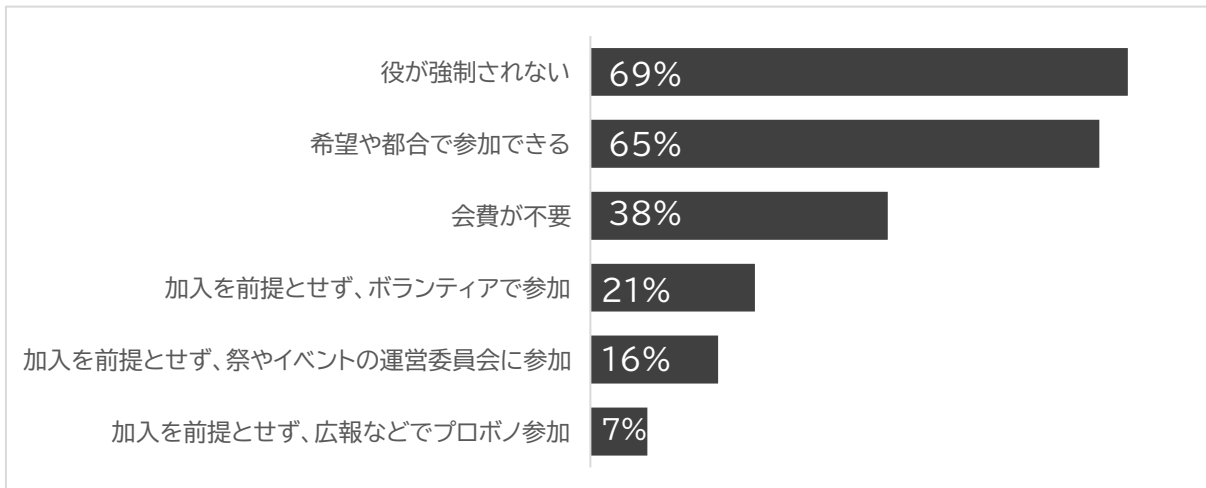
今回の転入先では加入するか



加入を検討する際、重視する項目



どのような運営方法であれば、加入や参加をしたいか



## アンケート分析(総評・意見付記)

### 〔総評〕

今回の調査では、都筑区において特に自治会・町内会の加入率が低い3つのターゲット、20代、30代の「若い世代」や「単身者」、「集合住宅(賃貸)」と他との意識やニーズの違いを把握するため、年代別、同居人の有無、居住形態別の分析も行いました。

その結果を見ると、数値に多少の開きは見られたものの、意外にも意識やニーズに関する傾向に大きな違いは見られないことが分かりました。

「困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性」については20代、30代の「若い世代」でも7割前後、「単身者」や「集合住宅(賃貸)」においても6割を超えました。

ただ、求める理想と現実にはギャップがあり、「災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいる」という人は約半数に留まります。

自治会・町内会に関しては前の居住地では7割が加入していませんでしたが、加入していなかった理由は8割超が「加入の案内がなかった、または活動内容がよく分からなかったから」でした。

一方、今回の転居先で「加入する」は約16%、「加入しない」は約37%で、最多は「団体の運営方法や活動内容を見て判断する」の約45%となりました。

今回、「加入を検討する際に重視する項目」や「どんな地域活動があれば参加や企画運営にも携わりたいか」も見えてきました。その結果、住民の側には様々なニーズがあり、内容によっては高い関心、参加意向を有していること。課題は住民が求める地域活動や参加のあり方と現在の自治会・町内会の運営や活動と乖離していること。それ以前にそもそも必要な情報が相手に届いていないこと、アプローチの不足や欠如が鮮明になりました。

「どのような運営方法であれば、加入や参加をしたいか」については「役が強制されない」と「希望や都合で参加できる」がいずれも約7割、加入を前提としないボランティアや運営委員などでの参加も2割前後となりました。

自治会・町内会の多くは昭和に設立され今に至りますが、この間、運営方法や活動内容がほとんど変わらない自治会・町内会も少なくありません。しかし、時代は平成、令和と移り変わり、社会のあり方や住民のニーズも昭和の頃とは大きく変化しています。

令和もすでに5年目、これからの地域社会、コミュニティで求められる自治会・町内会の役割とは何かを問い直し、これまでのあり方に囚われるのではなく、むしろゼロベースで今の運営方法や活動内容を見直し、こうしたニーズの受け皿となることでその意義や存在感を高めていくことこそが、持続可能な自治会・町内会に再生させる唯一の道といえます。

## 〔意見付記〕

今回の調査でやや特徴的なターゲットとして20代と50代の姿が浮かび上がりました。

20代については「災害時など、いざという時にすぐ駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいる」で約55%だったのに対し、30代は約47%。「同居人あり」の比率は、20代の約68%よりも、30代の方が約73%と高い中、この差はどこから生じているのか。同じ学校に通う学生同士のつながりやSNS(ソーシャルメディア)などが影響しているものなのか。

20代は前の居住地で約8割が自治会・町内会に加入していませんでしたが、今回の居住地で加入しないのは4割弱に留まります。「助け合いやつながり」や「地域活動」への関心も決して低くありません。自治会・町内会のアプローチによっては自治会・町内会に加入または活動の担い手として参加する可能性も十分にあり得ると考えられます。

一方、50代については今回、サンプル数が非常に少ないため、あくまで参考データに留まりますが、「同居人なし」の比率は20代と同じ約32%、「災害時など、いざという時にすぐ駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいる」も約41%と他の年代に比べて低くなっています。

2020年の生涯未婚率は男性約28%、女性約18%となっており、こうしたことも影響しているか。50代に関しては、80代の親が50代の生活を支える8050問題もいわれていますが、この年代は自らの老後と親の介護が視野に入ってくる年代、地域とのつながりを考え始める時期でもあります。

一般的に自治会・町内会の事業活動は30~40代の子育て世代に訴求する子ども向けと加入率が高い高齢者向けが中心で、単身者のニーズに沿った事業活動は非常に限られたもの、あるいは空白地帯となっている自治会・町内会も少なくありません。

加入促進策においてもどうしても子育て中の30~40代に目が向きがちですが、実はこの世代は子育てや仕事などで最も忙しい年代でもあります。むしろ新たな担い手という面では、これまでほとんどアプローチしてこなかったこうした穴場の年代に目を向け、そのニーズに沿った事業活動や参加方法を提案し、訴求していくことが有効な手段といえるかもしれません。

中でも20代は都筑区において転入者が多い年代でもあります。同じ横浜市神奈川区にはIT企業に勤める20代の女性が会長に就任して活躍している例もあります。



## 第 3 章

### 取組み案の提案

## アンケート結果を踏まえた取組みについて

今回のアンケート結果から、自治会・町内会が今、取り組むべきこととして一番に上げられることは、時代の変化や今の住民のニーズに合わない運営方法や活動のあり方を見直すことといえます。

まずは現在、過重な負担が生じている自治会・町内会の運営のあり方を見直すことです。定年延長などにより60代でも働く人が増える中、現在の運営方法や活動内容をそのまま続けていくことには限界があります。

様々な調査で、自治会・町内会に加入しない理由の第一位は役をやりたくないとなっており、近年では急増する退会の理由にもなっています。役の負担軽減や活動のスリム化がなされなければ、今後も加入率の低下や担い手不足は解消することはないでしょう。

負担軽減やスリム化の必要性については、総務省が設置した「地域コミュニティに関する研究会」が2022年4月に出した提言でも指摘されており、自治会・町内会自身の改革の必要性はもちろん、日々、様々な依頼を行い、過度な負担の増大を招いている自治体などの行政機関にも抜本的な見直しが求められています。

そもそも住民自治の任意団体である自治会・町内会の運営や活動には根拠法令はなく、本来は住民が共に協力して課題の解決を図り、豊かで安心して暮らせる地域社会を創っていく自主的な活動です。

しかし、現状は自治体などの行政機関からの依頼を行うことが主となり、本来あるべき地域コミュニティとしての活動が阻害されている自治会・町内会も少なくありません。今回のアンケートで見えた住民の意識やニーズに沿った運営や活動に転換していくためにはこうした負担を取り除いていくことが不可欠といえます。

今回のアンケート結果を踏まえ、抜本的な自治会・町内会改革の必要性を提起するとともに、その突破口となる具体的な取組みを提案します。

### 〔自治会・町内会の見直しの方向性〕

1. 役の負担軽減と活動のスリム化(抜本的な自治会・町内会改革)
2. 加入を前提とせず、多様な参加の機会、しくみづくりを
3. 目的やターゲットを明確にした情報提供や勧誘方法の見直し

## 1. 役の負担軽減と活動のスリム化(抜本的な自治会・町内会改革)

今回のアンケートで「どんな運営方法であれば、加入や参加をしたいか」との設問で、「役が強制されない」や「加入を前提としない」、「会費が不要」などが多く上げられました。

こうした運営方法は現在の自治会・町内会から見ると常識の範囲外かもしれませんが、NPO など他の地域活動団体においてはスタンダードなものです。

昭和に設立された自治会・町内会の中にはすでに半世紀以上の歴史を数えるところも少なくありません。しかし、時代はもう令和です。昭和とは明らかに違う社会となり、これまで当たり前だったことももう当たり前ではなくなってきています。

自分たちの常識が社会の非常識になっていないか、今の運営方法や活動のあり方を再考していく必要があります。

都筑区のように「若い世代」や「単身者」、「集合住宅(賃貸)」が多数を占める大都市圏の自治会・町内会の中には実際、会費なし、役の強制もせず、ボランティアや実行委員会などで運営、住民の支持を得て活動を活性化させている自治会・町内会も出てきています。

会費ゼロ、役の強制なし！防災も祭りも地域連携、協働のネットワークで推進  
「お台場合同自治会」(東京都港区) <http://o-daiba.tokyo/>

お台場合同自治会は 2013 年設立された総世帯数788戸の 5 つのマンションからなる自治会です。役員は会長を含め6名、活動原資は資源回収の助成金のみ、防災住民組織として区等から補助金を受けていますが、会費は徴収していません。

マンションはほぼ賃貸で住民の入れ替わりも激しく、加入率は 5 割前後ですが、防災や地域のお祭り、イベントなど、充実した活動が行われています。

その活動を支えるのはお台場にある 10 の自治会、行政機関や企業、学校などが連携して組織された「地域防災会」や「地域連絡会」などの仕組みです。それぞれ隔月で会議を開催、地域の課題解決や情報共有、防災やイベントなどで協力する体制が確立されています。お台場ではたくさんのイベントが開催されていますが、夏祭りは 20 年以上前から実行委員会形式で行われており、自治会の加入を前提とせず、広く地域住民、在勤者、在学者なども参加するスタイルで運営されています。

出典:「めざせ、担い手不足解消！負担軽減&IT活用事例ブック」(水津陽子著/実業之日本社刊)



## 2. 加入にこだわらず、多様な参加の機会、しくみづくりを

加入率が高くては役員のなり手や活動の担い手不足は顕著です。

アンケートにあった「役を強制せず、希望や都合で参加できる」ようにすることや「加入を前提とせず、ボランティアや実行委員会などへ参加できる」仕組みを導入し、新たな参加や担い手を増やし、高齢者中心、決められた役を割り当てられる義務的活動から、若い世代が主体となって新たな地域コミュニティ活動や共助システムを生み出す団体の新陳代謝を図っていくことができるはずです。

高い関心や参加意向が見られた伝統的行事などの担い手としてボランティアを募集したり、実行委員会への参加を呼び掛けたり、広報やITでプロボノの協力を得るなど、加入を前提とするのではなく、まずは出会うこと。これまでなかなか接点がなかった「若い世代」やアプローチが難しい「集合住宅(賃貸)」の住民とも知り合いになり、仲良くなって、その中で多様な人が様々な地域活動に参加し、そこに居場所を見つけ、地域の顔の見える関係を構築していく。それこそが本来、自治会・町内会が果たすべき役割といえます。

リサイクルも防災も、祭り・イベントもボランティアの支えで活性化  
「海風の街自治会」(千葉県浦安市) <https://umikazenomachi.net/>

海風の街自治会は1991年、約950世帯のマンモス団地の中に設立されました。団地内には分譲棟と賃貸棟がありますが、自治会にはそれぞれの住民が参加。分譲棟の管理組合とは阪神淡路大震災以降、積極的に連携を図るようになり、防災や交流イベントを協力して行っています。1998年からはリサイクル活動で得た収入を「災害特別準備金」として積立てており、東日本大震災でライフラインに被害が出た際には備蓄品を含め370万円もの充実した被災支援を自治会で行いました。

自治会活動は会員が主役のボランティア活動によって支えられており、資源回収も祭りの餅つきもこうした人の力なくしては成り立ちません。地縁を結ぶ運営、住民の繋がりをつくるコミュニティづくりでは、新たな人の参加や協力を得る「サポーター制度」や交流を生むしくみやしかけをしています。充実したホームページは当初、地域でデザイナーとして起業した方が無償で作ってくれました。

出典:「トラブル解消、上手に運営!自治会・町内会お悩み解決実践ブック」(水津陽子著/実業之日本社刊)

### 3. 目的やターゲットを明確にした情報提供や勧誘方法の見直し

#### (1) 目的やターゲットを明確にした情報提供

今回のアンケートで、「前の居住地で自治会・町内会に加入していなかった理由」を聞いたところ、「加入案内がなかった、または活動内容がよく分からなかった」との回答が8割を超え、今回の居住地では「団体の運営方法や活動内容を見て判断する」が半数近くを占めました。

まずは、「加入案内の資料」を相手にきちんと渡すことですが、単に渡すだけでなく、実際に手に取って見てもらえるものにすることが大切であり、また、見た時にそこに相手が求める情報や参加を呼び込む提案が示されていないければ、加入や参加には至りません。

よく自治会・町内会の加入を呼びかけるポスターやチラシには「自治会・町内会に加入しましょう」と書いてありますが、単に加入しましょうでは誰の心にも刺さりません。相手に何を訴えれば、響くのか。ターゲットによってニーズもアプローチも異なります。

よく同じような取り組みをしても大きな成果を得る自治会・町内会と全く結果が伴わない自治会・町内会があります。その違いの一つは解決したい課題＝目的とその対策＝ターゲットに応じた手段が明確になっていることです。

たとえば、自治会・町内会に新たな担い手を呼び込みたい時に単に自治会・町内会サポーター募集としても人は集まりません。まず、自分たちが誰に何を提案し、どういう人を呼び込みたいのかを明確にする必要があります。地域や団体の特性によっても課題は異なります。

自分のまちには単身者が暮らすワンルームマンションが多く、コロナ禍では多くの学生や若い社員が自宅や地域でリモート授業を受けたり、仕事をしたりしている。こうした人を自治会・町内会のITのサポーターとして募集してみようや自分のまちには伝統的なお祭りがあるけれど、近年は保存会の高齢化などで担い手不足になっている。祭りを支える運営委員会やボランティア組織を立ち上げて、これまで地域とつながりがなかった人を担い手として呼び込もうなど、目的やターゲットを絞り込むことで、相手に響く提案やアピール方法も絞り込めます。

ターゲットによってポスターやチラシなど、広報のデザインやその情報に触れるタッチポイントも異なります。単身者でワンルームマンションに住む若い世代がターゲットであれば、その人たちの目を惹くポスターやチラシを作成し、その人たちがよく立ち寄る場所やよく目にするメディアなどを絞り込み、効果的な情報提供を行う必要があります。

どんな素晴らしい提案、情報があっても相手の目に触れなければ、存在しないのと同じです。情報がターゲットの目に触れるようにするには、ターゲットがよく立ち寄る公共施設やスーパーやコンビニ、商店街、会員の企業などに協力を要請して情報を拡散し、より多くのターゲットの目に触れるよう訴求することが情報コミュニケーションの基本であり、こうした細部の違いが成果の違いに反映されます。

特に集合住宅に関してはオートロックや個人情報などにより加入促進のアプローチが難しいとされています。オープンな場所での声掛けは多くの活性化している自治会・町内会で実践され、効果を上げている手法です。

#### 〔加入案内の資料と参加を呼び掛ける広報〕

新たな参加や担い手を呼び込むため、①加入を検討してもらう際に渡す加入案内の資料、②加入によらず、運営や活動参加を呼び掛けるポスターやチラシなどの広報ツールを用意し、いつでも渡せるようにキットにしておき、アプローチの機会がある際にいつでも渡せるようにしておきましょう。

#### 加入案内の資料で用意するもの

1. 規約/会則
2. 個人情報取り扱い規定等(要改正個人情報保護法対応の利用、管理、対応)
3. 会計書類(収支予算書・事業計画書/収支報告書・事業報告書)
4. 会報やパンフレット(活動内容の紹介、加入の魅力などを伝える)
5. 行催事の参加案内のチラシ(開催概要、申込、参加方法など)
6. ボランティアやサポーターの募集チラシなど

#### (2)勧誘方法の見直し

また加入を検討する際、「加入案内に来た人の態度や印象」も判断材料の一つとなっています。初対面の人に対して提案したり、お願いしたりするので第一印象はとても大切です。加入するのは当たり前といった態度で上から目線、高圧的な態度を取れば、いい印象を持つ人はいません。

たとえば笑顔などの顔の表情などもその一つかもしれませんが、アメリカの心理学者メラビアンが提唱した法則では、ポジティブな話をして顔の表情や声のトーンが厳しいと受け手は話の内容よりそうした話し手の表情や話し方の方に目が向いてしまうといえます。


実際、勧誘での話しかけ方や話す内容を事前に決めて練習をしているという自治会・町内会もあります。相手に話を聞いてもらえるようにちょっとした工夫、丁寧な説明を行うことでこれまでの勧誘時より加入してくれる人が増えるといえます。

### (3)若い人の参加を呼び込む、働きながらでも参加できる

#### 自治会・町内会の運営 IT 化

これからの時代、自治会・町内会の運営や活動に若い世代を呼び込むために欠かせないのが IT の活用です。会議への出席、情報共有、様々な場面で働きながらでも参加できる環境づくりが求められています。

自治会・町内会の行催事では未だに参加の申込や連絡の方法が電話や FAX というところもありますが、すでに電話や FAX の時代でもありません。そうした方法では参加申込みの機会を逸してしまうことも少なくないでしょう。積極的にメールやインターネットの申込フォーム等の IT を活用していきましょう。



## さいごに

自治会・町内会の運営や活動を見直す際、多くの課題に対して一気にいろいろなことに取り組むことが難しい場合もあります。見直しする内容に優先順位をつけることも大切です。優先順位は重要度や緊急度、難易度などにより判断することになりますが、重要で緊急性があっても難易度が高い場合はすぐには取り組めないこともあります。

そんな時は重要でもないし、緊急性も高くないけれど、難易度が低いものから取り組んでみてはどうでしょうか。まず一つこれまでやっていかなかったことに取り組み、小さくても成果が出れば、達成感ややる気も高まります。活性化に成功した自治会・町内会の多くも小さな一歩、半歩から変化を生み、改革へと進んでいます。まずは自治会・町内会を変えたいという思いを仲間と共有することから始めてみましょう。



# 資料編



～あなたの声が住みやすいまちづくりに役立ちます～

## 「地域活動や人とのつながりづくり」 に関するアンケート調査

【手順】

### 1 質問に回答(所要時間3分程度)

- このアンケートは、都筑区への転入者の方々を対象に実施しており、集計した結果は、自治会・町内会や区における自治会・町内会加入促進事業等に活用させていただきます。また、都筑区役所や都筑区連合町内会自治会の広報物、ホームページにおいて掲載する予定です。(令和5年3月 区役所ホームページに公表予定)
- 回答は匿名で収集いたします。回答者の特定を行うことはありません。

### 2 提出してプレゼントをもらう

- アンケート調査票のご提出、プレゼントのお受け取りは調査票をお受け取りになってから14日以内をお願いします。
- プレゼントは数に限りがございます。なくなり次第配付終了となりますので、ご了承ください。

【アンケート提出・プレゼント受け取り場所】

区役所5階54番窓口(地域振興課)  
(受付時間:平日の8時45分～17時)



※プレゼントがご不要の方は、区役所2階の右図の★に設置している回収ボックスにアンケート調査票を投函してください。

回収ボックス★





## 調査票

**1. あなたの年代を教えてください。(ひとつに☑)**

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

**2. 今回の転入先での同居人の有無を教えてください。(ひとつに☑)**

同居人無し(単身者) 同居人有り(18歳未満の子 あり なし)

**3. 今回の転入先の居住形態を教えてください。(ひとつに☑)**

一戸建て住宅 集合住宅(持ち家) 集合住宅(賃貸)

**4. 困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じますか。(ひとつに☑)**

必要と感じる 必要と感じない どちらともいえない

**5. 災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいますか。(ひとつに☑)**

いる 知り合いはいるが、頼れる人はいない いない

**6. あなたはどんな助け合い、つながりを求めていますか。(該当するものすべてに☑)**

- いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要
- 同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい
- 趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい
- ボランティア、プロボノ※などを通じて、地域に貢献したり、まちづくりに参加したい
- 地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい
- 転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい
- 子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい
- 若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい
- 特にない
- その他( )

※プロボノ・・・社会的・公共的な目的のために、仕事で培った経験やスキルを活かすボランティア活動のこと

**7. 前の居住地では自治会・町内会に加入していましたか。(ひとつに☑)**

加入していた 加入していなかった

**8. 7で「加入していなかった」と回答した方にお伺いします。加入していなかった理由は何ですか。(ひとつに☑)**

- 加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから
- そもそも自治会・町内会の必要性を感じなかったから
- 加入を検討したが、魅力的な活動がなく、加入のメリットを感じなかったから
- 加入していたが、運営への不満、役や会費などの負担感などから退会したから
- その他( )



アンケートにご回答いただいた皆様へ

## プレゼントのご案内

この度は、本調査にご協力いただきましてありがとうございました。  
ご回答いただいた方に、**新生活に役立つプレゼント**をご用意しました。  
アンケート調査票をお持ちの上、5階窓口へお越しください。



防災用ポーチ

- 1 防災用ポーチ
- 2 フリーザーバッグ
- 3 ハンドタオル

の中から**2つ**お選びいただけます！

【アンケート提出・プレゼント受け取り場所】

区役所**5階54番**窓口(地域振興課)

(受付時間:平日の8時45分~17時)

お待ちして  
います！

○アンケート調査票のご提出、プレゼントのお受け取りは調査票をお受け取りになってから14日以内をお願いします。

○プレゼントは数に限りがございます。なくなり次第配付終了となりますので、ご了承ください。



【問合せ先】

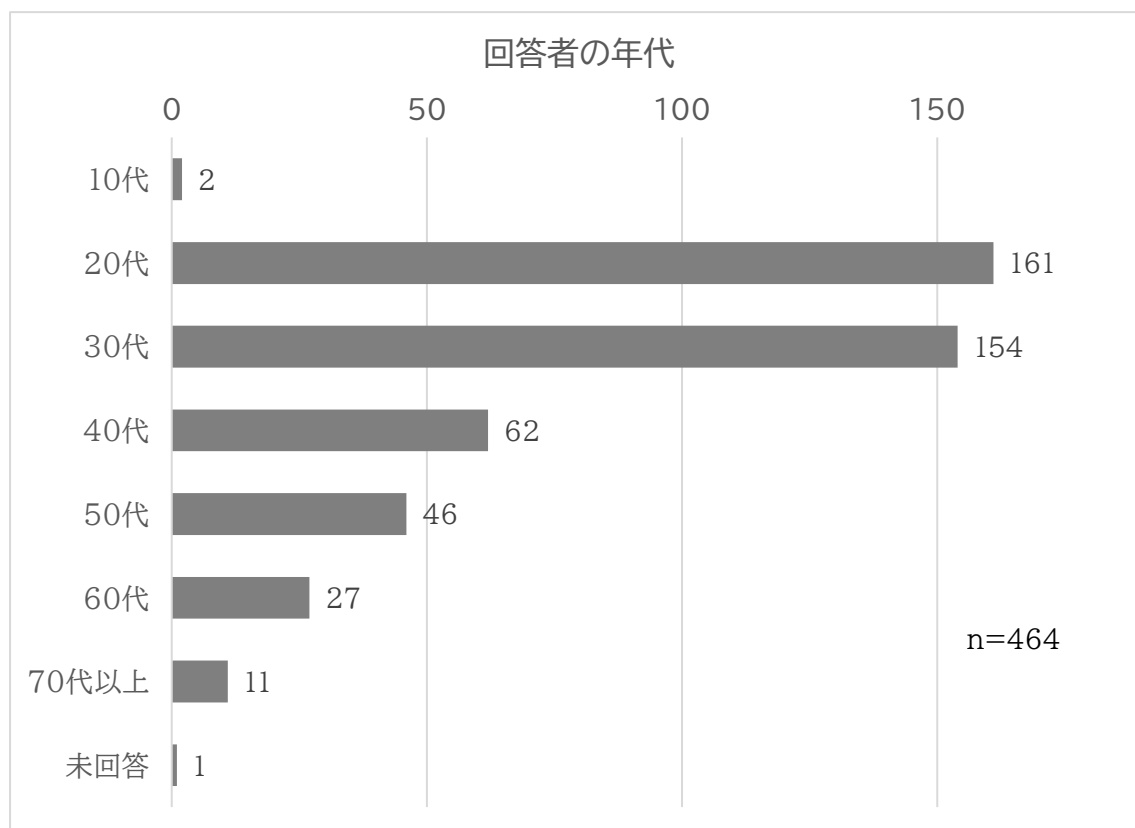
都筑区役所地域振興課

電話:045-948-2231 FAX:045-948-2239

Email:tz-chishin@city.yokohama.jp

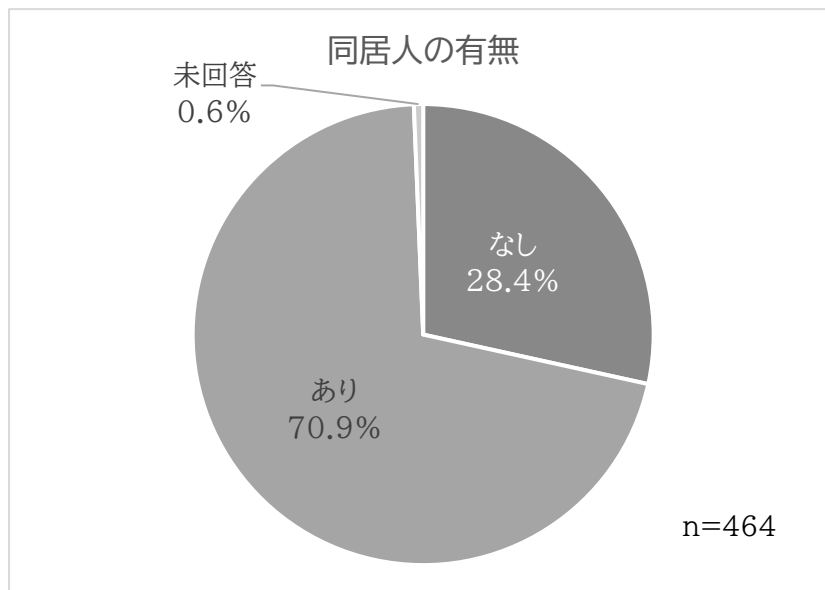
## アンケート調査結果(全体集計)

## 1.あなたの年代を教えてください。(ひとつに☑)

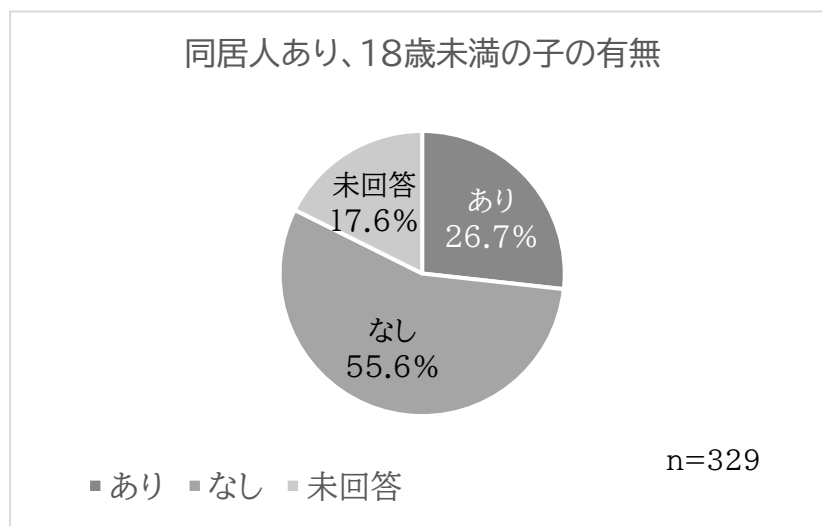


回答内容	回答数	割合
10代	2	0.4%
20代	161	34.7%
30代	154	33.2%
40代	62	13.4%
50代	46	9.9%
60代	27	5.8%
70代以上	11	2.4%
未回答	1	0.2%

## 2. 今回の転入先での同居人の有無を教えてください。(ひとつに☑)



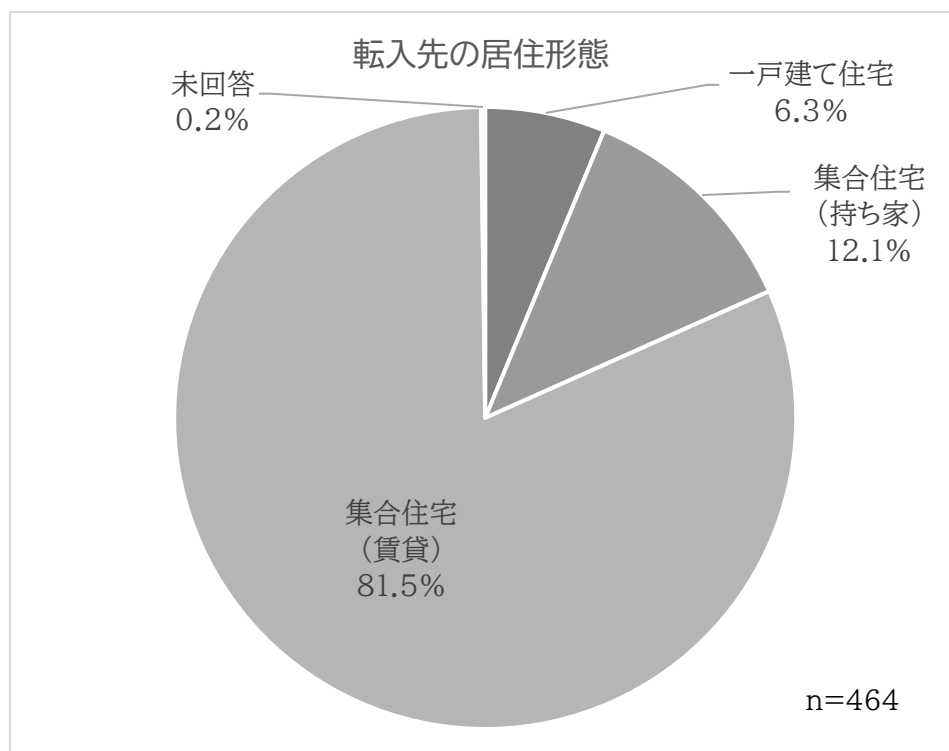
回答内容	回答数	割合
同居人なし(単身者)	132	28.4%
同居人あり	329	70.9%
未回答	3	0.6%



## 同居人ありで18歳未満の子の有無

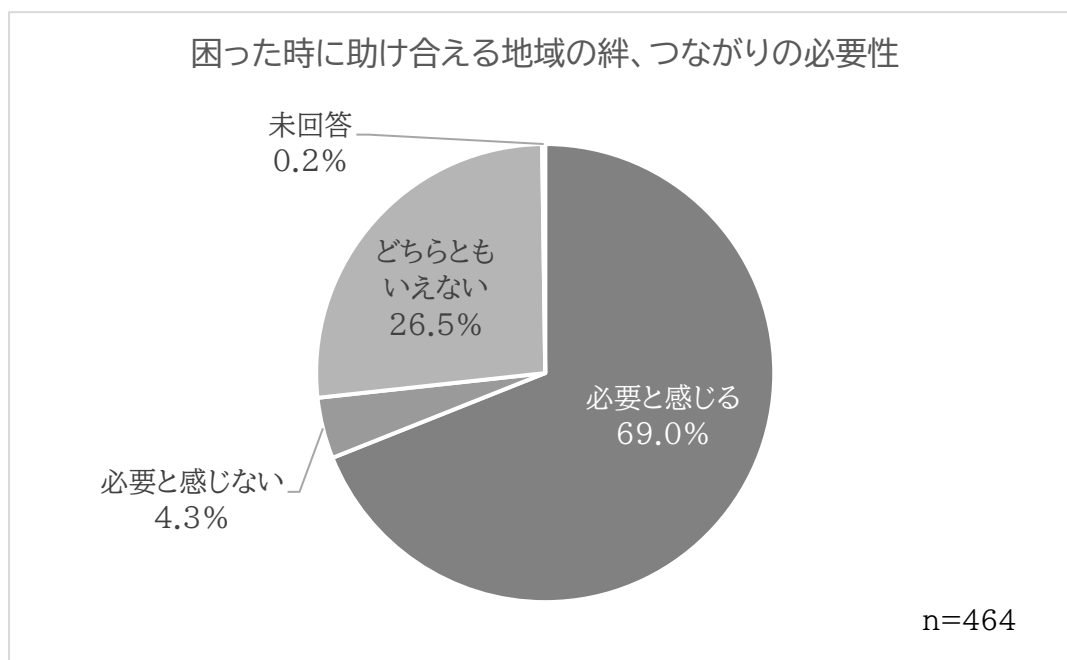
回答内容	回答数	割合
あり	88	26.7%
なし	183	55.6%
未回答	58	17.6%

## 3. 今回の転入先の居住形態を教えてください。(ひとつに☑)



回答内容	回答数	割合
一戸建て住宅	29	6.3%
集合住宅(持ち家)	56	12.1%
集合住宅(賃貸)	378	81.5%
未回答	1	0.2%

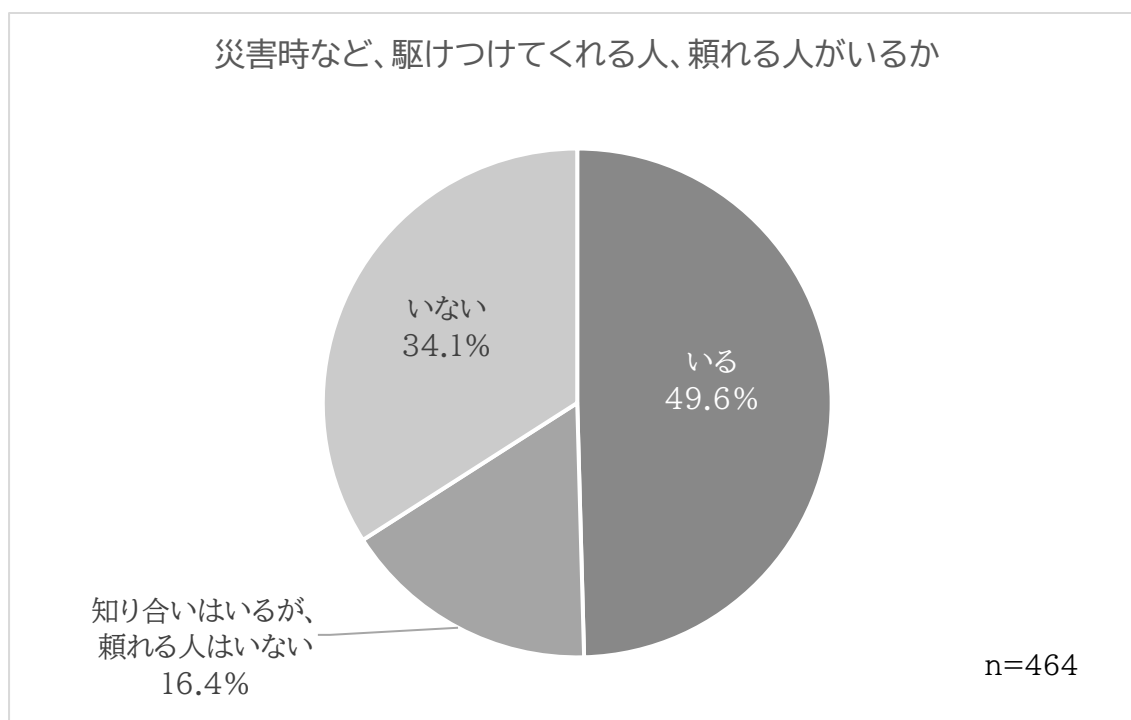
4.困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じますか。  
（ひとつに☑）



回答内容	回答数	割合
必要と感じる	320	69.0%
必要と感じない	20	4.3%
どちらともいえない	123	26.5%
未回答	1	0.2%

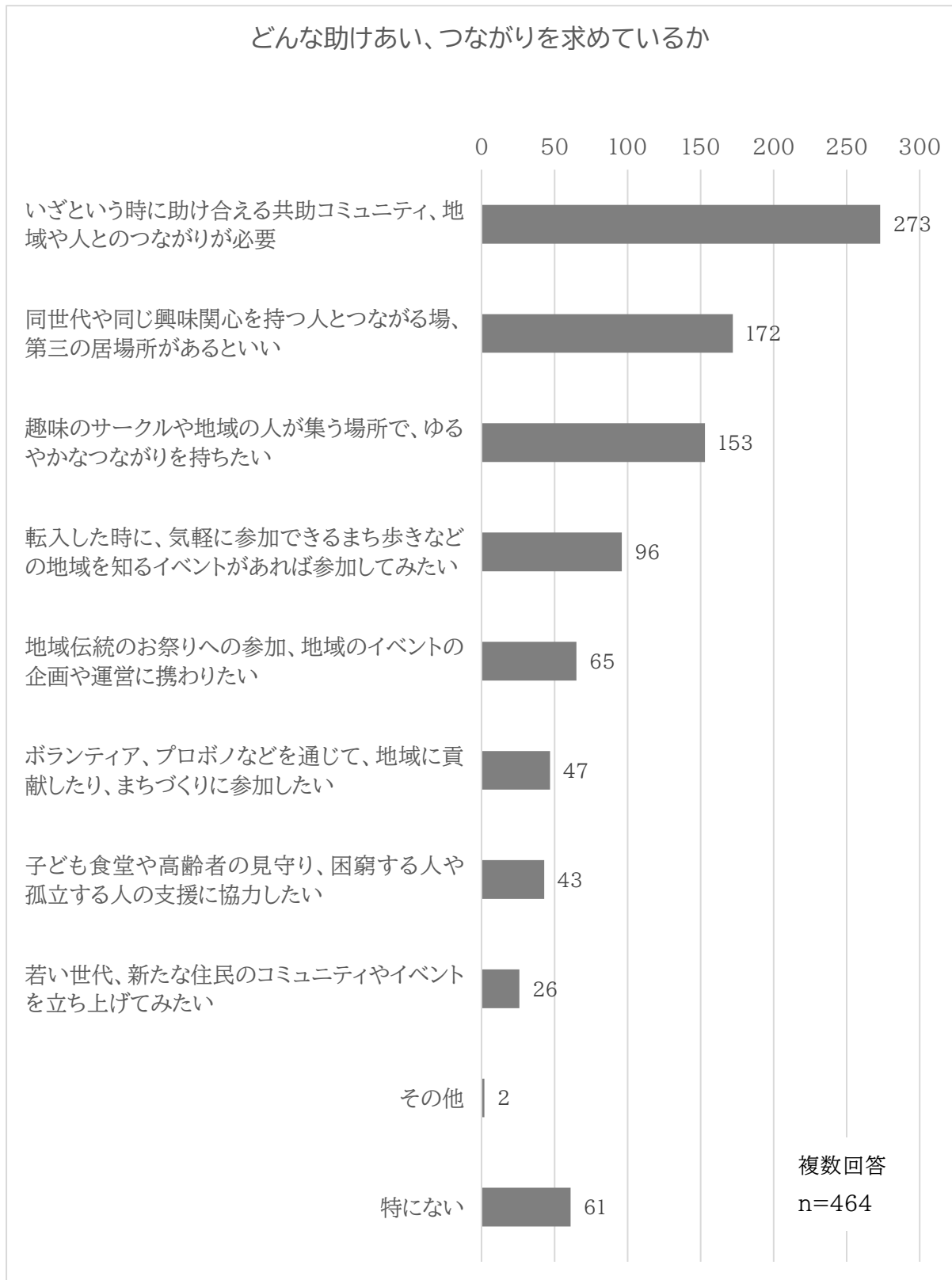


5.災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいますか。  
(ひとつに☑)



回答内容	回答数	割合
いる	230	49.6%
知り合いはいるが、頼れる人はいない	76	16.4%
いない	158	34.1%
未回答	0	0.0%

6.あなたはどんな助け合い、つながりを求めていますか。  
 (該当するものすべてに☑)

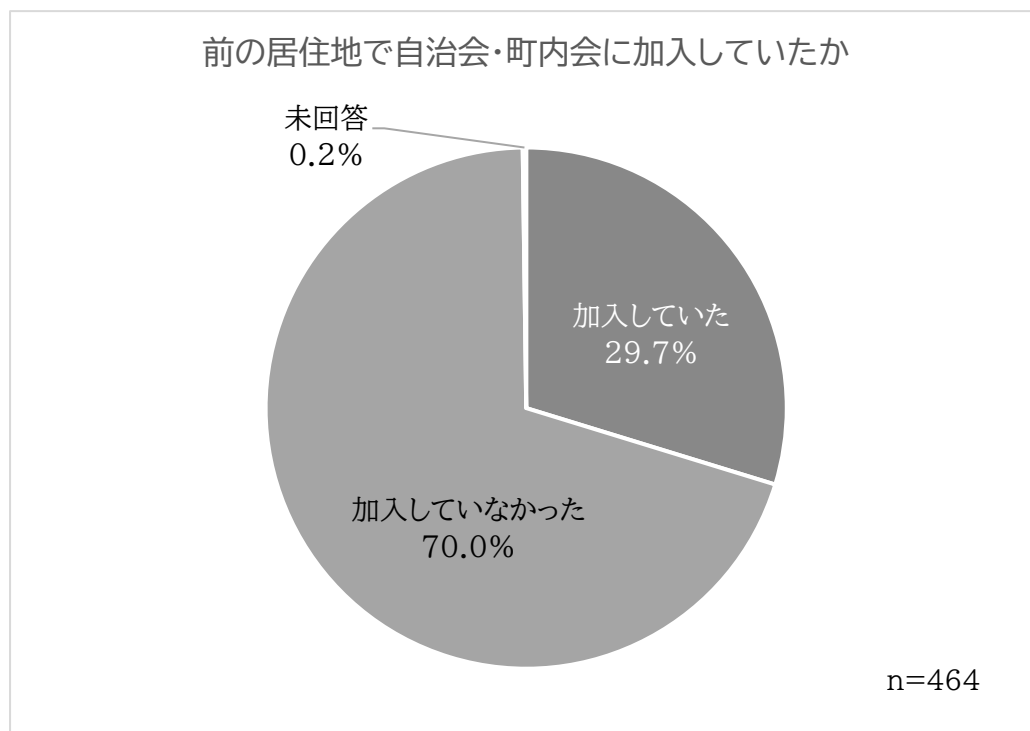


回答内容	回答数	割合
いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要	273	58.8%
同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい	172	37.1%
趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい	153	33.0%
転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい	96	20.7%
地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい	65	14.0%
ボランティア、プロボノなどを通じて地域に貢献したり、まちづくりに参加したい	47	10.1%
子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい	43	9.3%
若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい	26	5.6%
その他	2	0.4%
特にない	61	13.1%

その他 自由記入欄への記載

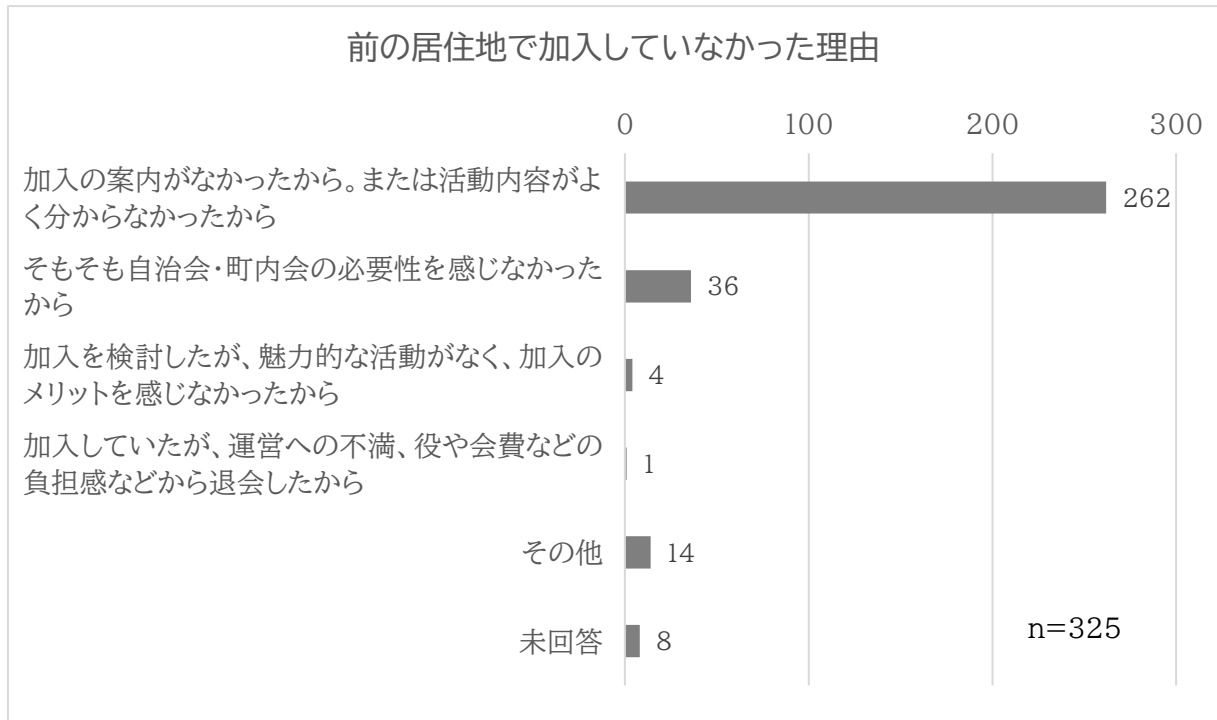
- ▶ 子育てに特化したコミュニティ等。

## 7. 前の居住地では自治会・町内会に加入していましたか。(ひとつに☑)



回答内容	回答数	割合
加入していた	138	29.7%
加入していなかった	325	70.0%
未回答	1	0.2%

8.7で「加入していなかった」と回答した方にお伺いします。加入していなかった理由は何ですか。（ひとつに☑）

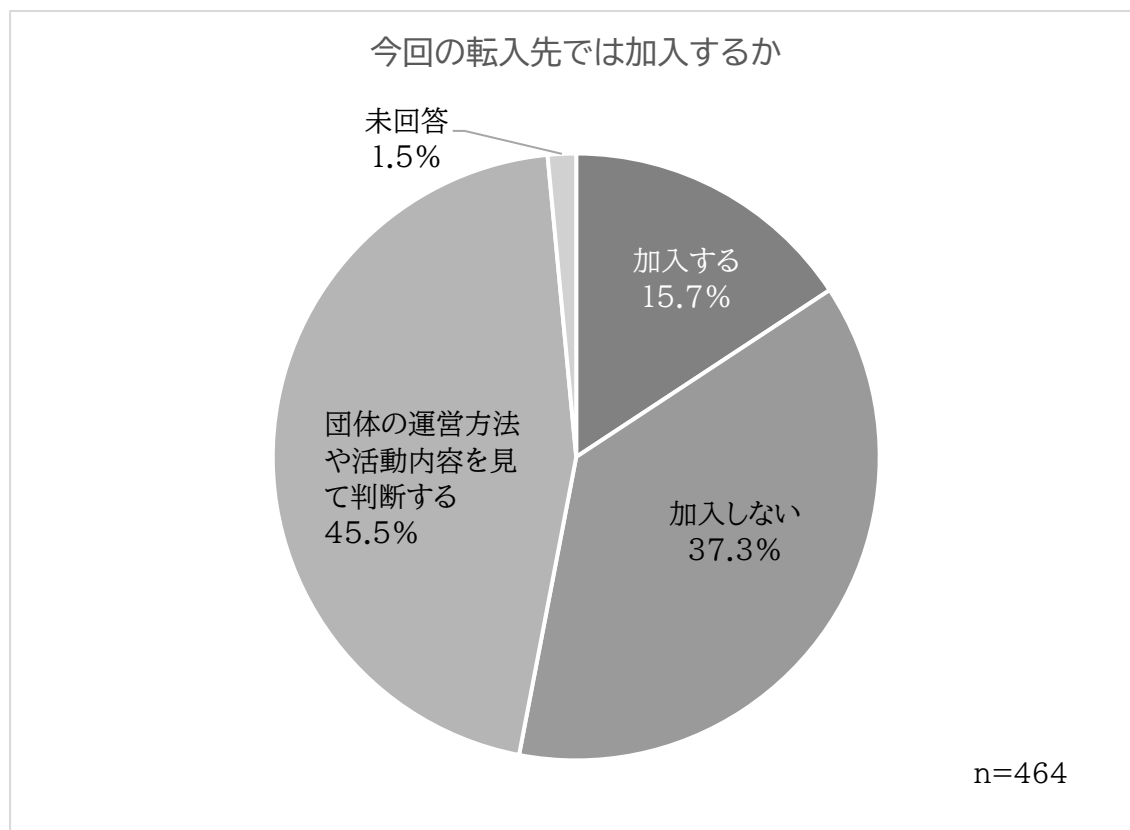


回答内容	回答数	割合
加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから	262	80.6%
そもそも自治会・町内会の必要性を感じなかったから	36	11.1%
加入を検討したが、魅力的な活動がなく、加入のメリットを感じなかったから	4	1.2%
加入していたが、運営への不満、役や会費などの負担感などから退会したから	1	0.3%
その他	14	4.3%
未回答	8	2.5%

その他 自由記入欄への記載

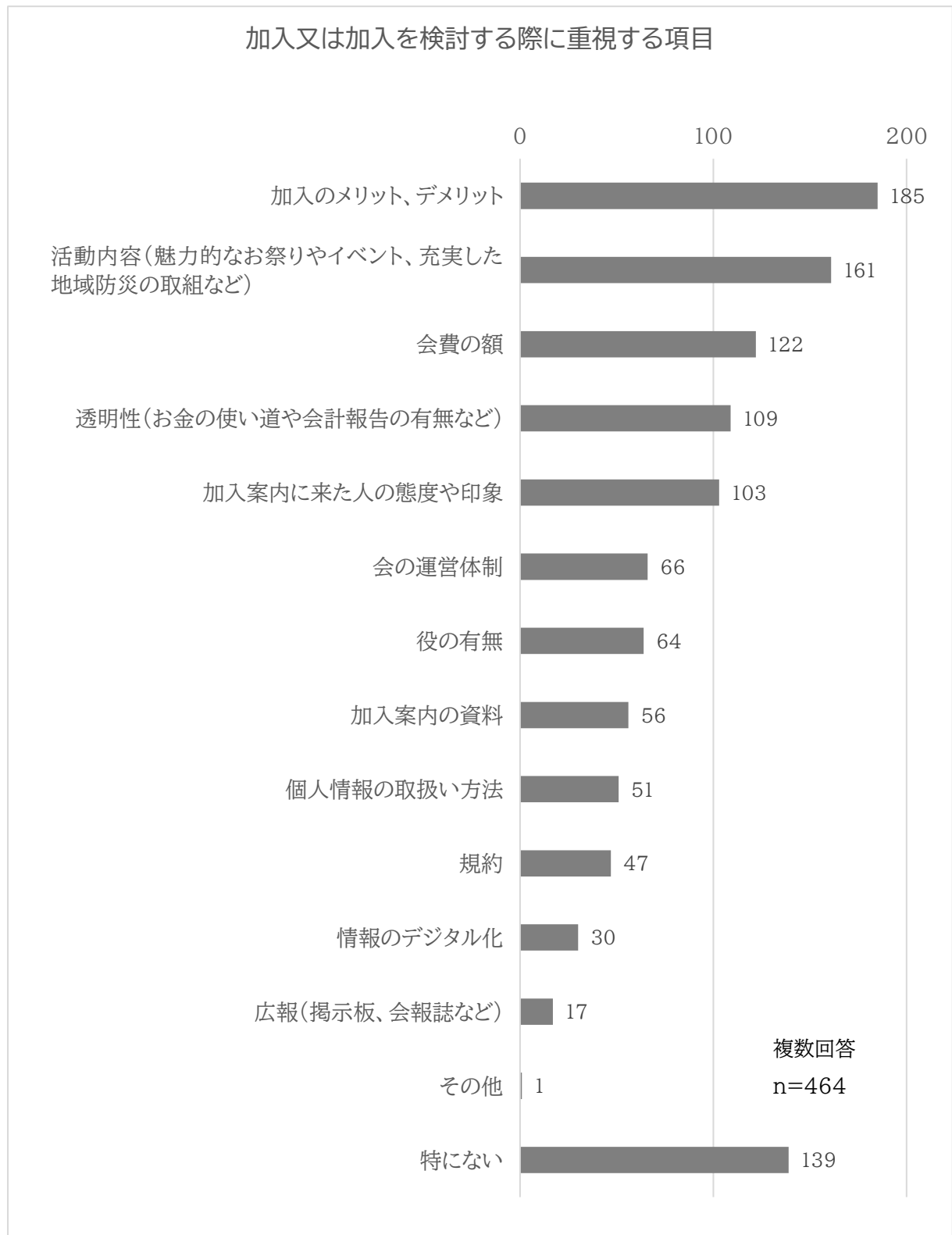
- 約3か月の研修に伴う一時的な居住だったため。
- 多忙の為。
- 親が加入していた。
- 自治会等がなかった。
- 海外に住んでいたため。
- 海外にいた。
- 会社の転勤で異動する可能性があるため。
- 引っ越しのため。
- あるかわからない。

## 9. 今回の転入先では自治会・町内会に加入しますか。(ひとつに☑)



回答内容	回答数	割合
加入する	73	15.7%
加入しない	173	37.3%
団体の運営方法や活動内容を見て判断する	211	45.5%
未回答	7	1.5%

10. 自治会・町内会に加入、または加入を検討する際、重視する項目はありますか。  
（該当するものすべてに☑）



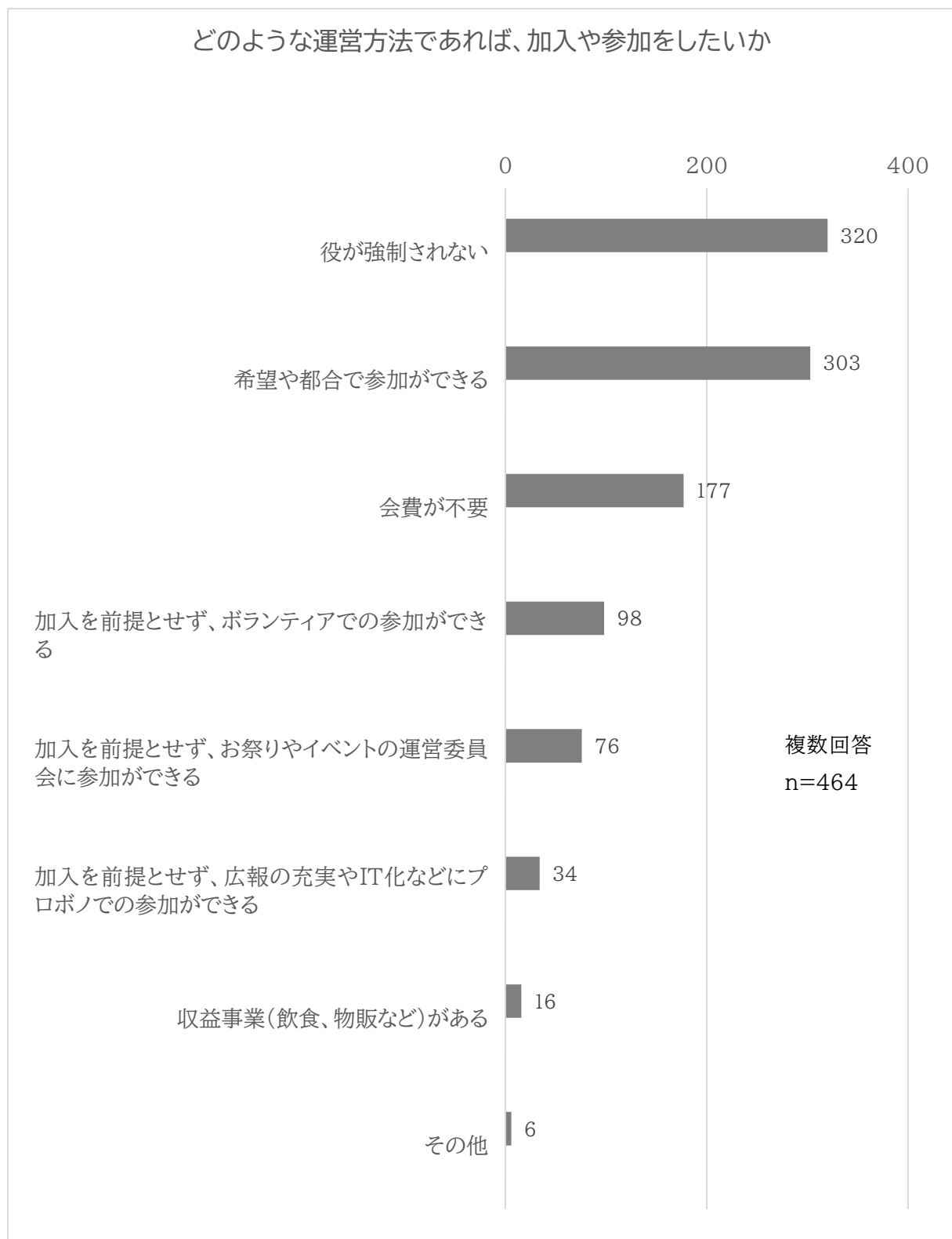
回答内容	回答数	割合
加入のメリット、デメリット	185	39.9%
活動内容(魅力的なお祭りやイベント、充実した地域防災の取組など)	161	34.7%
会費の額	122	26.3%
透明性(お金の使い道や会計報告の有無など)	109	23.5%
加入案内に来た人の態度や印象	103	22.2%
会の運営体制	66	14.2%
役の有無	64	13.8%
加入案内の資料	56	12.1%
個人情報の取扱い方法	51	11.0%
規約	47	10.1%
情報のデジタル化	30	6.5%
広報(掲示板、会報誌など)	17	3.7%
その他	1	0.2%
特になし	139	30.0%

その他 自由記入欄への記載

- 災害時も安心して生活できる。協力しあえる。



11.どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいと思いますか。  
（該当するものすべてに☑）

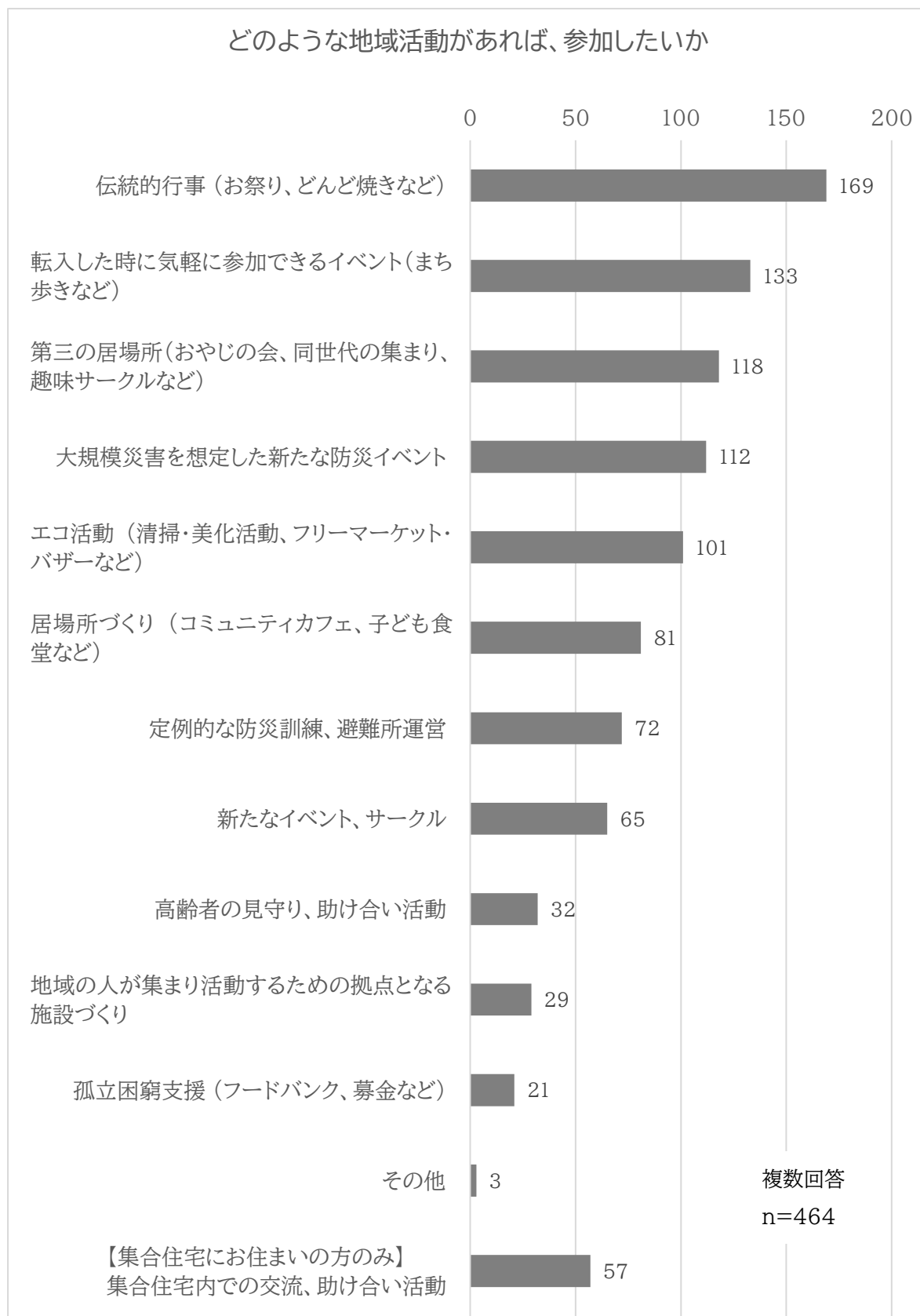


回答内容	回答数	割合
役が強制されない	320	69.0%
希望や都合で参加ができる	303	65.3%
会費が不要	177	38.1%
加入を前提とせず、ボランティアでの参加ができる	98	21.1%
加入を前提とせず、お祭りやイベントの運営委員会に参加ができる	76	16.4%
加入を前提とせず、広報の充実やIT化などにプロボノでの参加ができる	34	7.3%
収益事業（飲食、物販など）がある	16	3.4%
その他	6	1.3%

その他 自由記入欄への記載

- 各世帯の状況（子どもがいる etc）に合わせた参加ができる。  
子どもが小さいため、夜に会議にでるなどにはできないので。
- 運営の目的・意味がハッキリ明確されていること。
- たまにとかでもよければ。
- すでに出来上がっているコミュニティに入る入り方が独身単身だと分からない。
- 仮住まいなので特にない。
- 不明。

12-1.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(参加してみたい)  
(該当するものすべてに○)

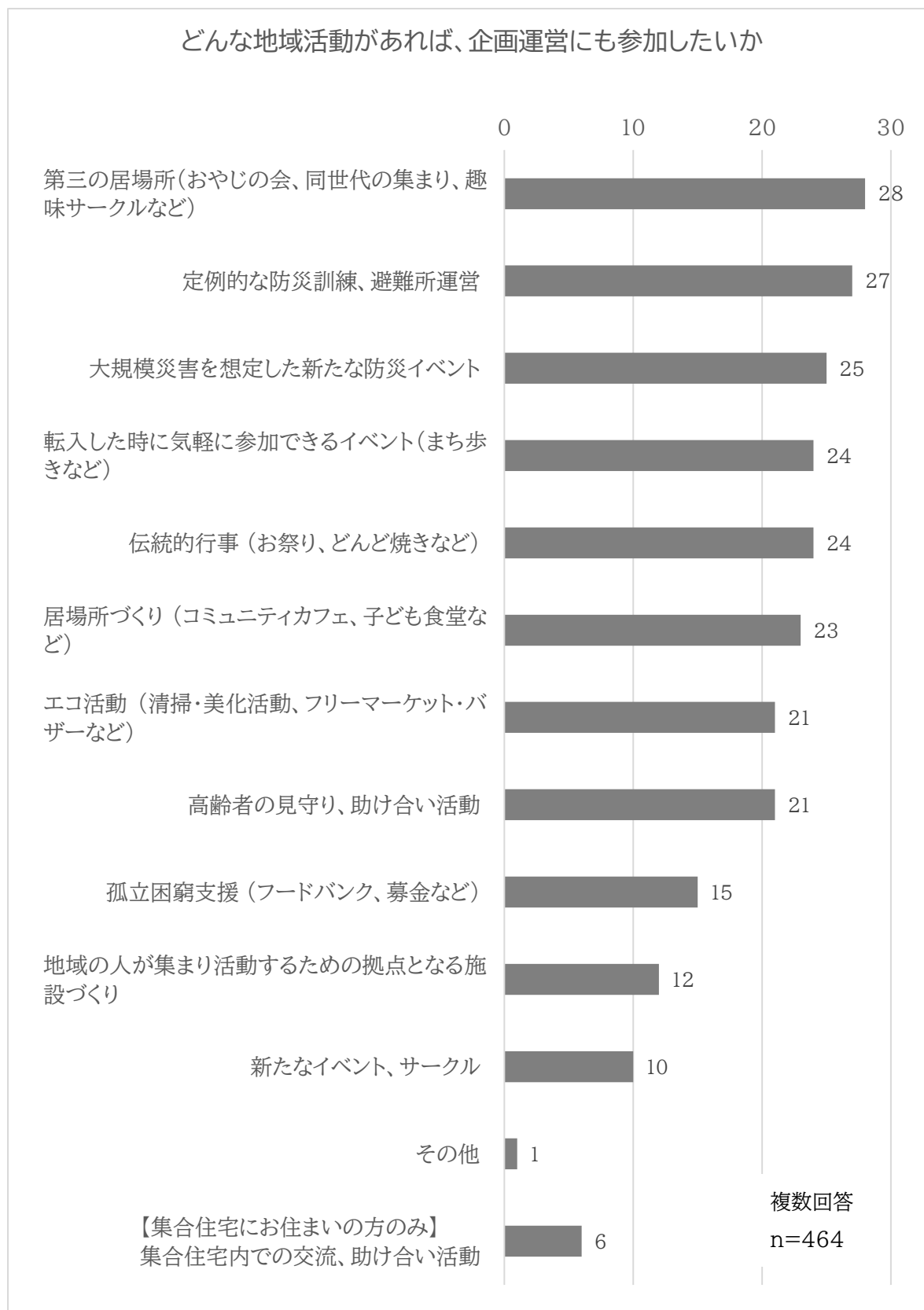


回答内容	回答数	割合
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	169	36.4%
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）	133	28.7%
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）	118	25.4%
大規模災害を想定した新たな防災イベント	112	24.1%
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）	101	21.8%
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	81	17.5%
定例的な防災訓練、避難所運営	72	15.5%
新たなイベント、サークル	65	14.0%
高齢者の見守り、助け合い活動	32	6.9%
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり	29	6.3%
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）	21	4.5%
その他	3	0.6%
【集合住宅にお住まいの方への質問】 集合住宅内での交流、助け合い活動	n=434 57	13.1%

その他 自由記入欄への記載

➤ ハンドメイドマルシェ。

12-2.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。（企画運営に関心）  
（該当するものすべてに○）



回答内容	回答数	割合
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）	28	6.0%
定例的な防災訓練、避難所運営	27	5.8%
大規模災害を想定した新たな防災イベント	25	5.4%
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）	24	5.2%
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	24	5.2%
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	23	5.0%
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）	21	4.5%
高齢者の見守り、助け合い活動	21	4.5%
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）	15	3.2%
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり	12	2.6%
新たなイベント、サークル	10	2.2%
その他	1	0.2%
【集合住宅にお住まいの方のみお答えください】 集合住宅内での交流、助け合い活動	n=434 6	1.4%

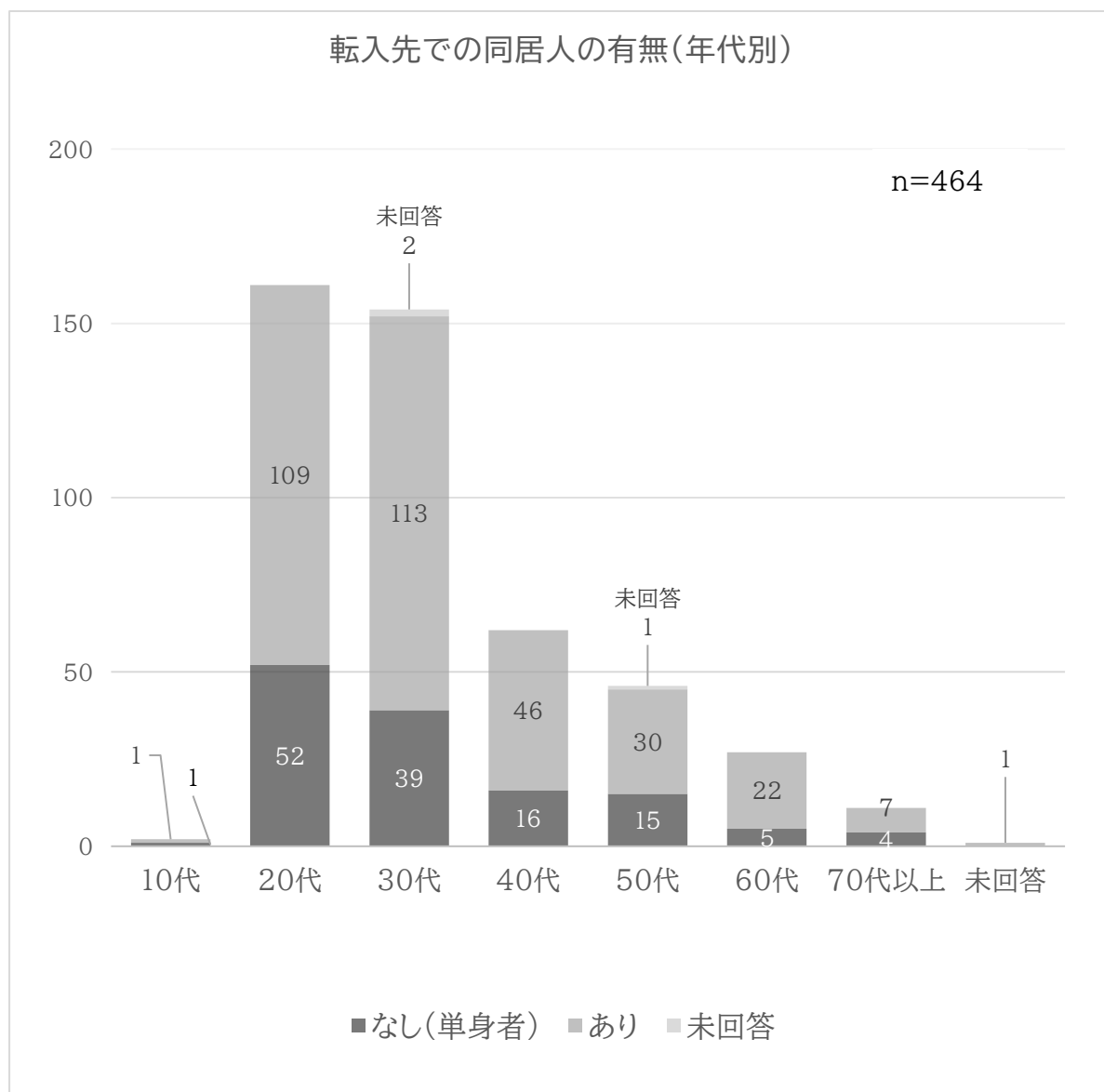
## 12-3. その他のご意見がございましたら、ご記入ください。

- 誰も知らない土地への引っ越しで誰に何をきけば良いかも分からない状態ですが、引っ越し時に町内会の案内もしくは気軽に小さなことからきくことができる窓口があればと思いました。
- 前々、前居住先でも、そのような活動を行ったので、継続したい。地域を好きになりたいので、積極的に活動参加したい。
- 子どもの交流や経験が広がる場であれば参加してみたく、我が子が参加しお世話になる分、準備サポートやお手伝いはしたいと考えます。災害時にどのように動けばいいか、イメージが出来るといいなと思っております。
- 防犯意識をみんなで高く持ちたい。
- 副業支援施設等、新しい生活に対応する施設必要。
- 図書館の充実をお願いします。Ex.イベントや映画上映会など。
- 英語で地域の情報が得られたら。
- ペットのごみ箱(町に)、赤ちゃんペットとくらしやすくなる助け合い。
- シビックテック活動。
- 医療受給者証の所得制限が低すぎます。
- この様な問題は残念ながら、流入してきた人よりも現自治会の人々の対応(態度、話し方)が全てではないでしょうか。ですからその人たちが意識をかえないかぎり、流入側に何かをしてもムリだと思います。そこがこうなった理由なのですから。
- 転入してきて、日が浅いのでよく分かりません。
- 対応していただいた職員の方がていねいでとても気持ち良かった。
- 他都市から転入してきましたが緑豊かでこれからの生活が楽しみです！お世話になります。

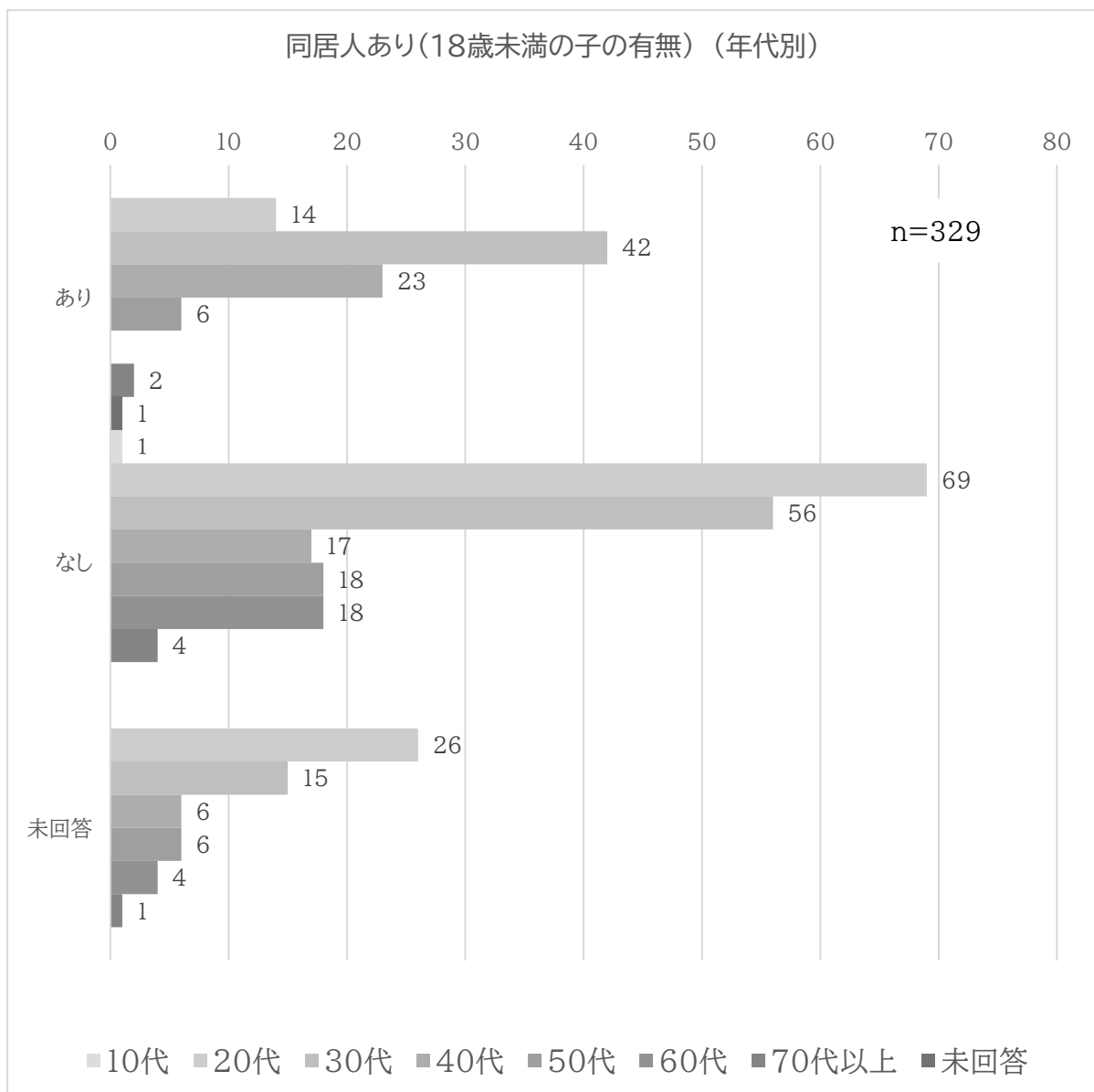
## アンケート調査結果(年代別)



## 2. 今回の転入先での同居人の有無を教えてください。(ひとつに☑)

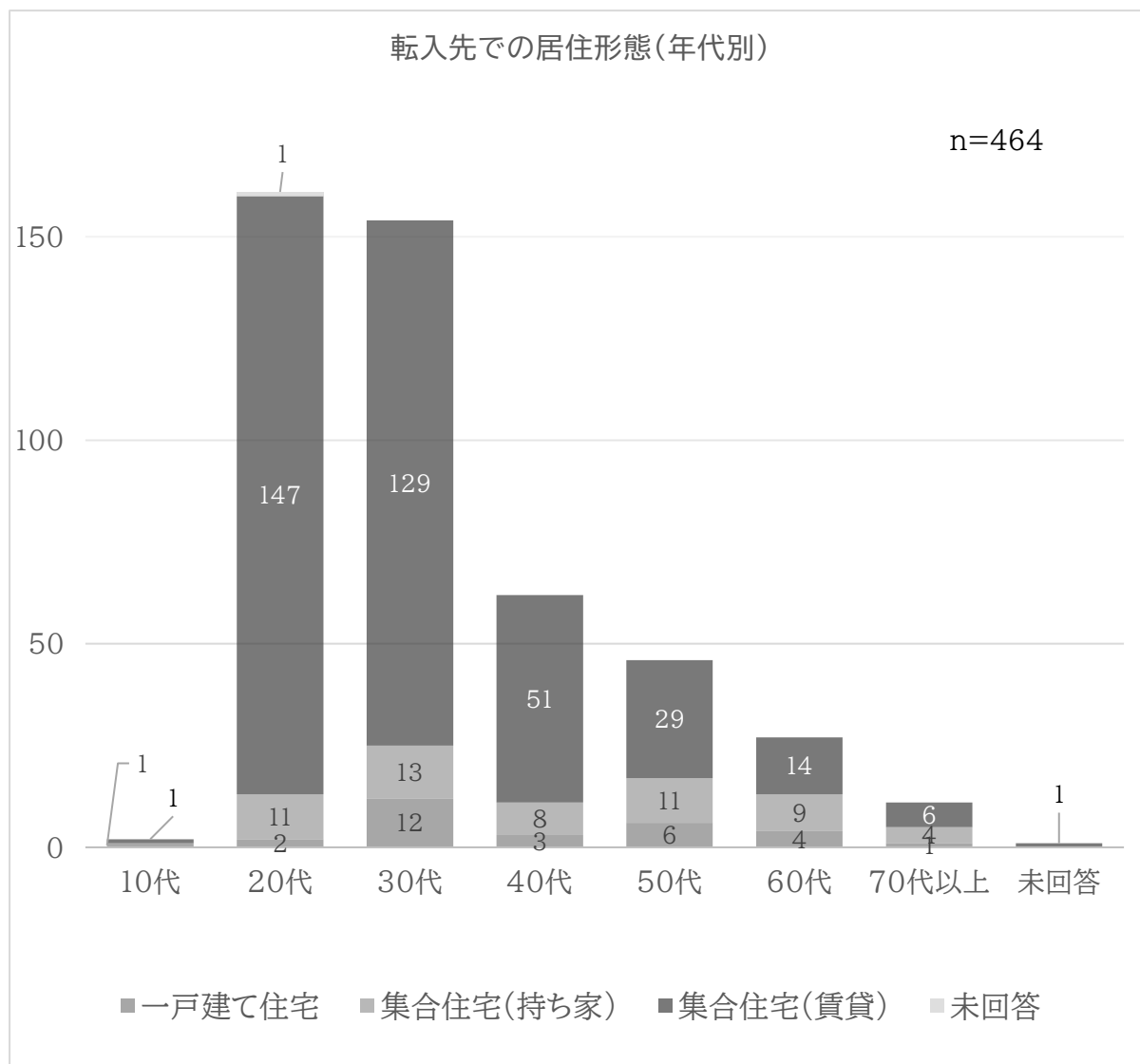


年代	なし(単身者)	あり	未回答	総計
10代	1	1		2
20代	52	109		161
30代	39	113	2	154
40代	16	46		62
50代	15	30	1	46
60代	5	22		27
70代以上	4	7		11
未回答		1		1
総計	132	329	3	464



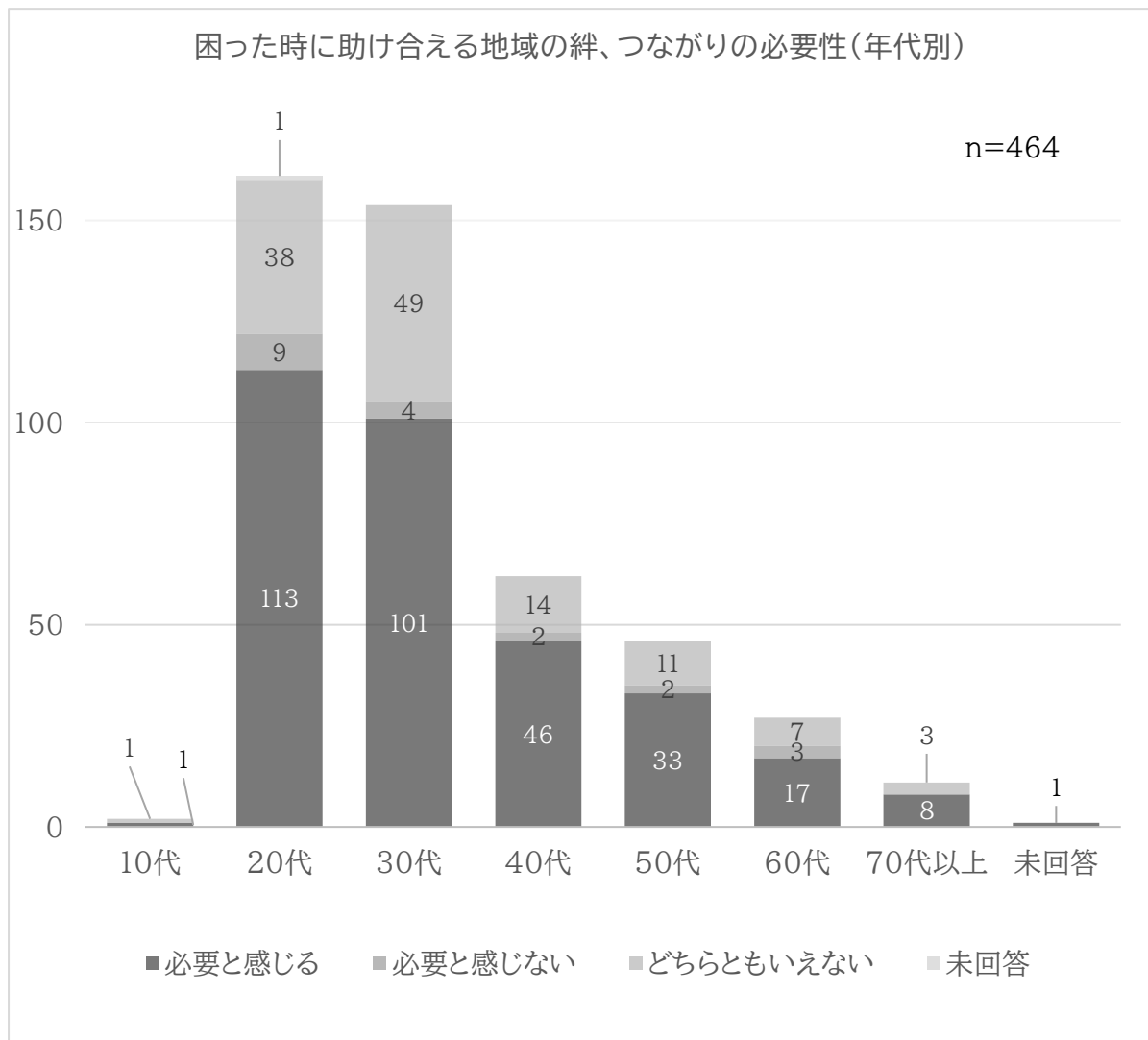
年代	あり	なし	未回答	総計
10代		1		1
20代	14	69	26	109
30代	42	56	15	113
40代	23	17	6	46
50代	6	18	6	30
60代		18	4	22
70代以上	2	4	1	7
未回答	1			1
総計	88	183	58	329

## 3. 今回の転入先の居住形態を教えてください。(ひとつに☑)



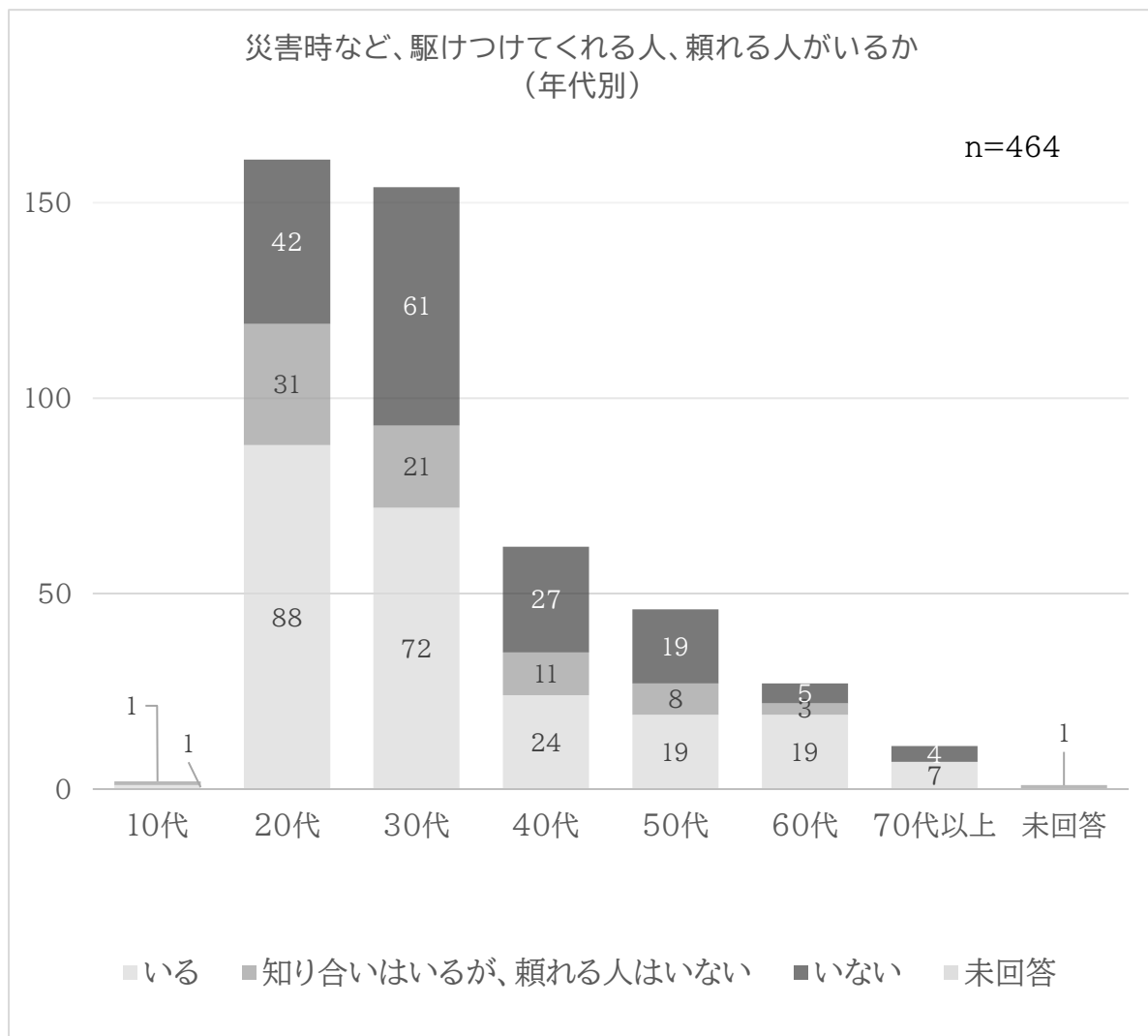
年代	一戸建て住宅	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	未回答	総計
10代	1		1		2
20代	2	11	147	1	161
30代	12	13	129		154
40代	3	8	51		62
50代	6	11	29		46
60代	4	9	14		27
70代以上	1	4	6		11
未回答			1		1
総計	29	56	378	1	464

4.困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じますか。  
（ひとつに☑）



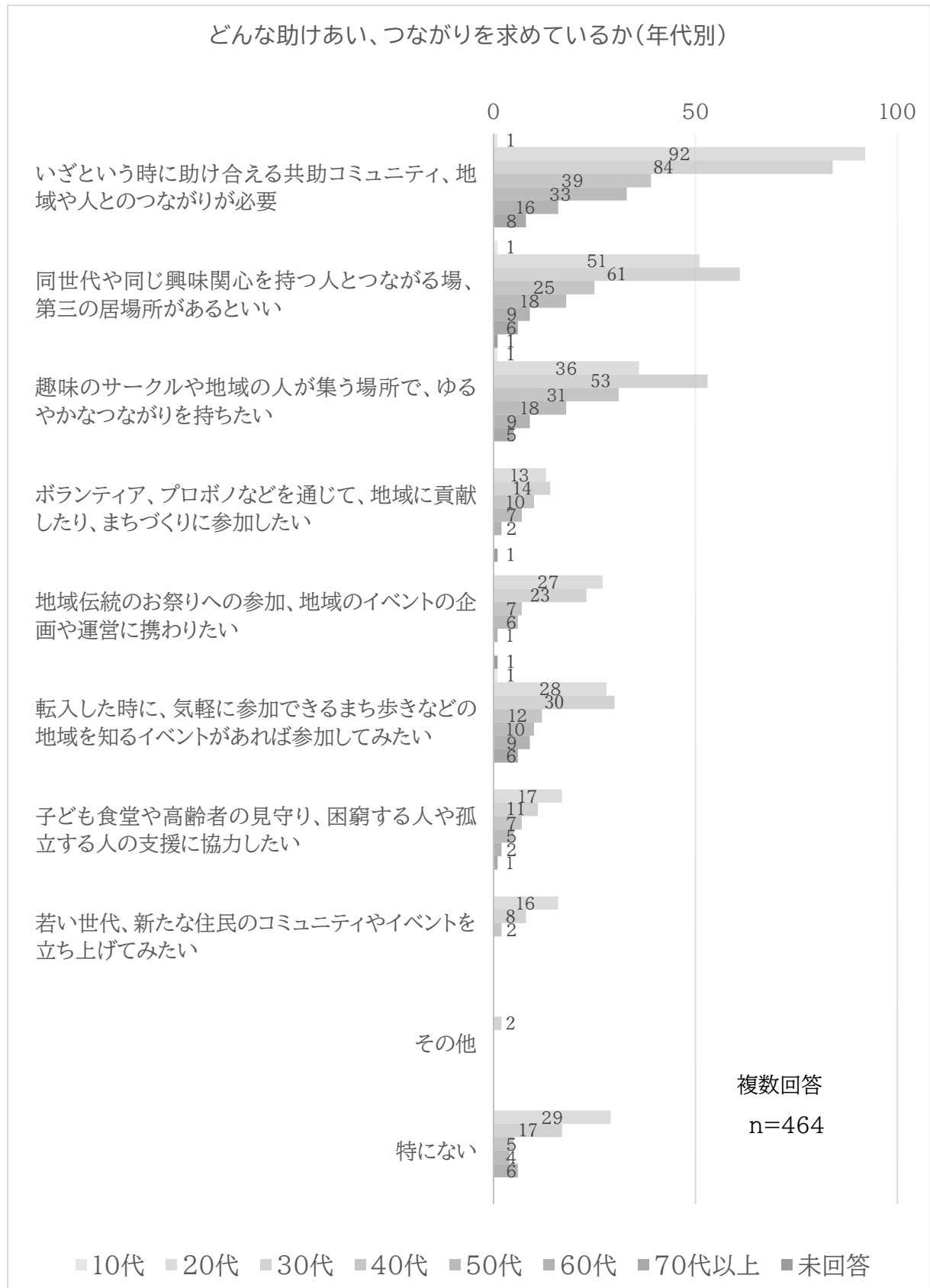
項目	必要と感じる	必要と感じない	どちらともいえない	未回答	総計
10代	1		1		2
20代	113	9	38	1	161
30代	101	4	49		154
40代	46	2	14		62
50代	33	2	11		46
60代	17	3	7		27
70代以上	8		3		11
未回答	1				1
総計	320	20	123	1	464

5.災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいますか。  
（ひとつに☑）



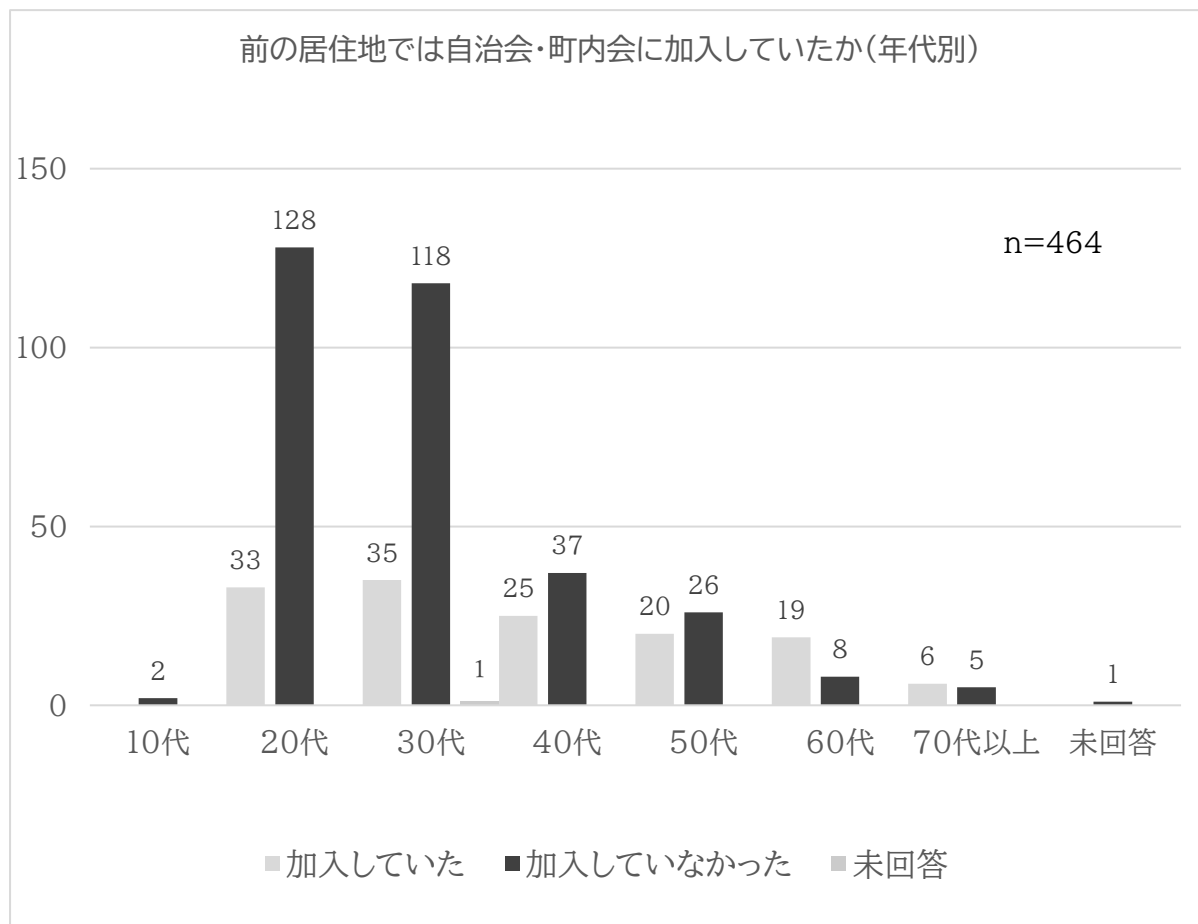
年代	いる	知り合いはいるが、頼れる人はいない	いない	総計
10代	1	1		2
20代	88	31	42	161
30代	72	21	61	154
40代	24	11	27	62
50代	19	8	19	46
60代	19	3	5	27
70代以上	7		4	11
未回答		1		1
総計	230	76	158	464

6.あなたはどんな助け合い、つながりを求めていますか。  
 (該当するものすべてに☑)



項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総計
いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要	1	92	84	39	33	16	8		273
同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい	1	51	61	25	18	9	6	1	172
趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい	1	36	53	31	18	9	5		153
ボランティア、プロボノなどを通じて、地域に貢献したり、まちづくりに参加したい		13	14	10	7	2		1	47
地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい		27	23	7	6	1		1	65
転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい	1	28	30	12	10	9	6		96
子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい		17	11	7	5	2	1		43
若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい		16	8	2					26
その他			2						2
特にない		29	17	5	4	6			61
総計	4	309	303	138	101	54	26	3	938

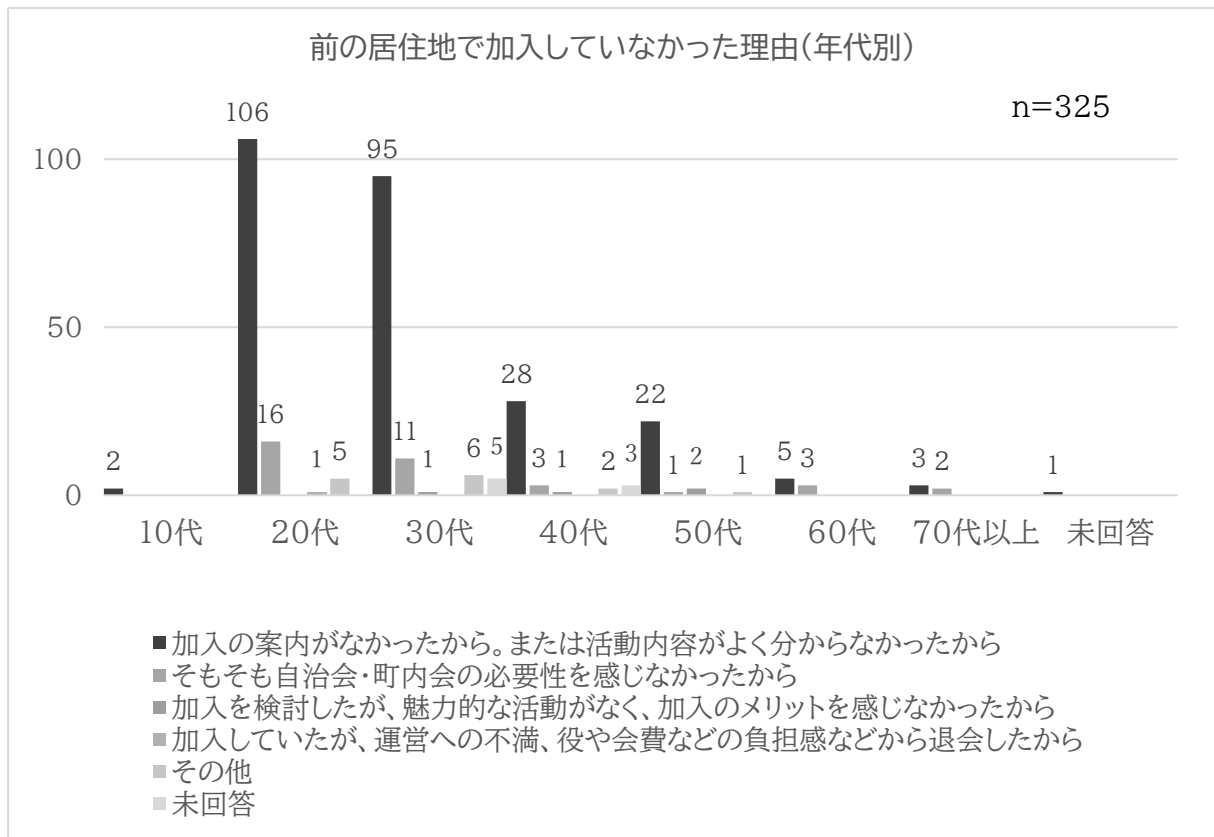
## 7. 前の居住地では自治会・町内会に加入していましたか。(ひとつに☑)



年代	加入していた	加入していなかった	未回答	総計
10代		2		2
20代	33	128		161
30代	35	118	1	154
40代	25	37		62
50代	20	26		46
60代	19	8		27
70代以上	6	5		11
未回答		1		1
総計	138	325	1	464

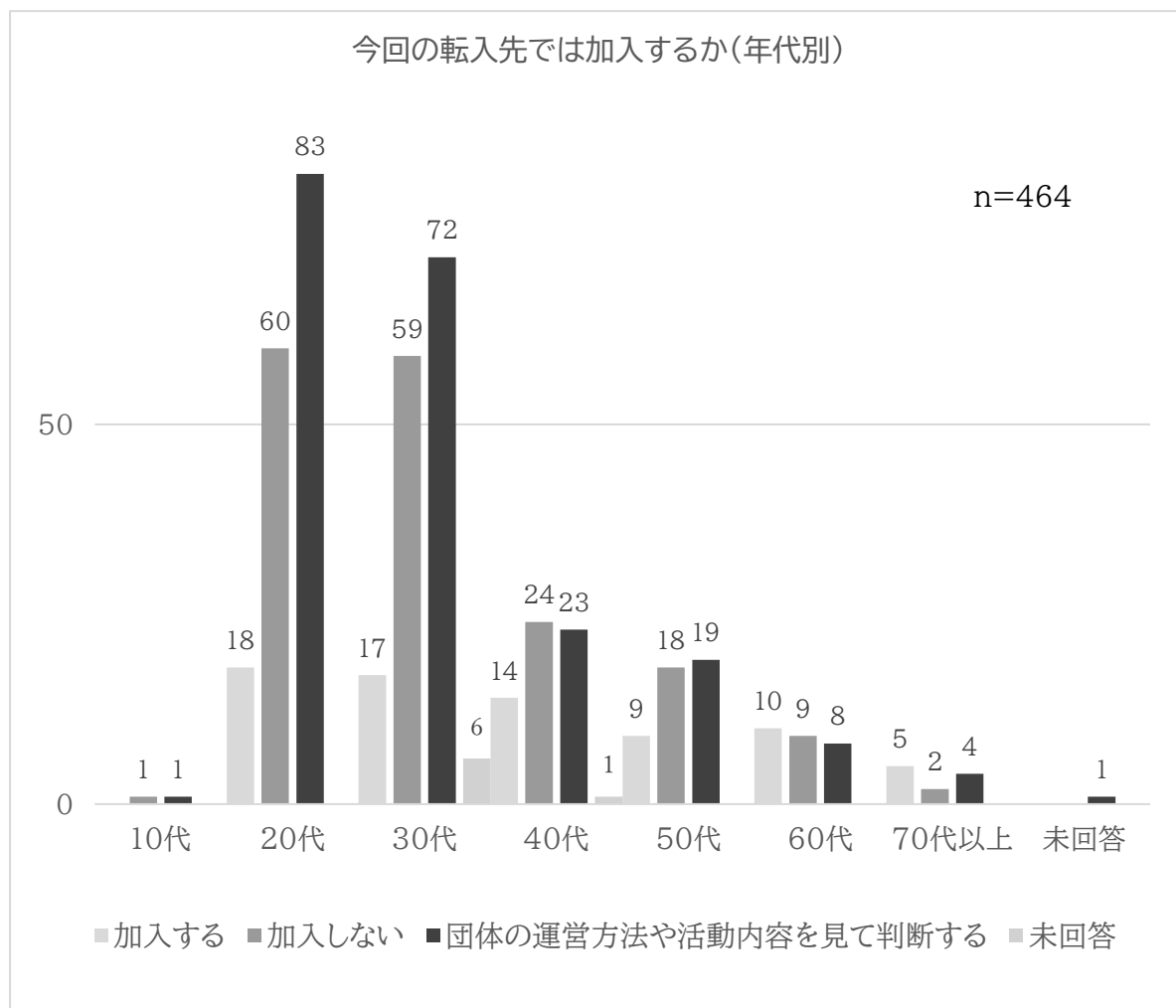


8.7で「加入していなかった」と回答した方にお伺いします。加入していなかった理由は何ですか。(ひとつに☑)



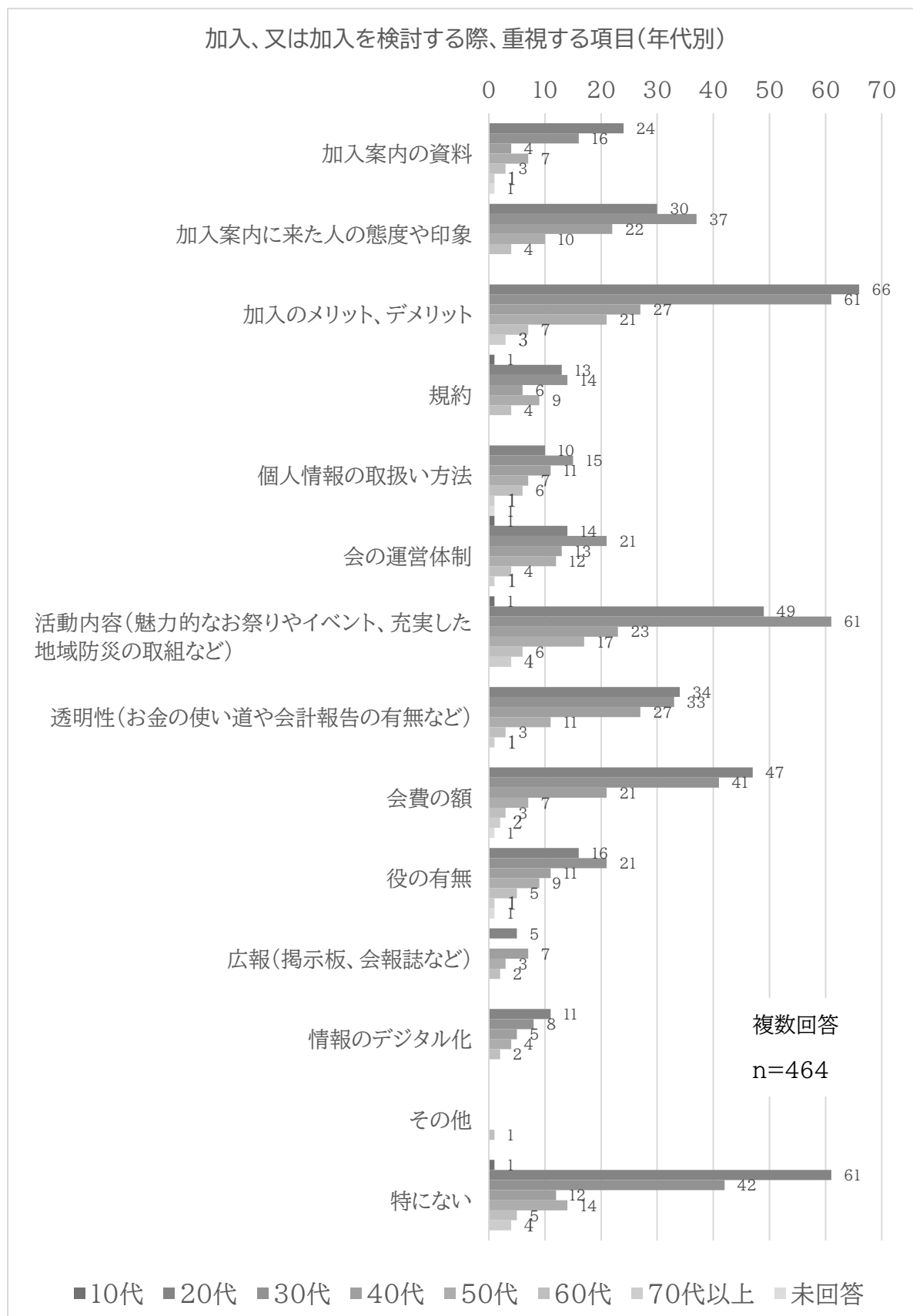
項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総計
加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから	2	106	95	28	22	5	3	1	262
そもそも自治会・町内会の必要性を感じなかったから		16	11	3	1	3	2		36
加入を検討したが、魅力的な活動がなく、加入のメリットを感じなかったから			1	1	2				4
加入していたが、運営への不満、役や会費などの負担感などから退会したから		1							1
その他		5	6	2	1				14
未回答			5	3					8
総計	2	128	118	37	26	8	5	1	325

## 9. 今回の転入先では自治会・町内会に加入しますか。(ひとつに☑)



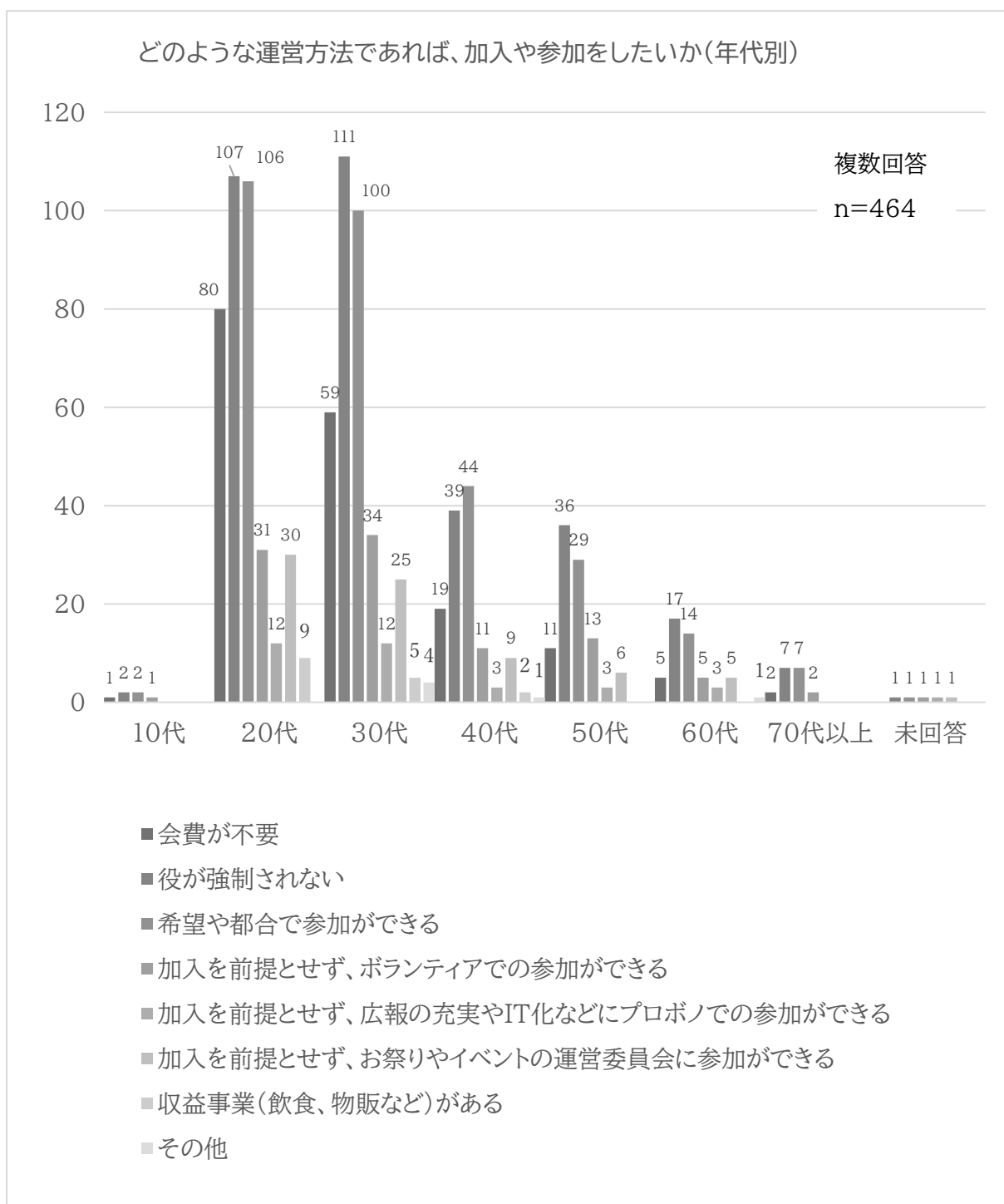
年代	加入する	加入しない	団体の運営方法や 活動内容を見て判断する	未回答	総計
10代		1	1		2
20代	18	60	83		161
30代	17	59	72	6	154
40代	14	24	23	1	62
50代	9	18	19		46
60代	10	9	8		27
70代以上	5	2	4		11
未回答			1		1
総計	73	173	211	7	464

10. 自治会・町内会に加入、または加入を検討する際、重視する項目はありますか。  
（該当するものすべてに☑）



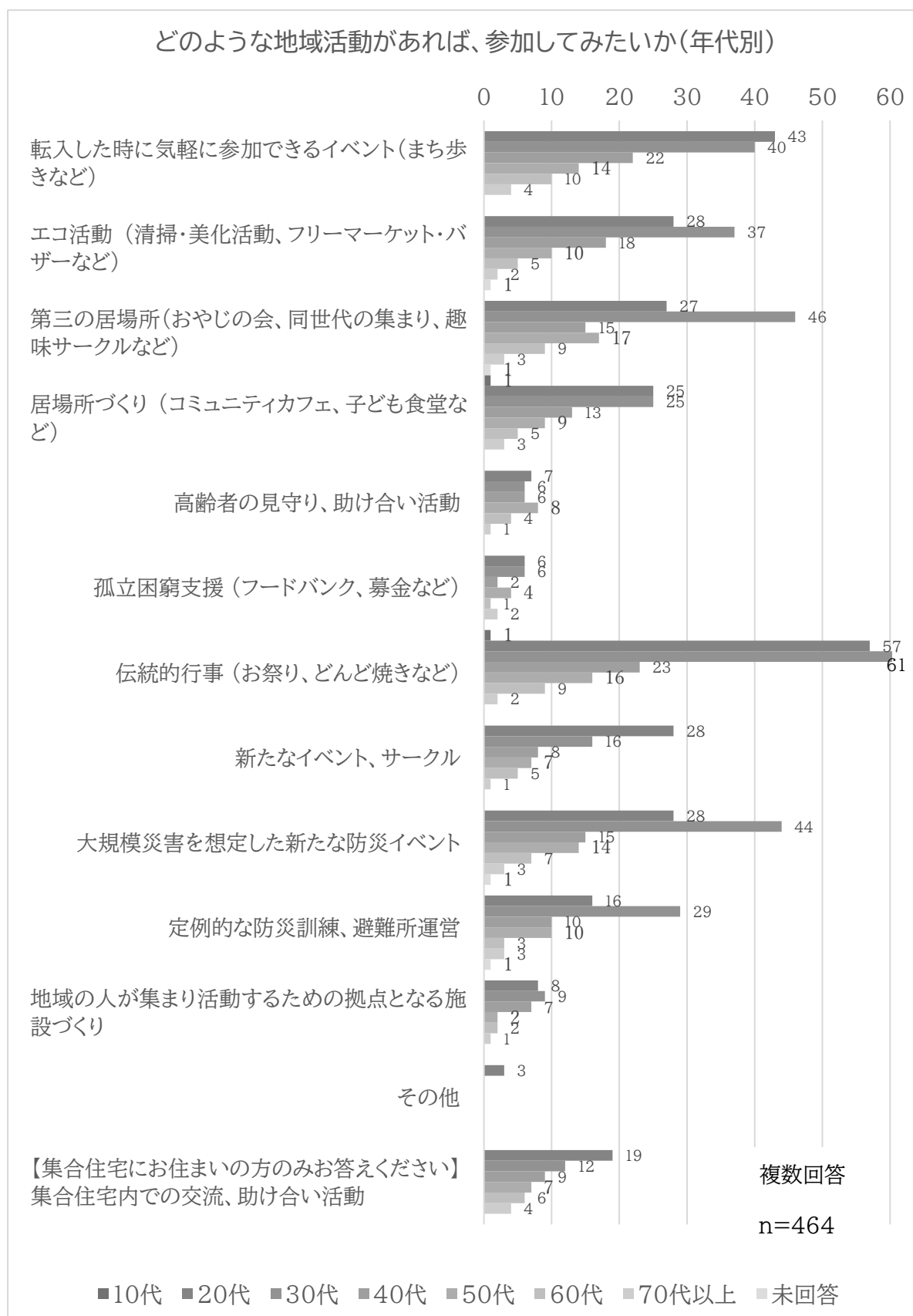
項目	1 0 代	2 0 代	3 0 代	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代 以上	未 回 答	総 計
加入案内の資料		24	16	4	7	3	1	1	56
加入案内に来た人の態度や印象		30	37	22	10	4			103
加入のメリット、デメリット		66	61	27	21	7	3		185
規約	1	13	14	6	9	4			47
個人情報の取扱い方法		10	15	11	7	6	1	1	51
会の運営体制	1	14	21	13	12	4	1		66
活動内容(魅力的なお祭りやイベント、充実した地域防災の取組など)	1	49	61	23	17	6	4		161
透明性(お金の使い道や会計報告の有無など)		34	33	27	11	3	1		109
会費の額		47	41	21	7	3	2	1	122
役の有無		16	21	11	9	5	1	1	64
広報(掲示板、会報誌など)		5		7	3	2			17
情報のデジタル化		11	8	5	4	2			30
その他						1			1
特にない	1	61	42	12	14	5	4		139
総計	4	380	370	189	131	55	18	4	1,151

11.どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいと思いますか。  
（該当するものすべてに☑）



項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総計
会費が不要	1	80	59	19	11	5	2		177
役が強制されない	2	107	111	39	36	17	7	1	320
希望や都合で参加ができる	2	106	100	44	29	14	7	1	303
加入を前提とせず、ボランティアでの参加ができる	1	31	34	11	13	5	2	1	98
加入を前提とせず、広報の充実やIT化などにプロボノでの参加ができる		12	12	3	3	3		1	34
加入を前提とせず、お祭りやイベントの運営委員会に参加ができる		30	25	9	6	5		1	76
収益事業(飲食、物販など)がある		9	5	2					16
その他			4	1		1			6
総計	6	375	350	128	98	50	18	5	1,030

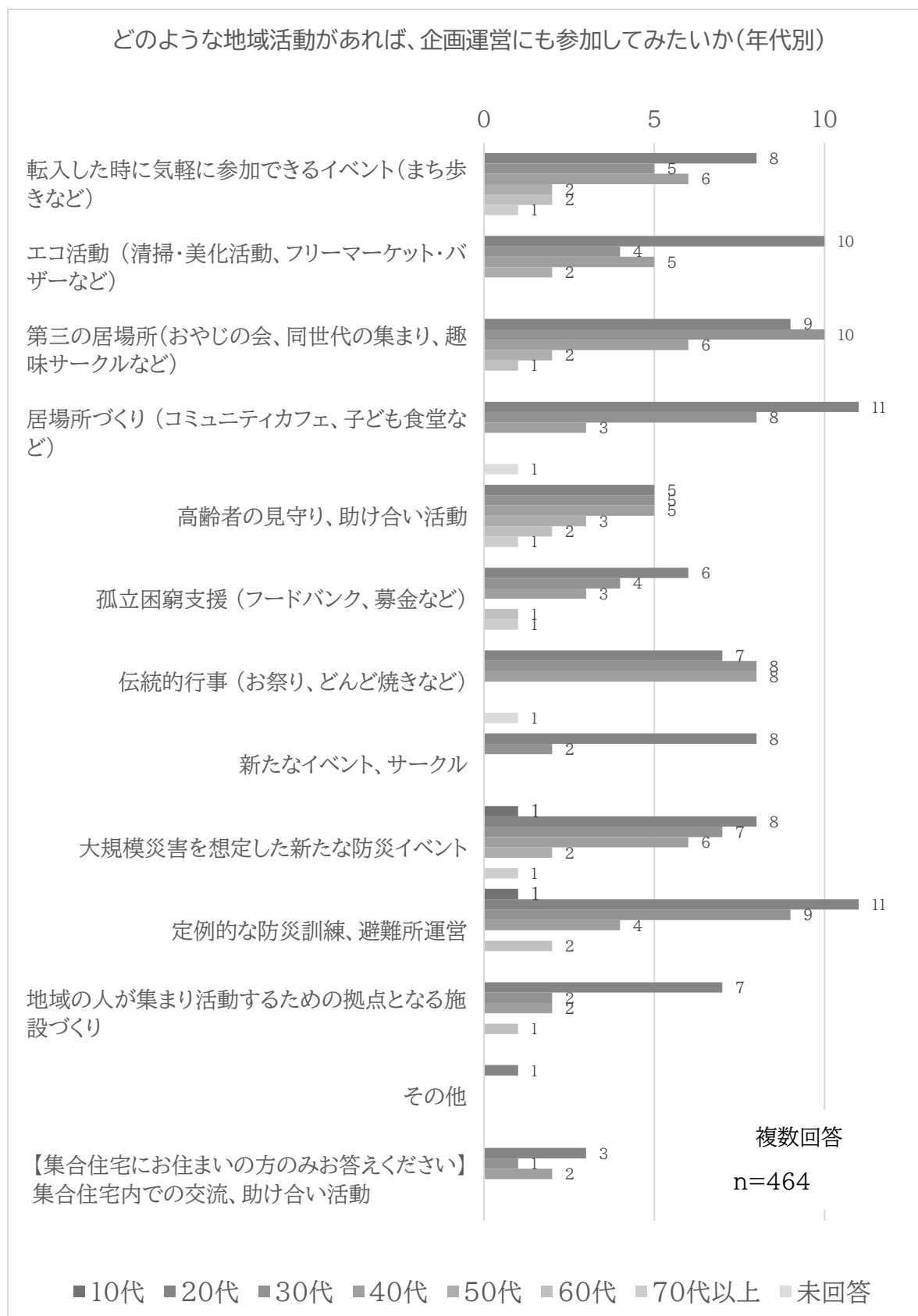
12-1.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(参加してみたい)  
(該当するものすべてに○)



項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）		43	40	22	14	10	4		133
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）		28	37	18	10	5	2	1	101
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）		27	46	15	17	9	3	1	118
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	1	25	25	13	9	5	3		81
高齢者の見守り、助け合い活動		7	6	6	8	4	1		32
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）		6	6	2	4	1	2		21
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	1	57	61	23	16	9	2		169
新たなイベント、サークル		28	16	8	7	5	1		65
大規模災害を想定した新たな防災イベント		28	44	15	14	7	3	1	112
定例的な防災訓練、避難所運営		16	29	10	10	3	3	1	72
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり		8	9	7	2	2	1		29
その他		3							3
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動		19	12	9	7	6	4		57
総計	2	295	331	148	118	66	29	4	993



12-2.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(企画運営に関心)  
(該当するものすべてに○)

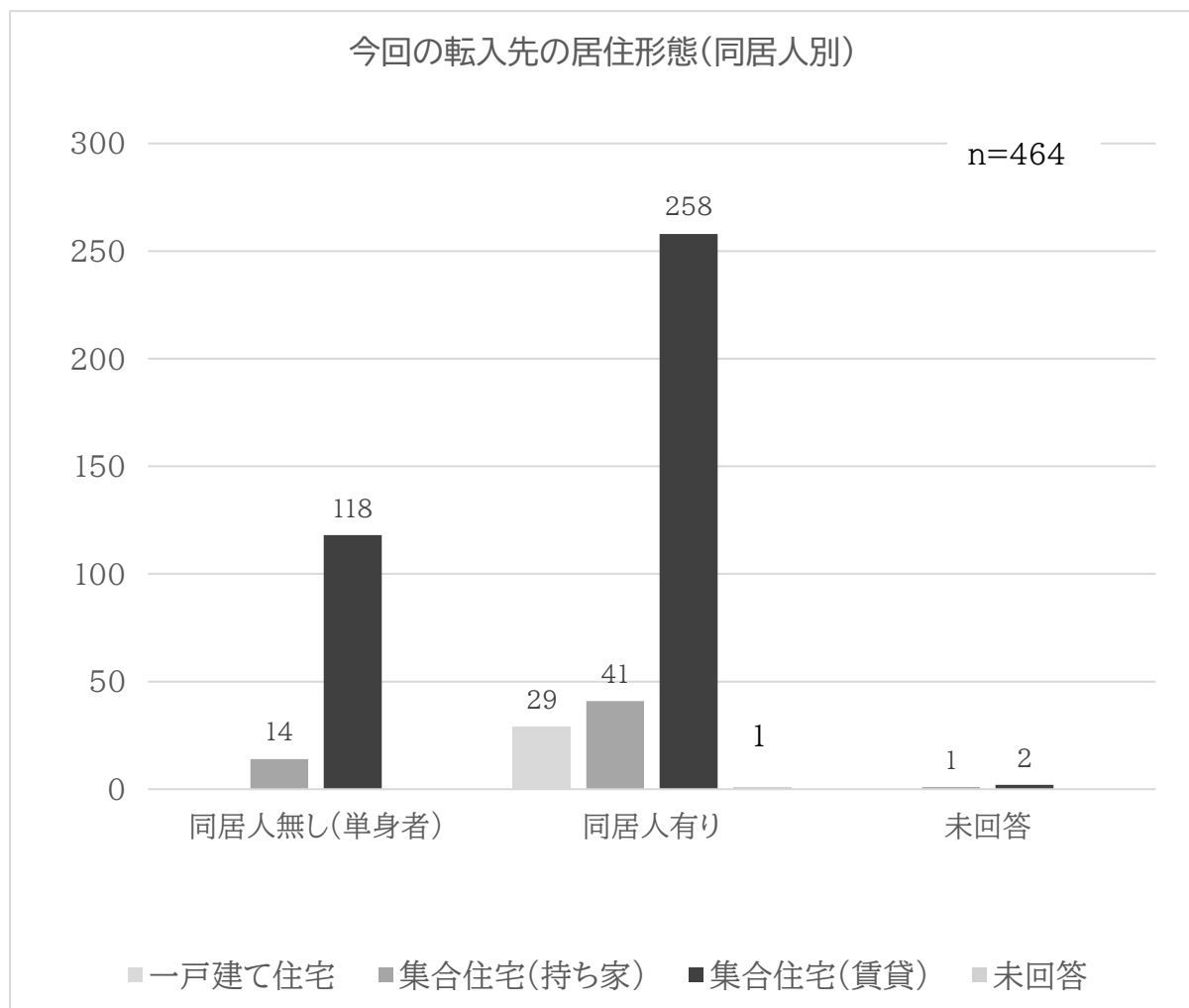


項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント(まち歩きなど)		8	5	6	2	2	1		24
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）		10	4	5	2				21
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）		9	10	6	2	1			28
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）		11	8	3				1	23
高齢者の見守り、助け合い活動		5	5	5	3	2	1		21
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）		6	4	3		1	1		15
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）		7	8	8				1	24
新たなイベント、サークル		8	2						10
大規模災害を想定した新たな防災イベント	1	8	7	6	2		1		25
定例的な防災訓練、避難所運営	1	11	9	4		2			27
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり		7	2	2		1			12
その他		1							1
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動		3	1	2					6
総計	2	94	65	50	11	9	4	2	237



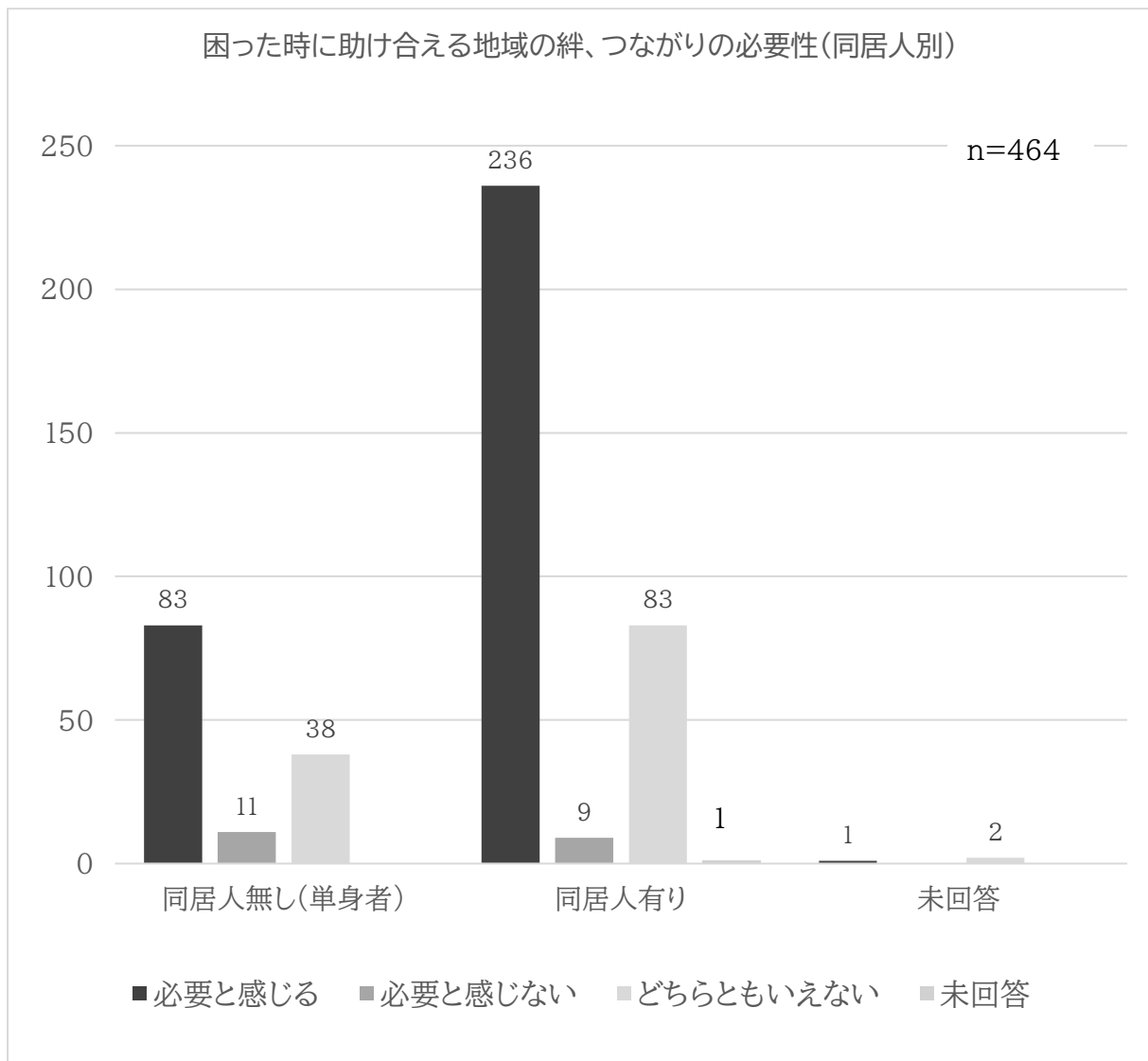
## アンケート調査結果(同居人別)

## 3. 今回の転入先の居住形態を教えてください。(ひとつに☑)



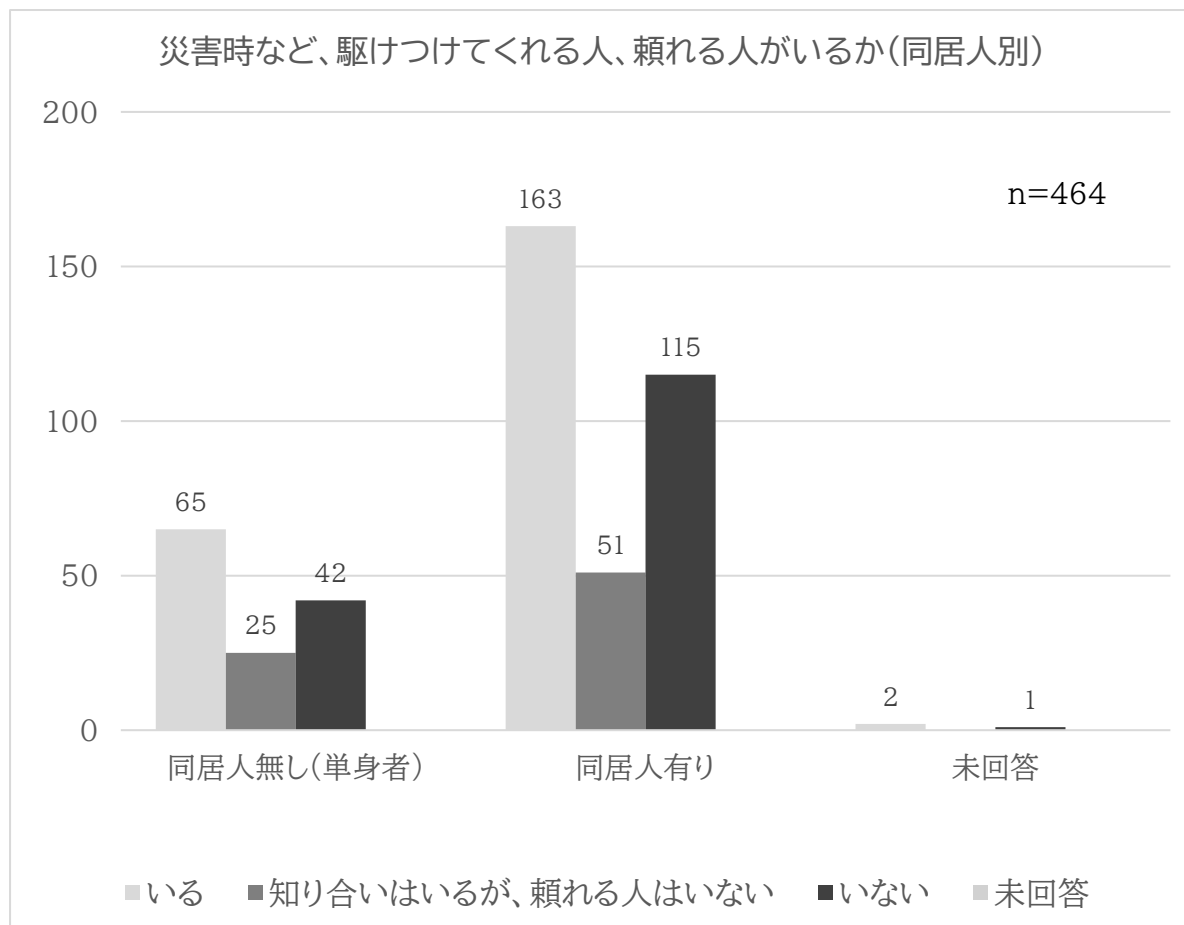
項目	一戸建て住宅	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	未回答	総計
同居人無し(単身者)		14	118		132
同居人有り	29	41	258	1	329
未回答		1	2		3
総計	29	56	378	1	464

4.困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じますか。  
（ひとつに☑）



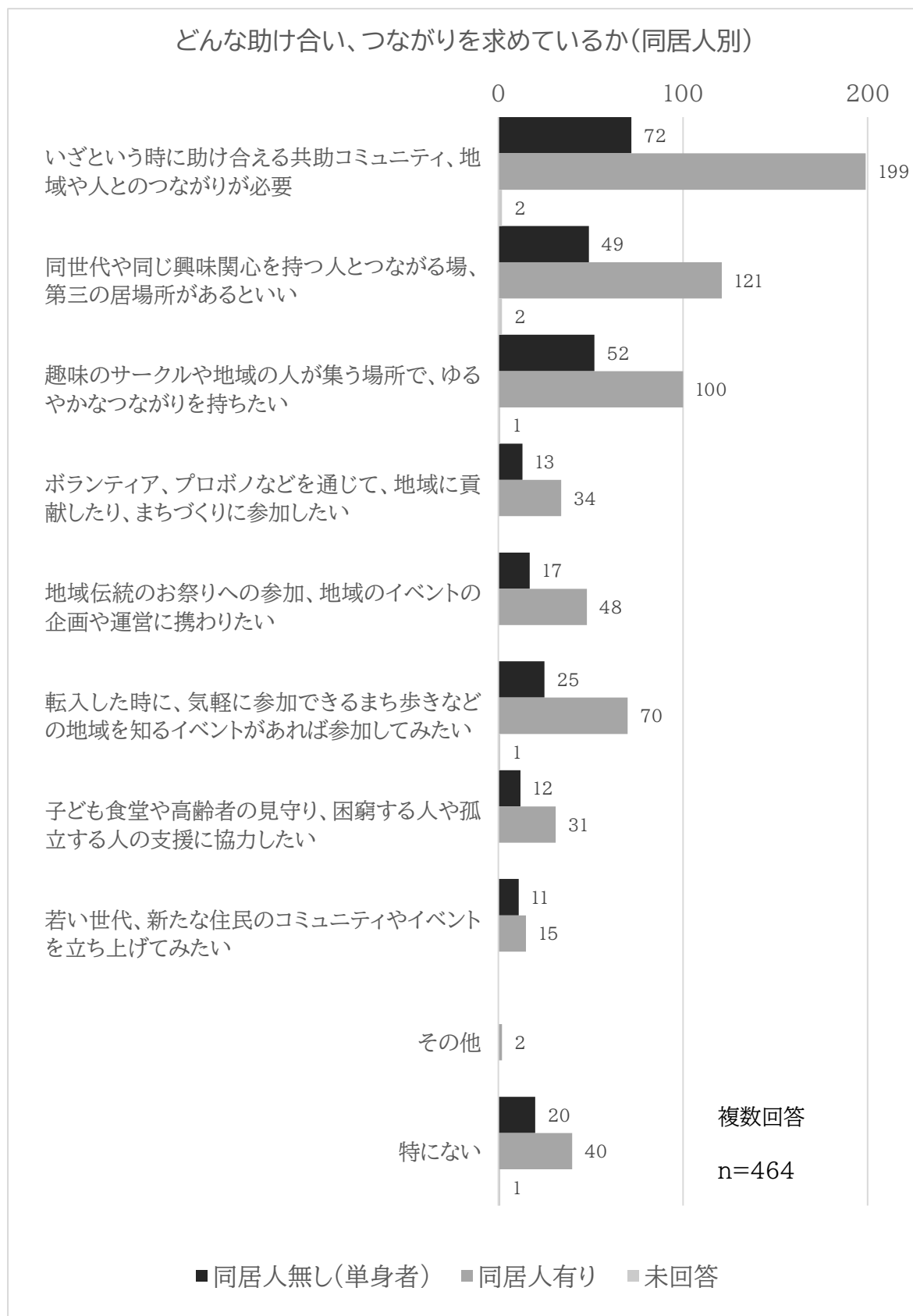
項目	必要と感じる	必要と感じない	どちらともいえない	未回答	総計
同居人無し(単身者)	83	11	38		132
同居人有り	236	9	83	1	329
未回答	1		2		3
総計	320	20	123	1	464

5.災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいますか。  
（ひとつに☑）



項目	いる	知り合いはいるが、頼れる人はいない	いない	未回答	総計
同居人無し(単身者)	65	25	42		132
同居人有り	163	51	115		329
未回答	2		1		3
総計	230	76	158		464

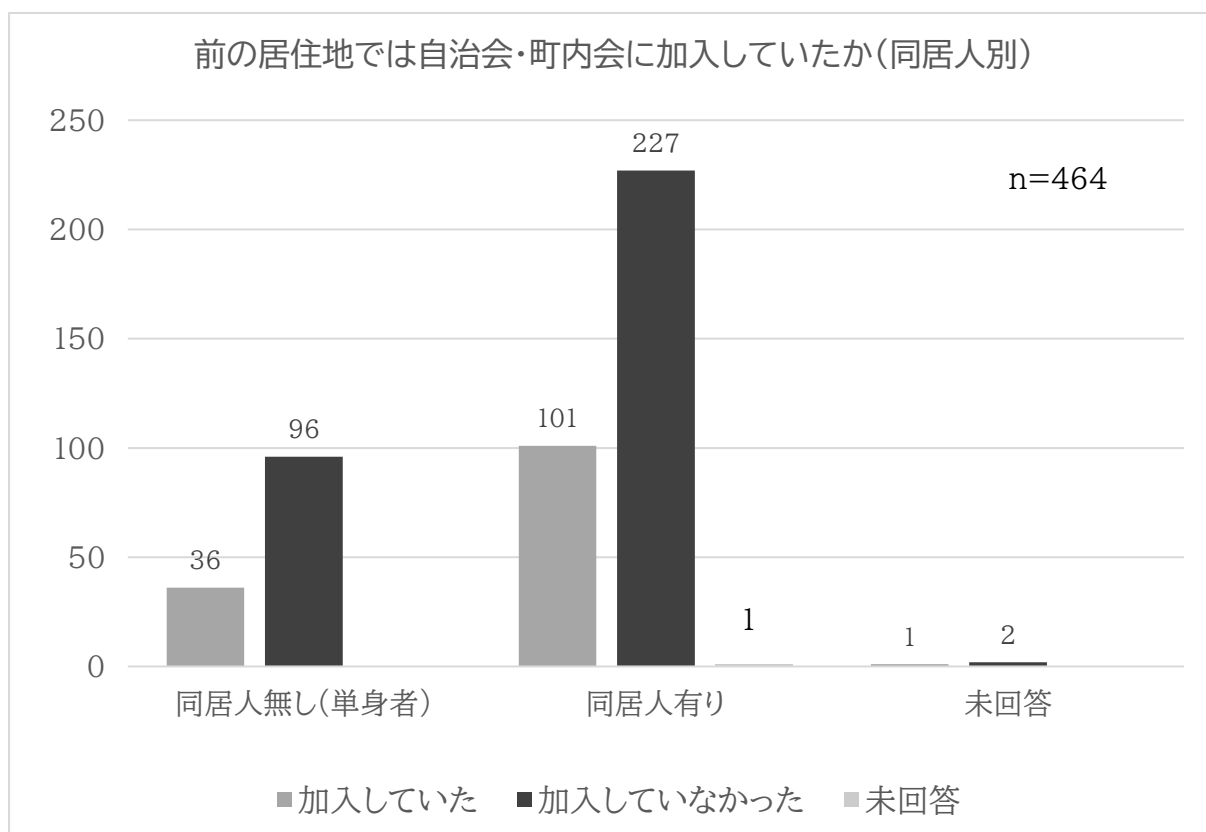
6.あなたはどんな助け合い、つながりを求めていますか。  
 (該当するものすべてに☑)





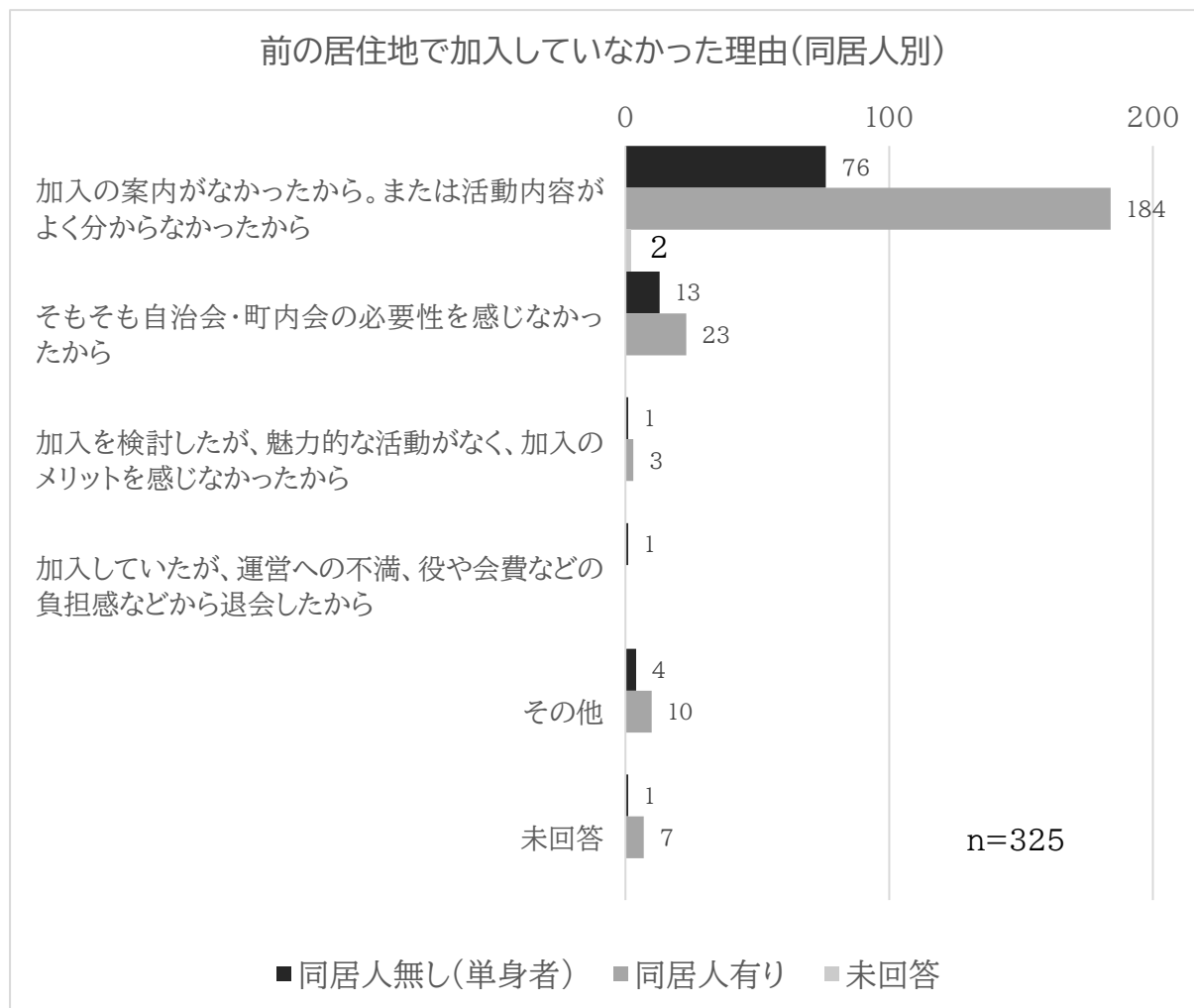
項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要	72	199	2	273
同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい	49	121	2	172
趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい	52	100	1	153
ボランティア、プロボノなどを通じて、地域に貢献したり、まちづくりに参加したい	13	34		47
地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい	17	48		65
転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい	25	70	1	96
子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい	12	31		43
若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい	11	15		26
その他		2		2
特にない	20	40	1	61
総計	271	660	7	938

## 7. 前の居住地では自治会・町内会に加入していましたか。(ひとつに☑)



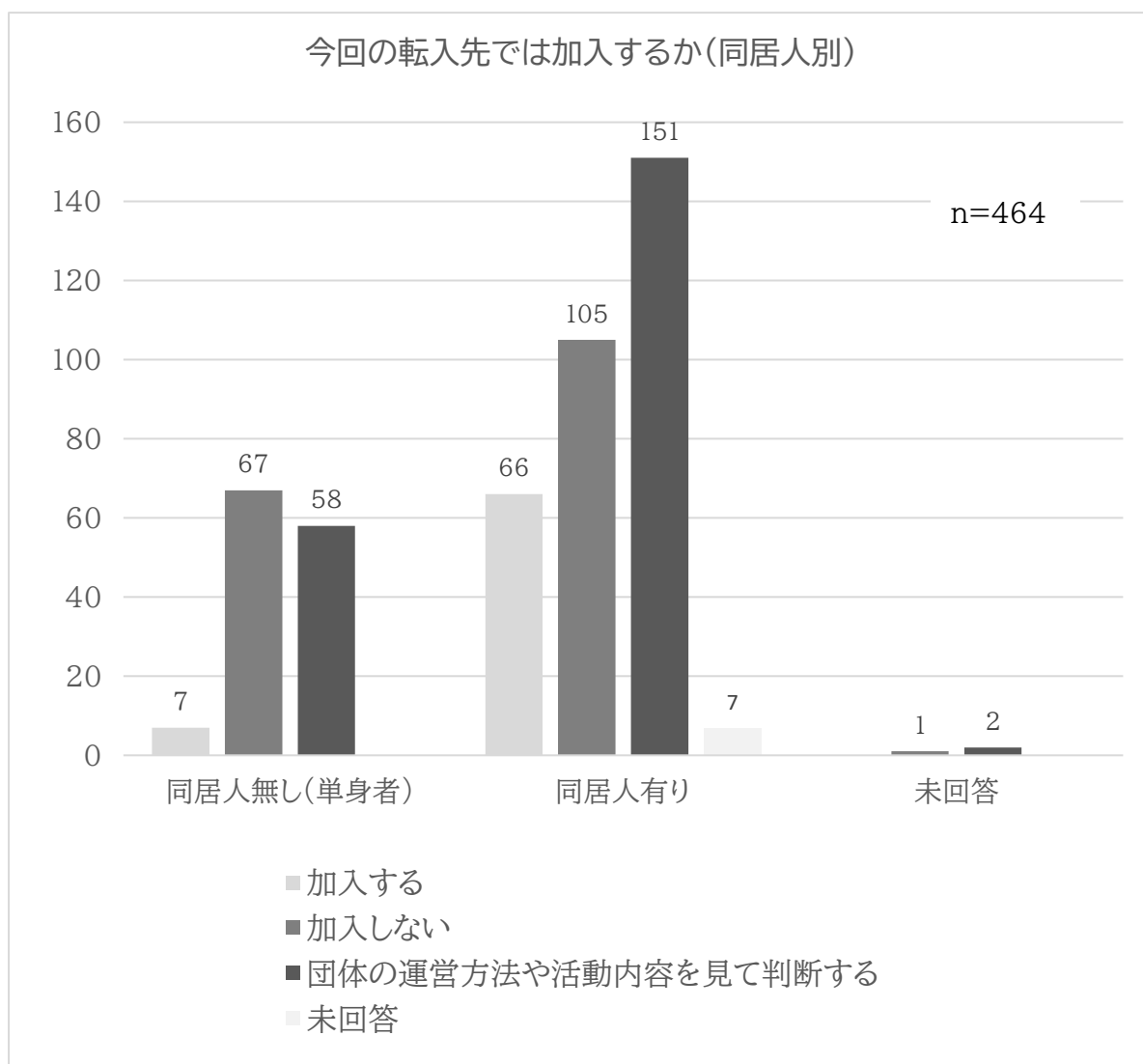
項目	加入していた	加入していなかった	未回答	総計
同居人無し(単身者)	36	96		132
同居人有り	101	227	1	329
未回答	1	2		3
総計	138	325	1	464

8.7で「加入していなかった」と回答した方にお伺いします。加入していなかった理由は何ですか。(ひとつに☑)



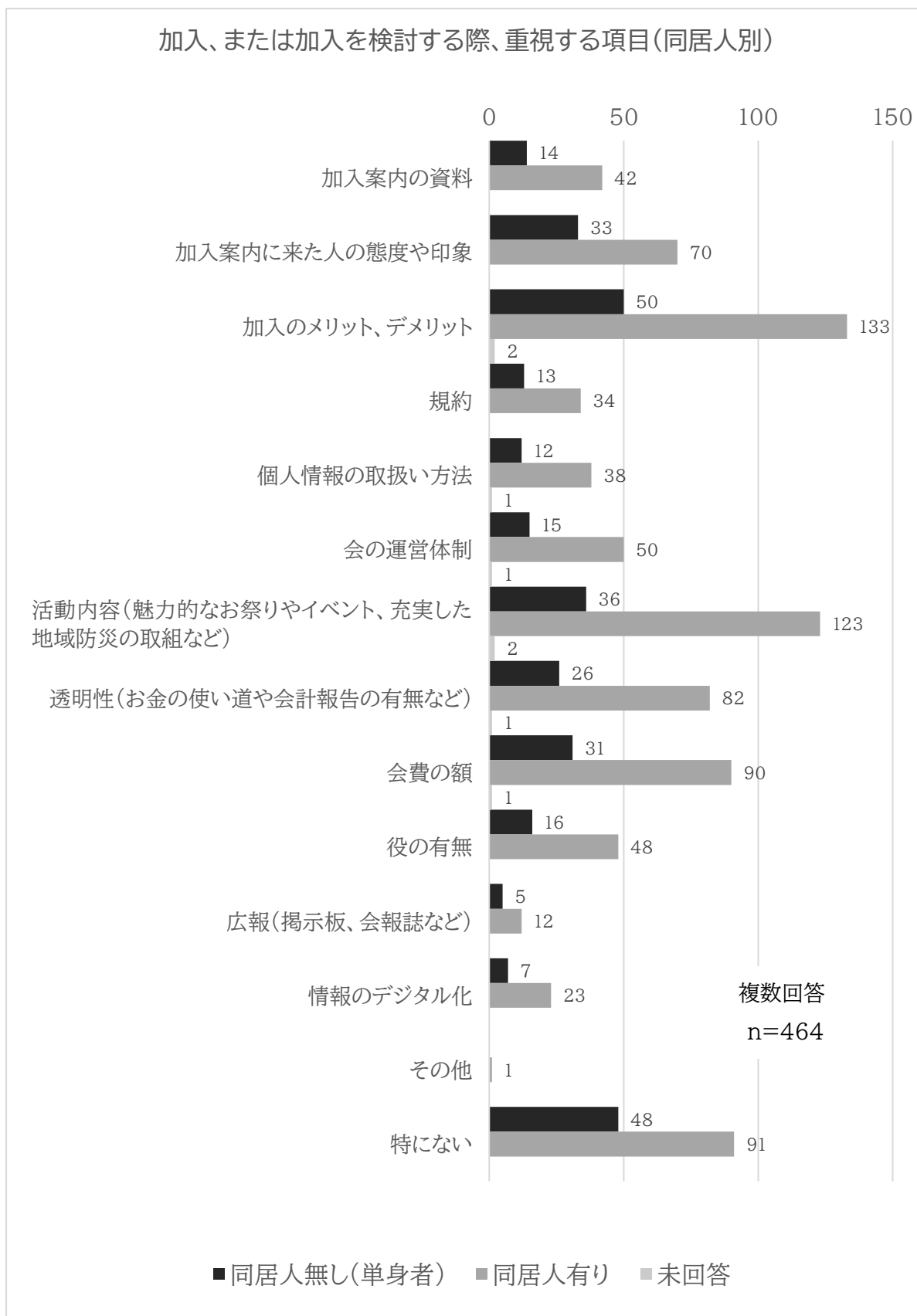
項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
加入の案内がなかったから。または活動内容がよく分からなかったから	76	184	2	262
そもそも自治会・町内会の必要性を感じなかったから	13	23		36
加入を検討したが、魅力的な活動がなく、加入のメリットを感じなかったから	1	3		4
加入していたが、運営への不満、役や会費などの負担感などから退会したから	1			1
その他	4	10		14
未回答	1	7		8
総計	96	227	2	325

## 9. 今回の転入先では自治会・町内会に加入しますか。(ひとつに☑)



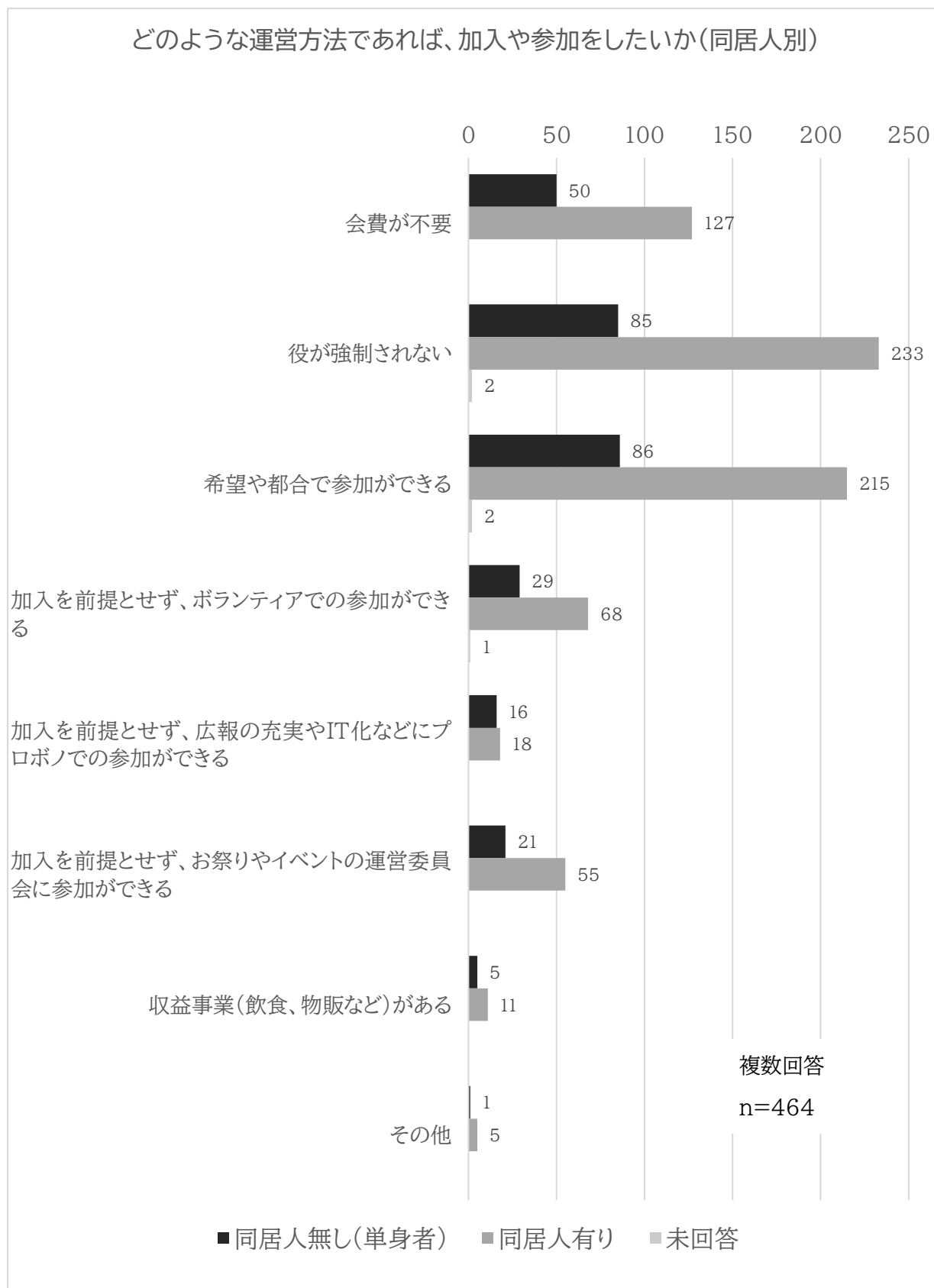
項目	加入する	加入しない	団体の運営方法や活動内容を見て判断する	未回答	総計
同居人無し(単身者)	7	67	58		132
同居人有り	66	105	151	7	329
未回答		1	2		3
総計	73	173	211	7	464

10. 自治会・町内会に加入、または加入を検討する際、重視する項目はありますか。  
（該当するものすべてに☑）



項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
加入案内の資料	14	42		56
加入案内に来た人の態度や印象	33	70		103
加入のメリット、デメリット	50	133	2	185
規約	13	34		47
個人情報の取扱い方法	12	38	1	51
会の運営体制	15	50	1	66
活動内容(魅力的なお祭りやイベント、充実した地域防災の取組など)	36	123	2	161
透明性(お金の使い道や会計報告の有無など)	26	82	1	109
会費の額	31	90	1	122
役の有無	16	48		64
広報(掲示板、会報誌など)	5	12		17
情報のデジタル化	7	23		30
その他		1		1
特になし	48	91		139
総計	306	837	8	1,151

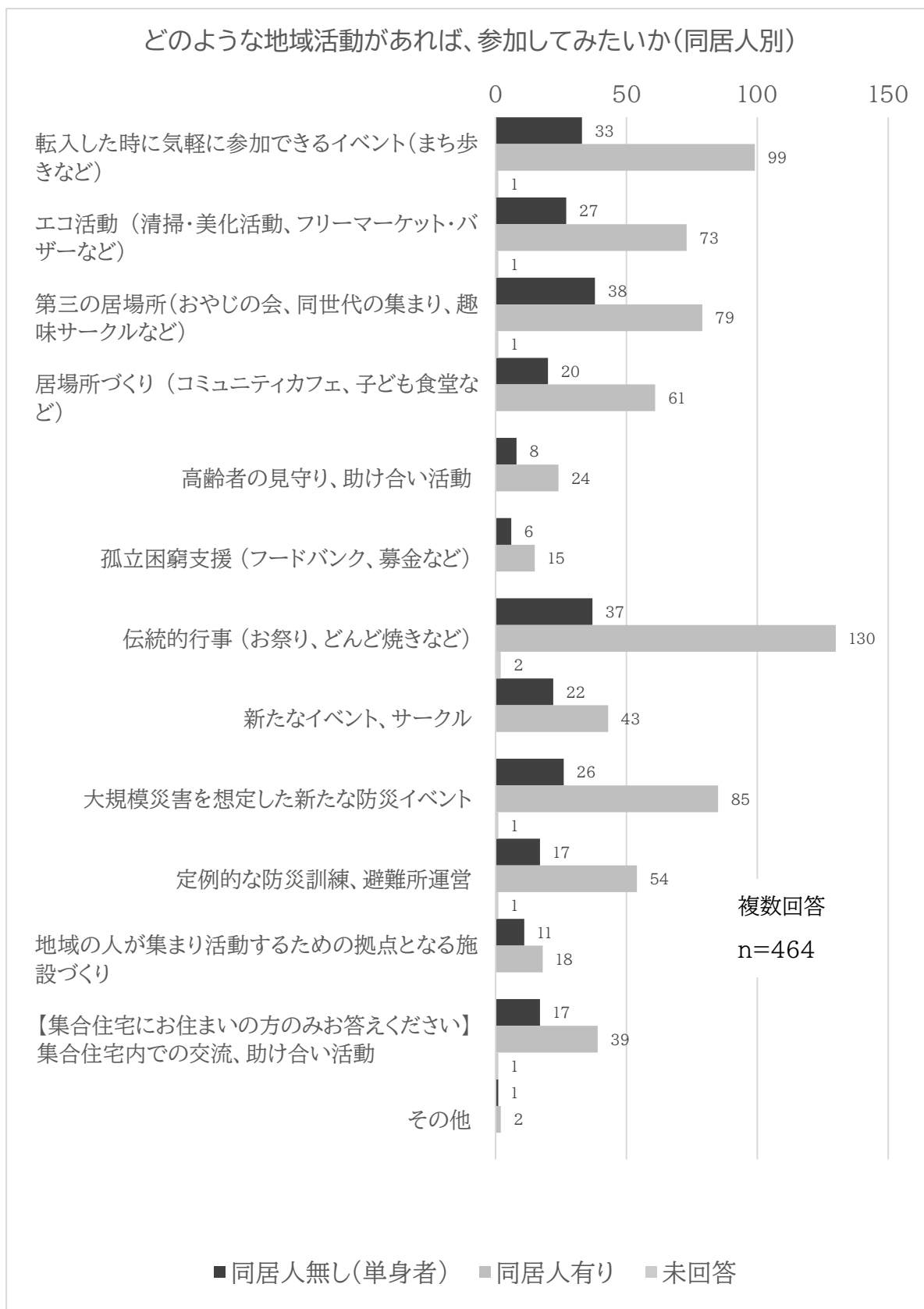
11.どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいと思いますか。  
（該当するものすべてに☑）



項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
会費が不要	50	127		177
役が強制されない	85	233	2	320
希望や都合で参加ができる	86	215	2	303
加入を前提とせず、ボランティアでの参加ができる	29	68	1	98
加入を前提とせず、広報の充実や IT 化などにプロボノでの参加ができる	16	18		34
加入を前提とせず、お祭りやイベントの運営委員会に参加ができる	21	55		76
収益事業(飲食、物販など)がある	5	11		16
その他	1	5		6
総計	293	732	5	1,030

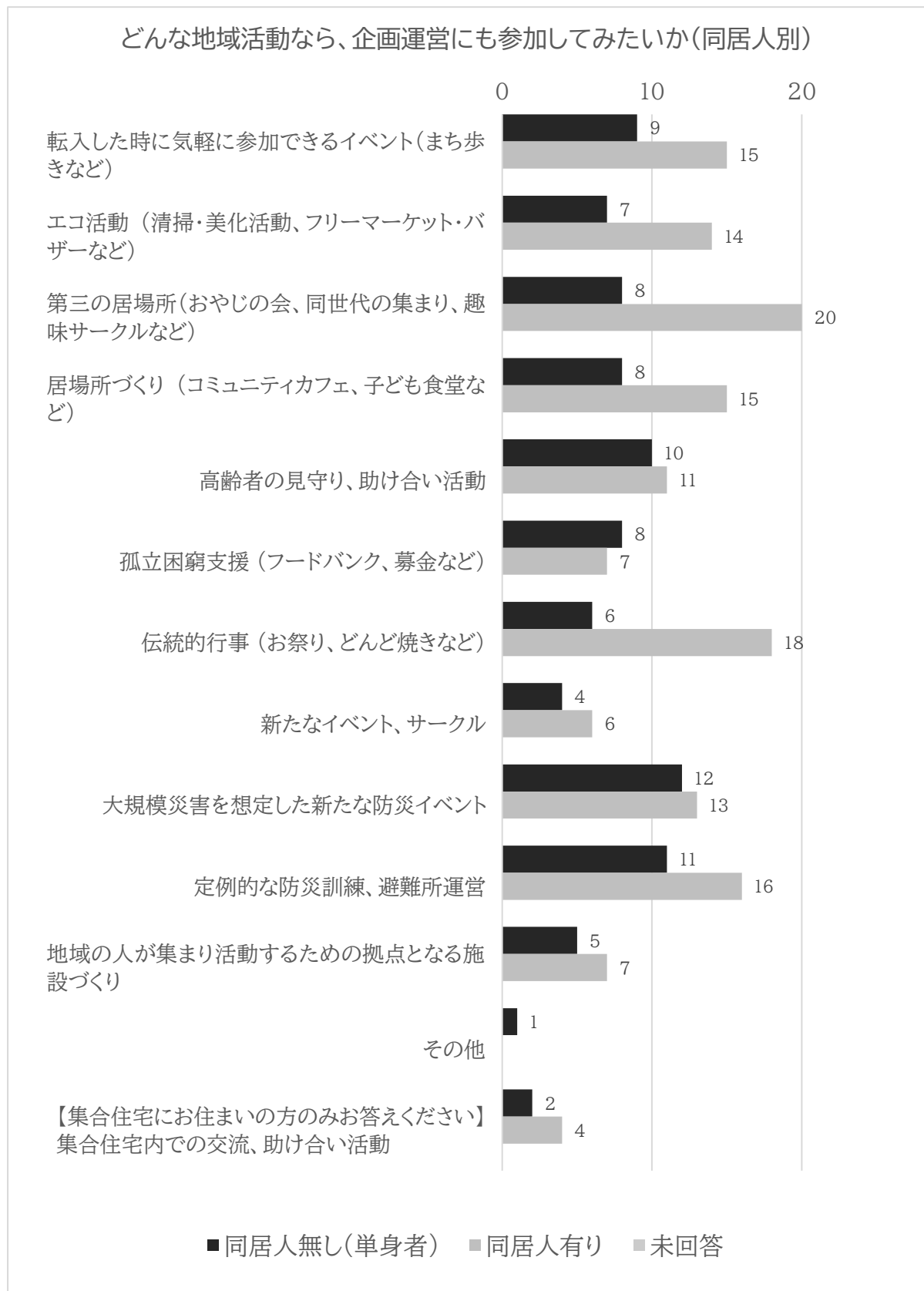


12-1.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(参加してみたい)  
(該当するものすべてに○)



項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント(まち歩きなど)	33	99	1	133
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）	27	73	1	101
第三の居場所(おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど)	38	79	1	118
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	20	61		81
高齢者の見守り、助け合い活動	8	24		32
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）	6	15		21
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	37	130	2	169
新たなイベント、サークル	22	43		65
大規模災害を想定した新たな防災イベント	26	85	1	112
定例的な防災訓練、避難所運営	17	54	1	72
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり	11	18		29
その他	1	2		3
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動	17	39	1	57
総計	263	722	8	993

12-2.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(企画運営に関心)  
(該当するものすべてに○)

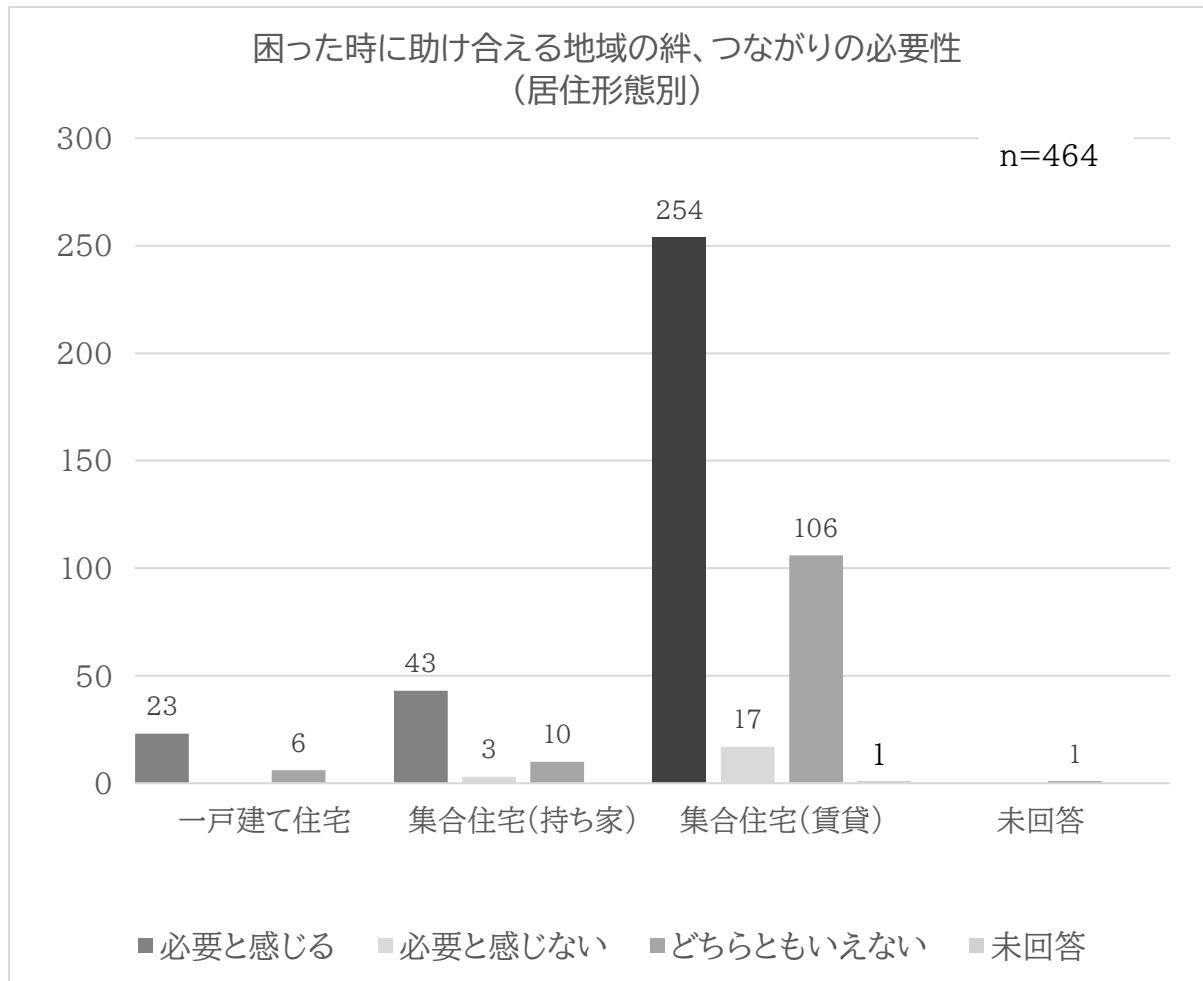


項目	同居人無し (単身者)	同居人有り	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント(まち歩きなど)	9	15		24
エコ活動(清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど)	7	14		21
第三の居場所(おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど)	8	20		28
居場所づくり(コミュニティカフェ、子ども食堂など)	8	15		23
高齢者の見守り、助け合い活動	10	11		21
孤立困窮支援(フードバンク、募金など)	8	7		15
伝統的行事(お祭り、どんど焼きなど)	6	18		24
新たなイベント、サークル	4	6		10
大規模災害を想定した新たな防災イベント	12	13		25
定例的な防災訓練、避難所運営	11	16		27
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり	5	7		12
その他	1			1
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動	2	4		6
総計	91	146	0	237



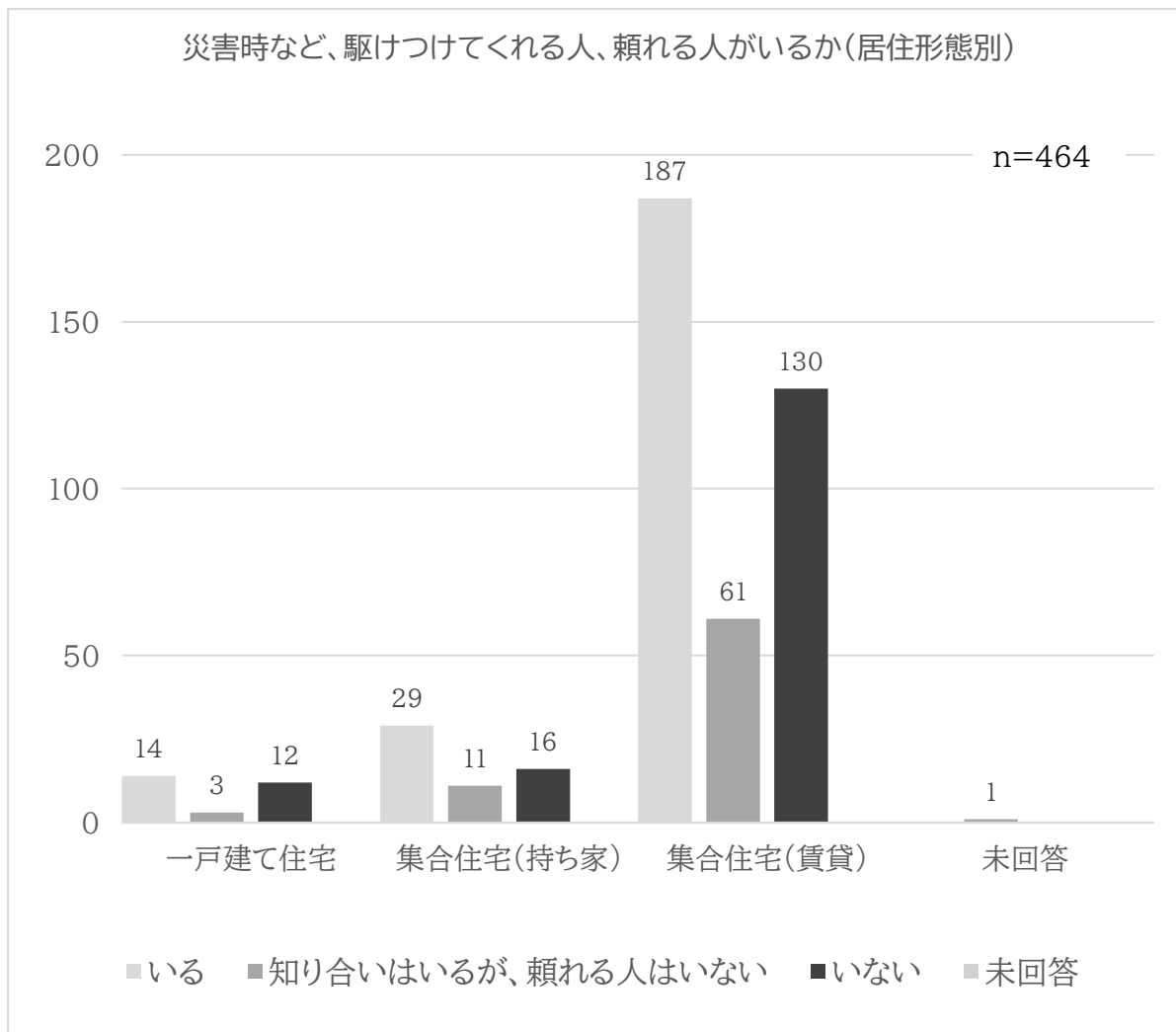
## アンケート調査結果(居住形態別)

4.困った時に助け合える地域の絆、人とのつながりの必要性を感じますか。  
（ひとつに☑）



項目	必要と感じる	必要と感じない	どちらともいえない	未回答	総計
一戸建て住宅	23	6	0	0	29
集合住宅(持ち家)	43	3	10	0	56
集合住宅(賃貸)	254	17	106	1	378
未回答	0	0	1	0	1
総計	320	20	123	1	464

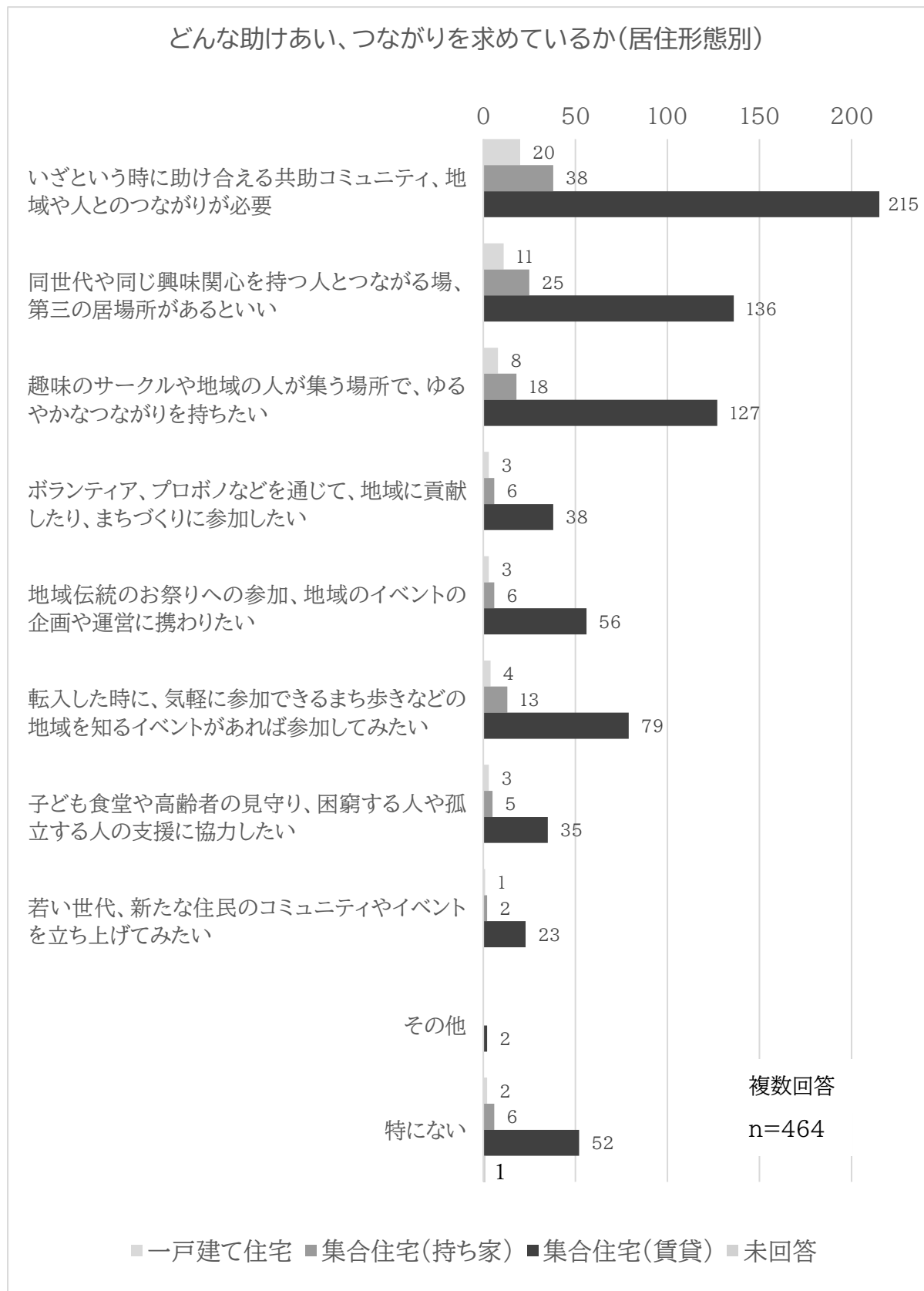
5.災害時など、いざという時にすぐに駆けつけてくれる人、頼れる人が近くにいますか。  
（ひとつに☑）



項目	いる	知り合いはいるが、 頼れる人はいない	いない	未回答	総計
一戸建て住宅	14	3	12		29
集合住宅(持ち家)	29	11	16		56
集合住宅(賃貸)	187	61	130		378
未回答		1			1
総計	230	76	158		464

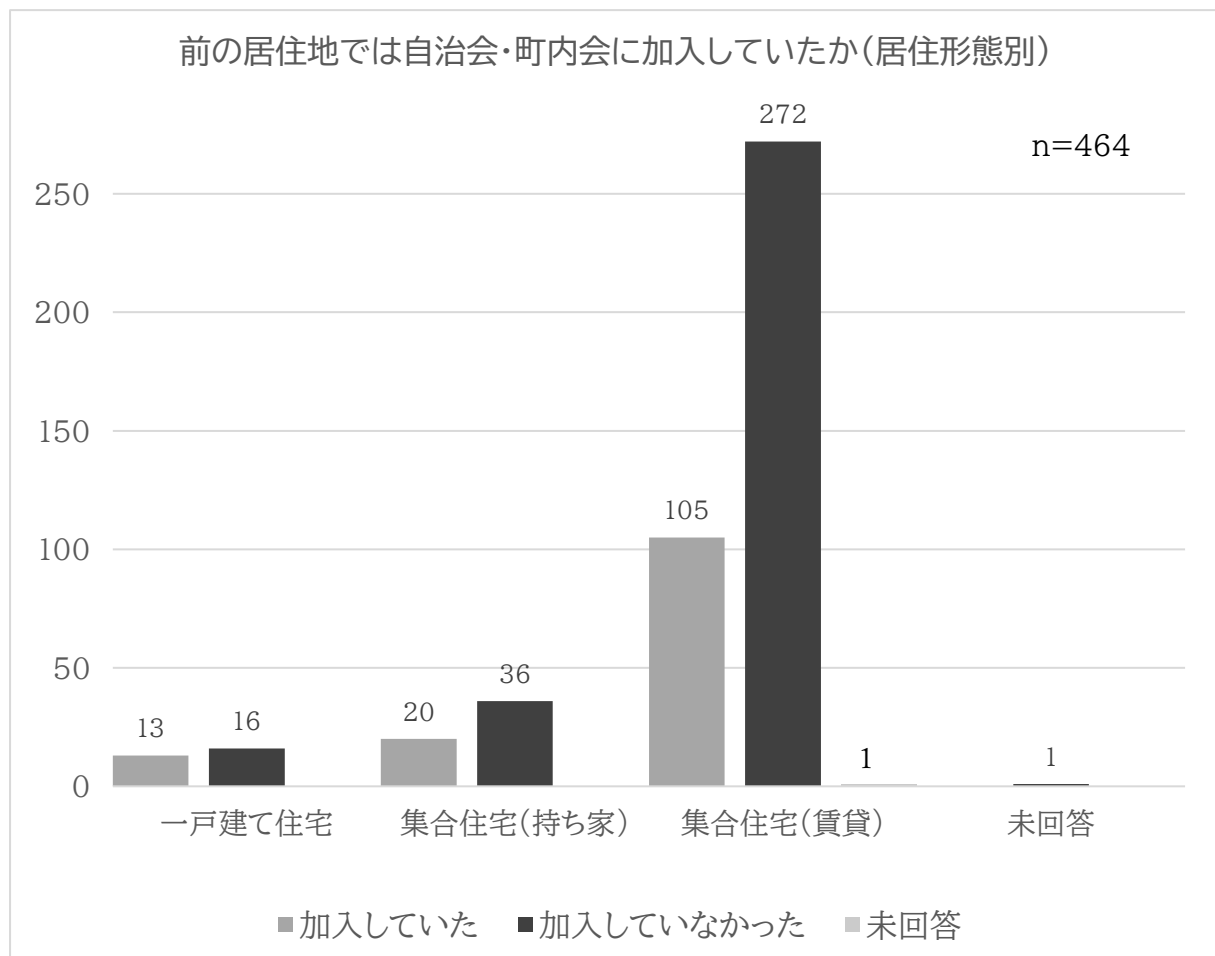


6.あなたはどんな助け合い、つながりを求めていますか。  
 (該当するものすべてに☑)



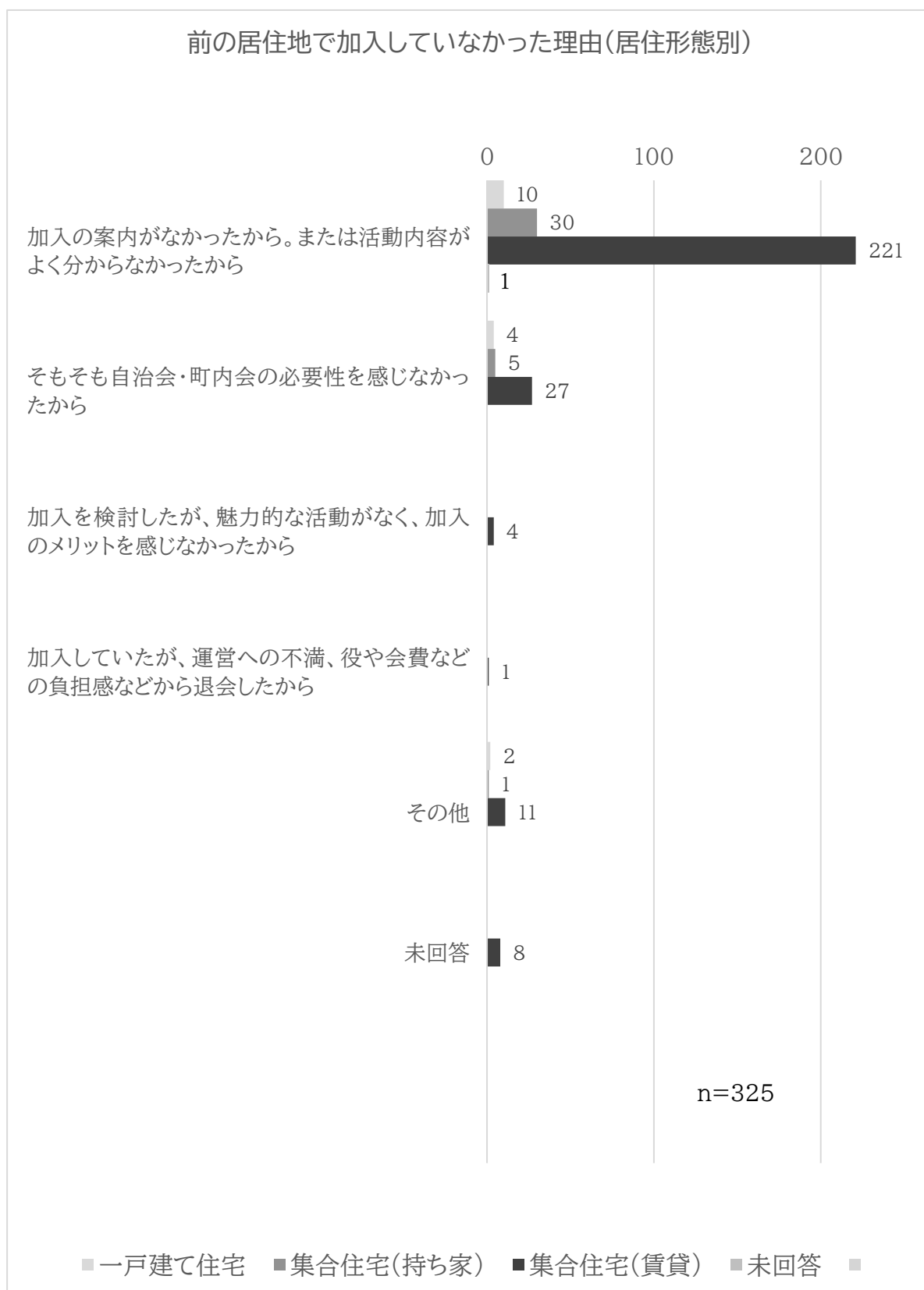
項目	一戸建て住宅	集合住宅（持ち家）	集合住宅（賃貸）	未回答	総計
いざという時に助け合える共助コミュニティ、地域や人とのつながりが必要	20	38	215		273
同世代や同じ興味関心を持つ人とつながる場、第三の居場所があるといい	11	25	136		172
趣味のサークルや地域の人が集う場所で、ゆるやかなつながりを持ちたい	8	18	127		153
ボランティア、プロボノなどを通じて、地域に貢献したり、まちづくりに参加したい	3	6	38		47
地域伝統のお祭りへの参加、地域のイベントの企画や運営に携わりたい	3	6	56		65
転入した時に、気軽に参加できるまち歩きなどの地域を知るイベントがあれば参加してみたい	4	13	79		96
子ども食堂や高齢者の見守り、困窮する人や孤立する人の支援に協力したい	3	5	35		43
若い世代、新たな住民のコミュニティやイベントを立ち上げてみたい	1	2	23		26
その他			2		2
特にない	2	6	52	1	61
総計	55	119	763	1	938

## 7. 前の居住地では自治会・町内会に加入していましたか。(ひとつに☑)



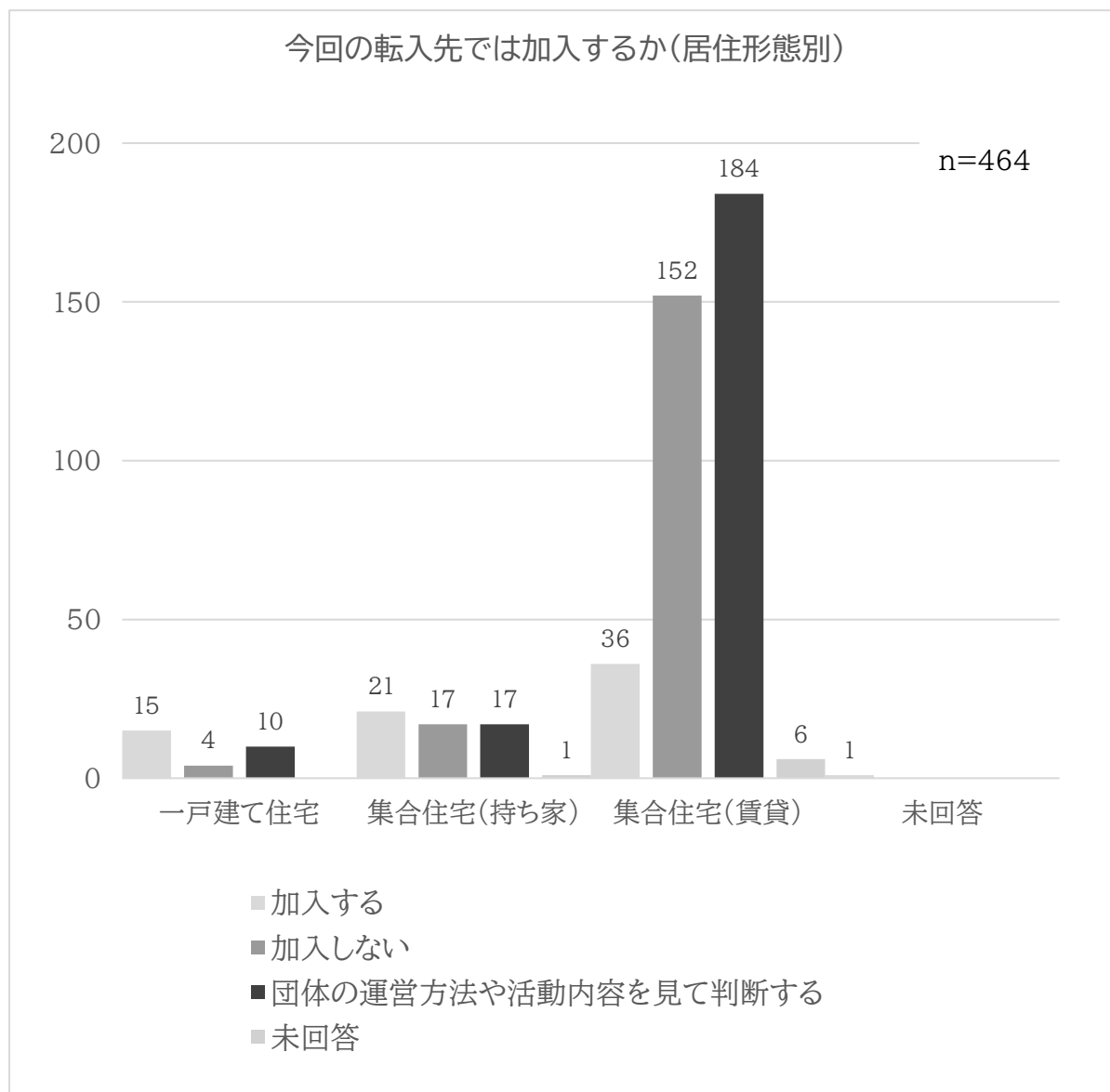
項目	加入していた	加入していなかった	未回答	総計
一戸建て住宅	13	16		29
集合住宅(持ち家)	20	36		56
集合住宅(賃貸)	105	272	1	378
未回答		1		1
総計	138	325	1	464

8.7で「加入していなかった」と回答した方にお伺いします。加入していなかった理由は何ですか。(ひとつに☑)



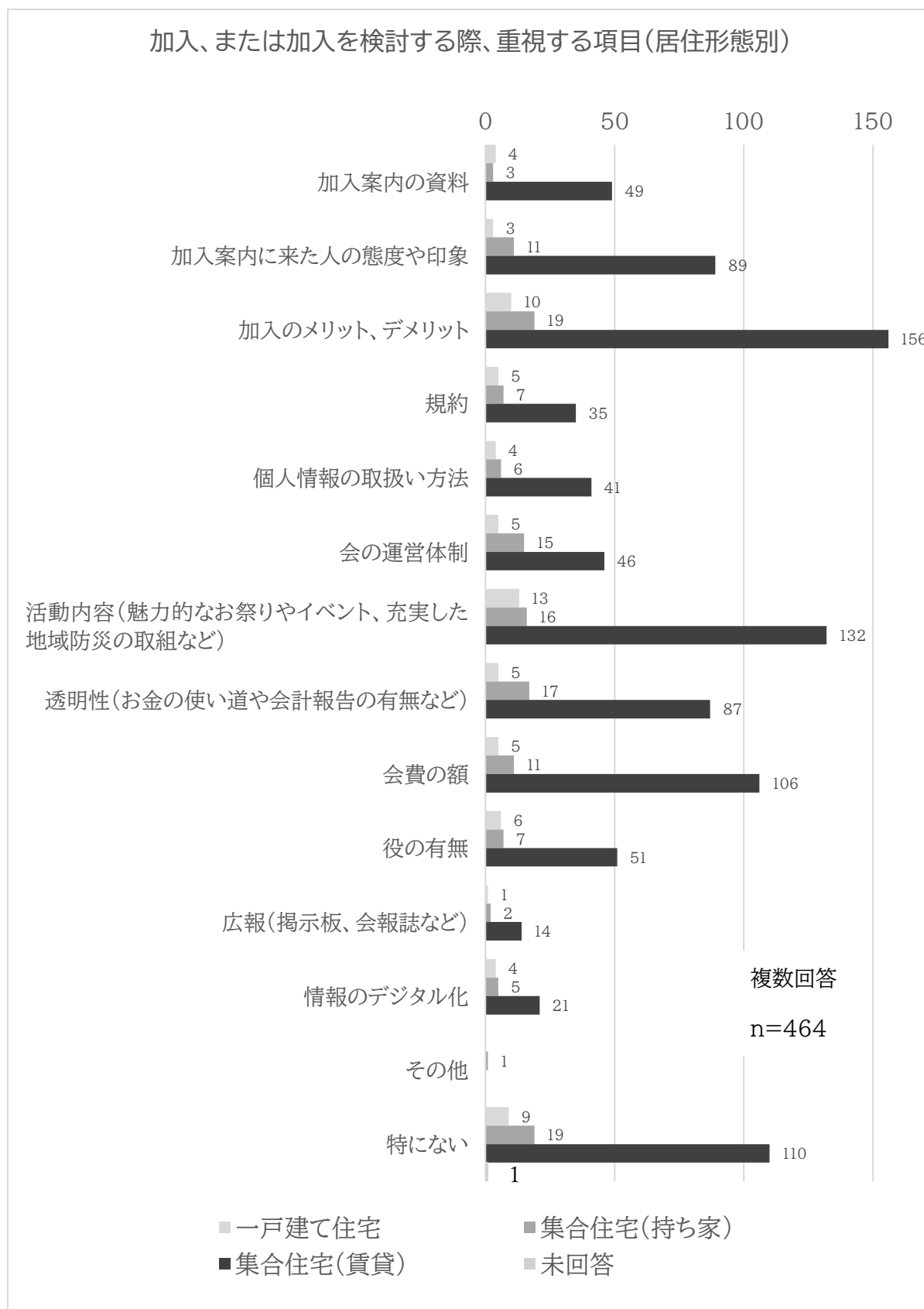
項目	一戸建て住宅	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	未回答	総計
加入の案内がなかったから。 または活動内容がよく分から なかったから	10	30	221	1	262
そもそも自治会・町内会の必 要性を感じなかったから	4	5	27		36
加入を検討したが、魅力的な 活動がなく、加入のメリットを 感じなかったから			4		4
加入していたが、運営への不 満、役や会費などの負担感な どから退会したから			1		1
その他	2	1	11		14
未回答			8		8
総計	16	36	272	1	325

## 9. 今回の転入先では自治会・町内会に加入しますか。(ひとつに☑)



項目	加入する	加入しない	団体の運営方法や活動内容を見て判断する	未回答	総計
一戸建て住宅	15	4	10		29
集合住宅(持ち家)	21	17	17	1	56
集合住宅(賃貸)	36	152	184	6	378
未回答	1				1
総計	73	173	211	7	464

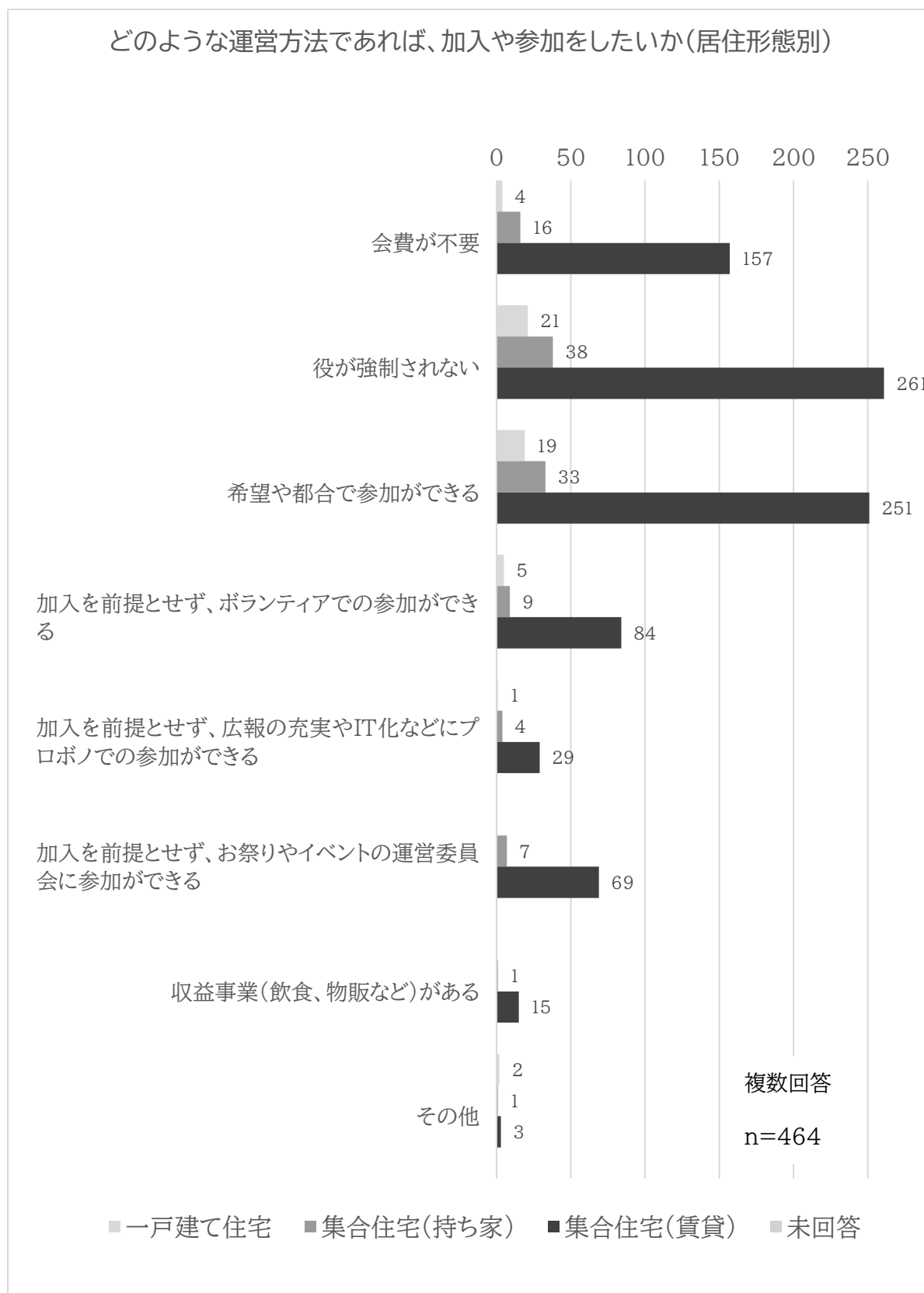
10. 自治会・町内会に加入、または加入を検討する際、重視する項目はありますか。  
（該当するものすべてに☑）



項目	一戸建て住宅	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	未回答	総計
加入案内の資料	4	3	49		56
加入案内に来た人の態度や印象	3	11	89		103
加入のメリット、デメリット	10	19	156		185
規約	5	7	35		47
個人情報の取扱い方法	4	6	41		51
会の運営体制	5	15	46		66
活動内容(魅力的なお祭りやイベント、充実した地域防災の取組など)	13	16	132		161
透明性(お金の使い道や会計報告の有無など)	5	17	87		109
会費の額	5	11	106		122
役の有無	6	7	51		64
広報(掲示板、会報誌など)	1	2	14		17
情報のデジタル化	4	5	21		30
その他		1			1
特になし	9	19	110	1	139
総計	74	139	937	1	1,151

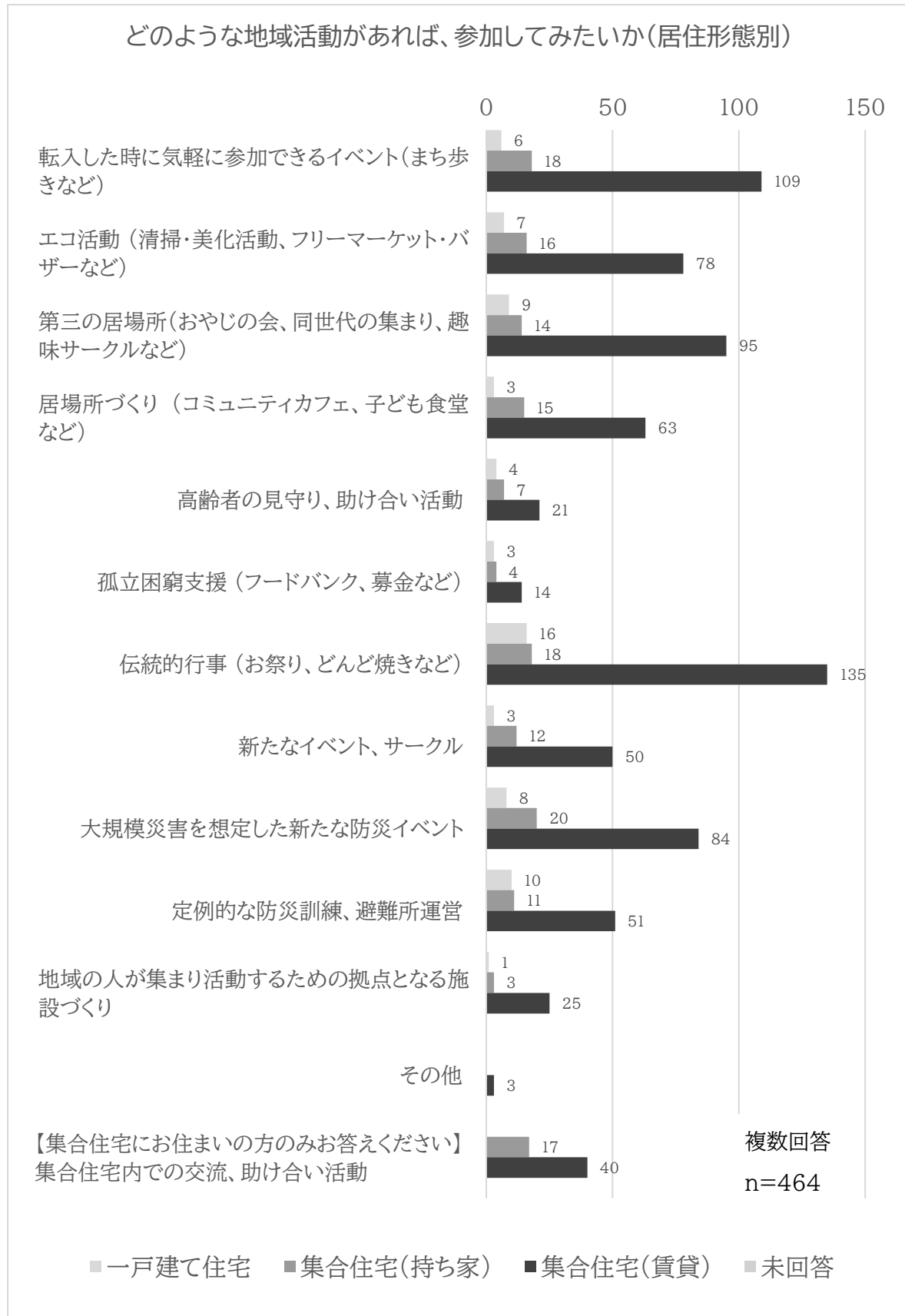


11.どのような自治会・町内会の運営方法であれば、加入や参加をしたいと思いますか。  
（該当するものすべてに☑）



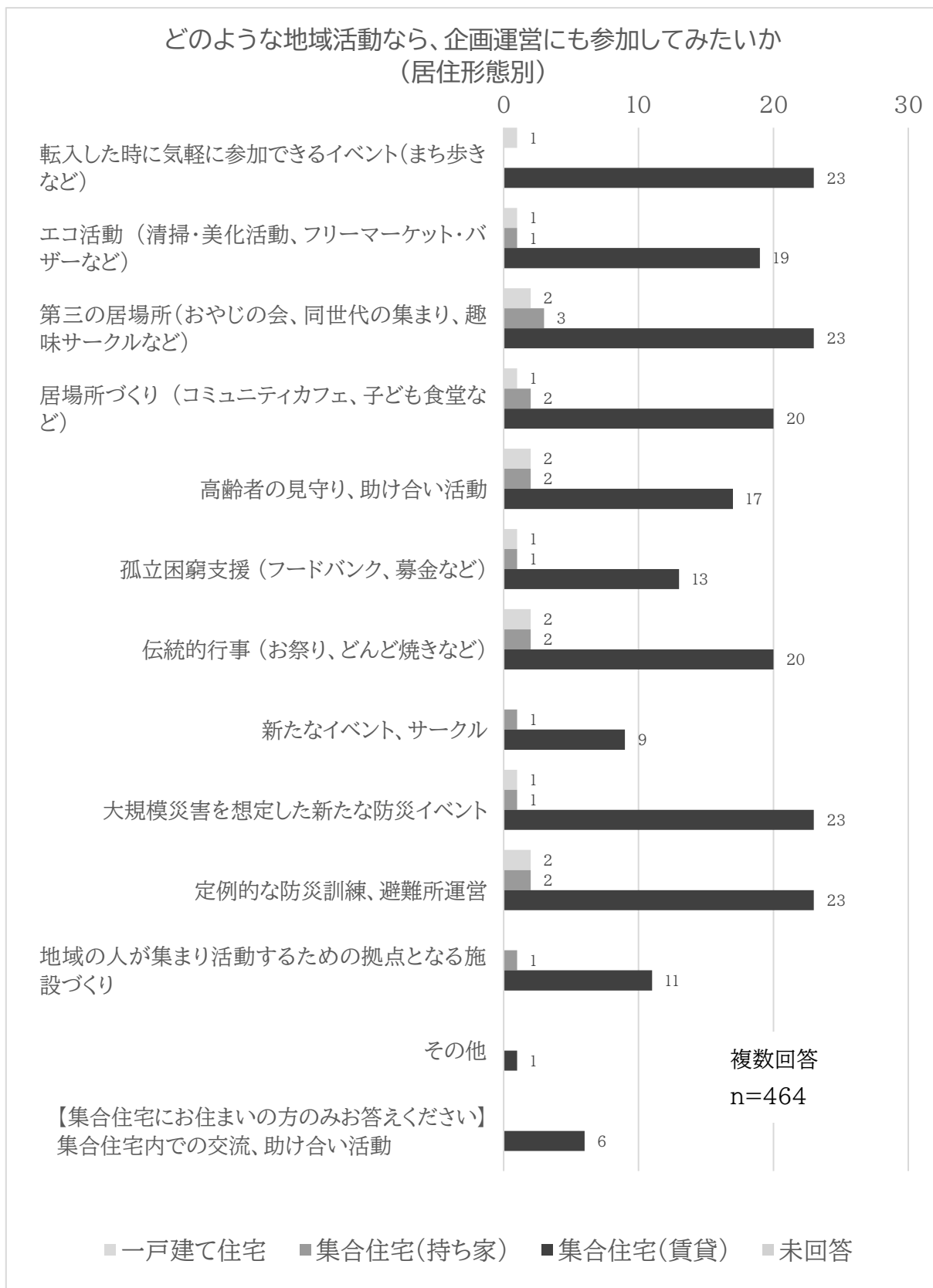
項目	一戸建て住宅	集合住宅 (持ち家)	集合住宅 (賃貸)	未回答	総計
会費が不要	4	16	157		177
役が強制されない	21	38	261		320
希望や都合で参加ができる	19	33	251		303
加入を前提とせず、ボランティアでの参加ができる	5	9	84		98
加入を前提とせず、広報の充実やIT化などにプロボノでの参加ができる	1	4	29		34
加入を前提とせず、お祭りやイベントの運営委員会に参加ができる		7	69		76
収益事業(飲食、物販など)がある		1	15		16
その他	2	1	3		6
総計	52	109	869	0	1,030

12-1.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。(参加してみたい)  
(該当するものすべてに○)



項目	一戸建て住宅	集合住宅（持ち家）	集合住宅（賃貸）	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）	6	18	109		133
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）	7	16	78		101
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）	9	14	95		118
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	3	15	63		81
高齢者の見守り、助け合い活動	4	7	21		32
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）	3	4	14		21
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	16	18	135		169
新たなイベント、サークル	3	12	50		65
大規模災害を想定した新たな防災イベント	8	20	84		112
定例的な防災訓練、避難所運営	10	11	51		72
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり	1	3	25		29
その他			3		3
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動		17	40		57
総計	70	155	768	0	993

12-2.どのような地域活動があれば、参加してみたいですか。（企画運営に関心）  
（該当するものすべてに○）



項目	一戸建て住宅	集合住宅（持ち家）	集合住宅（賃貸）	未回答	総計
転入した時に気軽に参加できるイベント（まち歩きなど）	1		23		24
エコ活動（清掃・美化活動、フリーマーケット・バザーなど）	1	1	19		21
第三の居場所（おやじの会、同世代の集まり、趣味サークルなど）	2	3	23		28
居場所づくり（コミュニティカフェ、子ども食堂など）	1	2	20		23
高齢者の見守り、助け合い活動	2	2	17		21
孤立困窮支援（フードバンク、募金など）	1	1	13		15
伝統的行事（お祭り、どんど焼きなど）	2	2	20		24
新たなイベント、サークル		1	9		10
大規模災害を想定した新たな防災イベント	1	1	23		25
定例的な防災訓練、避難所運営	2	2	23		27
地域の人が集まり活動するための拠点となる施設づくり		1	11		12
その他			1		1
【集合住宅にお住まいの方のみ】 集合住宅内での交流、助け合い活動			6		6
総計	13	16	208	0	237







